

令和3年度視覚障害者，聴覚障害者，肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部において使用する中学校用教科用図書

## 選 定 資 料

【案】

令和2年6月

広島県教育委員会



## はじめに

広島県教育委員会は、視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部において使用する中学校用教科用図書を選定資料について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申が提出されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により送付します。

各県立特別支援学校においては、この資料を参考とし、教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な選定を行ってください。

令和2年6月

広島県教育委員会

## 目 次

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 選定資料について .....    | 1   |
| 調査研究上の観点等 .....   | 2   |
| 調査研究種目一覧 .....    | 3   |
| 国語 .....          | 4   |
| 書写 .....          | 13  |
| 社会（地理的分野） .....   | 20  |
| 社会（歴史的分野） .....   | 27  |
| 社会（公民的分野） .....   | 37  |
| 地図 .....          | 44  |
| 数学 .....          | 50  |
| 理科 .....          | 59  |
| 音楽（一般） .....      | 68  |
| 音楽（器楽合奏） .....    | 74  |
| 美術 .....          | 80  |
| 保健体育 .....        | 90  |
| 技術・家庭（技術分野） ..... | 98  |
| 技術・家庭（家庭分野） ..... | 107 |
| 英語 .....          | 115 |
| 道徳 .....          | 124 |



## 選定資料について

この資料は、「中学校用教科書目録（令和3年度使用）」に登載された教科用図書について、種目別に、2ページに示す観点等に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものである。

なお、記載の順序は、教科書目録に登載されている発行者順とし、発行者名は次のとおり略称で表した。

| 番号 | 略称  | 発行者        | 番号  | 略称    | 発行者          |
|----|-----|------------|-----|-------|--------------|
| 2  | 東書  | 東京書籍株式会社   | 61  | 啓林館   | 株式会社新興出版社啓林館 |
| 4  | 大日本 | 大日本図書株式会社  | 81  | 山川    | 株式会社山川出版社    |
| 6  | 教図  | 教育図書株式会社   | 104 | 数研    | 数研出版株式会社     |
| 9  | 開隆堂 | 開隆堂出版株式会社  | 116 | 日文    | 日本文教出版株式会社   |
| 11 | 学図  | 学校図書株式会社   | 224 | 学研    | 株式会社学研教育みらい  |
| 15 | 三省堂 | 株式会社三省堂    | 225 | 自由社   | 株式会社自由社      |
| 17 | 教出  | 教育出版株式会社   | 227 | 育鵬社   | 株式会社育鵬社      |
| 27 | 教芸  | 株式会社教育芸術社  | 229 | 学び舎   | 株式会社学び舎      |
| 38 | 光村  | 光村図書出版株式会社 | 232 | 廣あかつき | 廣濟堂あかつき株式会社  |
| 46 | 帝国  | 株式会社帝国書院   | 233 | 日科    | 日本教科書株式会社    |
| 50 | 大修館 | 株式会社大修館書店  |     |       |              |

## 調査研究上の観点等

| 障害種別          |               | 視覚障害   | 聴覚障害  | 肢体不自由  | 病弱   |
|---------------|---------------|--|---|--|--|
| 生徒の実態         |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>視力、視野、まぶしさ等、視機能に障害があるため、細部を捉えたり、図などの全体像を捉えたりすることに困難がある。</li> <li>大型の視覚教材の認知、器具・道具等の使用や観察、採集、実験、計測・計量等の学習が困難であるため、学習環境の整備、視覚情報の聴覚情報化、教材・教具の工夫、視覚補助具等の指導等の配慮・工夫が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚障害のため、聴覚を通じた情報の獲得やコミュニケーションの成立に困難がある。</li> <li>音声情報の不足のため、言語習得や言語概念の形成等に困難があり、言語の指導に配慮・工夫が必要である。</li> <li>学習において、視覚情報による情報補完が有効である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>上肢、下肢又は体幹の運動・動作の障害のため、起立、歩行、書写、食事、衣服の着脱等、日常生活の運動・動作に困難がある。</li> <li>随伴する障害として、言語障害、視覚障害、聴覚障害等がみられることがある。</li> <li>移動に困難があるため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>病気が長期にわたっており、その間継続して医療又は生活規制が必要である。</li> <li>原因となる疾患は、心身症、神経疾患、悪性新生物、呼吸器疾患等多岐にわたっている。</li> <li>随伴する障害として、肢体不自由、言語障害等がみられることがある。</li> <li>入院のため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。</li> </ul> |
| 調査研究の観点       | 内容の取扱い等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> <li>○触覚や聴覚等を活用した学習内容がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> <li>○実験・観察等の手順及び用具の扱い方が写真やイラストとともに説明された内容がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> <li>○健康・医療・病気に関わる内容がある。</li> </ul>   |
|               | 障害への配慮を要する内容等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●文字の色やコントラスト等により、視覚障害への配慮を要する内容がある。</li> <li>●空白の欄に記入する課題がある。</li> <li>●視覚を重視した観察や体験等の内容がある。</li> <li>●視覚以外の方法では鑑賞不可能な内容がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●音声、音楽、音等を扱った内容がある（オノマトペは含まない）。</li> <li>●インタビュー活動等、音声言語によるコミュニケーションを扱った内容がある。</li> <li>●学習のめあてが長文で示された内容がある。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。</li> <li>●体育的活動や身体表現を含む内容がある。</li> <li>●校内や学校周辺では学習できない内容がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。</li> <li>●体育的活動や身体表現を含む内容がある。</li> <li>●校内や学校周辺では学習できない内容がある。</li> <li>●アレルギー等病気に対する配慮が必要な内容がある。</li> </ul>  |
| 表記・表現及び使用上の便宜 |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について</li> <li>・本の大きさ</li> <li>・総ページ数</li> <li>・写真・図表・グラフ・絵の掲載数</li> </ul>   |   |  |  |
|               |               | <p style="text-align: center;">記載上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮については、各発行者が作成した編修趣意書から該当箇所を抜粋して掲載した。</li> <li>・本の大きさ、総ページ数は、令和3年使用中学校用教科書目録に基づき掲載した。</li> <li>・写真、図表、グラフ、絵の掲載数は、ページを絞って比較を行った場合、比較力所を明示する。</li> </ul> |   |  |  |

## 調 査 研 究 種 目 一 覽

| 障害種別<br>調査研究種目 |       | 視覚障害 | 聴覚障害 | 肢体不自由 | 病弱 |
|----------------|-------|------|------|-------|----|
| 国語             |       | /    | ○    | ○     | ○  |
| 書写             |       | ○    | ○    | ○     | ○  |
| 社会             | 地理的分野 | /    | ○    | ○     | ○  |
|                | 歴史的分野 | /    | ○    | ○     | ○  |
|                | 公民的分野 | /    | ○    | ○     | ○  |
| 地図             |       | ○    | ○    | ○     | ○  |
| 数学             |       | /    | ○    | ○     | ○  |
| 理科             |       | /    | ○    | ○     | ○  |
| 音楽             | 一般    | /    | ○    | ○     | ○  |
|                | 器楽合奏  | /    | ○    | ○     | ○  |
| 美術             |       | ○    | ○    | ○     | ○  |
| 保健体育           |       | /    | ○    | ○     | ○  |
| 技術・家庭          | 技術的分野 | /    | ○    | ○     | ○  |
|                | 家庭的分野 | /    | ○    | ○     | ○  |
| 英語             |       | /    | ○    | ○     | ○  |
| 道德             |       | /    | ○    | ○     | ○  |

# 国語

**表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）**

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|---|-----------------|--------------|
| 2<br>東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の観点から、内容およびデザインについて検討し、専門家による校閲を受けています。全ての生徒にとって各部分の認識や重要な部分の判別がしやすいように、文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色遣いを工夫しています。</li> <li>・国語の授業では、文章の行数で指示を出すことがしばしばあります。生徒が行を数えやすいように、各行の下に数字と点を付しました。</li> <li>・本文書体に、小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を使用しています。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の校閲を受けています。生徒の色覚特性への配慮から、色以外の模様や記号できちんと識別ができるようにしています。</li> <li>・脚注欄などの小さな文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用い、読みやすさに配慮しました。</li> </ul>   | B 5<br>・<br>342 | 100          |
| 15<br>三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の冒頭に学習のねらいを提示し、学習活動の手順を丁寧に示しました。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習手順を上段に、学習のポイントや参考となる情報を下段に示すなど情報を整理し、わかりやすく、スムーズな学習指導に資するレイアウトとなるよう工夫しました。</li> <li>・情報のまとまりを線で囲んだり太字にしたり、重要な情報を大きく示したり、図版と図版の間を空けたりすることで、わかりやすく、見やすくしています。</li> <li>・挿絵・図版を適所に配置し、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えています。各学年の「読み方を学ぼう」や「思考の方法」では、文章での解説は簡潔に示し、わかりやすい図解を用いることで、内容を視覚的に捉えられるように工夫しました。</li> <li>・色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しました。</li> <li>・識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。</li> <li>・色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるようにしました。</li> <li>・識別しやすい色を追究し、古典教材の現代語訳では、色覚の特性による見え方の差が少ない青色を用いました。</li> </ul> | B 5<br>・<br>357 | 89           |
| 17<br>教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援が必要な学習者への配慮として、全体をとおしての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけました。</li> <li>・色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>  | B 5<br>・<br>354 | 129          |
| 38<br>光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書を目ざしました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。</li> <li>・学習の流れを把握し、見通しをもつことが生徒の理解を助けます。そこで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、最初の見開きで活動の全容が見えるようにしました。また、「読むこと」の「学習」も設問に番号を振り、見出しを立てて、学習のステップをわかりやすく示しました。</li> <li>・図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。</li> <li>・本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の明朝体・ゴシック体を用いています。書体の特徴を損なわない範囲で画数や点画の付き方を調整し、手書き文字との差が学習上の支障とならないように配慮しました。教科書が社会生活へのスムーズな移行を後押しします。</li> <li>・漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字は、UD書体で視認性を高めました。</li> </ul>  | B 5<br>・<br>340 | 127          |

※ 1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※ 2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書（100ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【国語】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 思考の流れや注意事項について、ナンバリングや写真、イラストとともに説明された内容がある。       |
| 対象・方法 | 「書くこと」の領域 第3学年「批評文」における、学習課題や思考の手順の示し方、思考の手立て、例示等の事例 |

|     | 単元名, 導入  | 思考の手順, 手立て等   | 例示, その他   |
|-----|--|---|---|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「観察・分析して論じよう」「ポスター」の批評文</li> <li>○ 導入               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題への気づきを促すイラストのショートストーリー</li> </ul> </li> <li>○ 導入文               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 批評文の説明</li> <li>・ 学習課題の提示</li> <li>・ 主体性を促す問い</li> </ul> </li> <li>○ 学習の流れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箇条書きで提示</li> </ul> </li> <li>○ 「説得力のある批評文を書く」</li> <li>○ 導入文               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題の提示</li> <li>・ 批評文の説明</li> <li>・ 書くためのポイント（「ここが大事」）</li> </ul> </li> <li>○ 学習の流れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フローチャートで提示</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1文で示された項目に、活動内容、ヒント、注意事項、具体的な方法等が文章で提示されている。（2～5文）</li> <li>・ 手順の提示 3頁</li> <li>・ ナンバリングされた項目                   <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 批評の対象について知る</li> <li>(2) 対象を観察・分析する</li> <li>(3) 対象を比較して判断を下す</li> <li>(4) 批評文を書く</li> <li>(5) 読み合って評価する</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○ 手立ての提示               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考資料（広報「食品ロスを減らそう」）</li> <li>・ 観察・分析メモの例</li> <li>・ 思考を深める方法（「言葉の力」）</li> <li>・ 説得力のある批評文の書き方（「言葉の力」）</li> </ul> </li> <li>○ イラスト(5)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例示               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題材(3)<br/>「食品ロス」ポスター(イラスト)</li> <li>・ 文例(2)<br/>コンクール審査員の立場で最優秀作品を選ぶという共通の課題が設定されている。<br/>提示されている3種類のポスターのうち、2種類のポスターを取り上げ、複数の観点から多角的に比較・分析した上で、引用等を用いて、自分の判断を論理的に述べている。</li> </ul> </li> <li>○ その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例示と類似した課題（海外の人々に日本旅行を勧めるポスターを批評する）がある。</li> <li>・ 末尾に学習を通して身に付いた力、その力の生かし方について記述する振り返りがある。</li> <li>・ 巻末基礎編「学びを支えることばの力」に多面的に捉えるための手引きがある。</li> <li>・ 巻末資料編「言葉を広げよう」に「批評する言葉」が提示されている。</li> </ul> </li> </ul> |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 批評文「観察・分析をとおして評価する」</li> <li>○ 導入文               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題の提示</li> <li>・ 批評文の説明</li> </ul> </li> <li>○ 学習の流れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箇条書きで提示</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1文で示された項目に、活動内容が1文で示され、例や方法が箇条書きで提示されている。</li> <li>・ 手順の提示 3頁</li> <li>・ ナンバリングされた項目                   <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 題材を決める</li> <li>(2) 対象を観察・分析する</li> <li>(3) 構成を考えて批評文を書く</li> <li>(4) 交流して相互評価する</li> <li>(5) 学びを振り返る</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○ 手立ての提示               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思考を深める方法（「思考の方法」）</li> <li>・ 文例の構成（主張・根拠・まとめ）</li> <li>・ 文例の構成についての解説</li> <li>・ 教材に関連した表現（12）（「批評・評価するときの表現」）</li> </ul> </li> <li>○ イラスト(3)</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例示               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題材(1)<br/>「印象に残った俳句」</li> <li>・ 文例(1)<br/>『「俳句十句」で印象に残った俳句』という題材を選択した場合の文例。<br/>「最も季語が効果的に使われている句」はどれかという観点で、観察・分析や他の句との比較を通して、自分の主張を論理的に述べている。</li> </ul> </li> <li>○ その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文例のポイント部分に色が付けられている。</li> <li>・ 末尾に実生活での活用を促す1文がある。</li> <li>・ 前単元で学習した内容を活用した例示が示されている。</li> </ul> </li> </ul>  |

|                                       |   |  |   |
|---------------------------------------|---|--|---|
| <p style="text-align: center;">教出</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名<br/>「説得力のある批評文を書く」</li> <li>○ 導入文 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題の提示</li> <li>・批評文の説明</li> <li>・書くためのポイント（「ここが大事」）</li> </ul> </li> <li>○ 学習の流れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・フローチャートで提示</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考の手順を示した図に、箇条書きで具体的な活動内容が提示されている。</li> <li>・手順の提示 1 頁</li> <li>・ナンバリングされた項目 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 題材</li> <li>(2) 構成</li> <li>(3) 考えの形成・記述</li> <li>(4) 推敲</li> <li>(5) 共有</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○ 手立ての提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考を深める方法（「思考の助けとなるヒント」）</li> <li>・文例の構成（序論・本論・結論）</li> <li>・文例の構成についての解説</li> <li>・教材に関連した表現（2）（「自分の考えを書く表現」）</li> <li>・説得力のある批評文の書き方（導入文）</li> </ul> </li> <li>○ イラスト(1)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材(2)<br/>「歩きスマホ」ポスター</li> <li>・文例(1)<br/>2種類のポスターのどちらがより適しているかを問う共通の課題が設定されている。提示されている2種類のポスターのうち、1つを取り上げ、複数の観点から多角的に比較・分析した上で、引用等を用いて、自分の判断を論理的に述べている。</li> </ul> </li> <li>○ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・末尾に目標が達成できたかどうかを確認する振り返りがある。</li> <li>・重点箇所が色分けされている。</li> <li>・末尾に他教科へのつながりを促す一文がある。</li> <li>・巻末資料（折込）<br/>「表現に役立つ言葉」に教材に関連した語彙や表現を具体的な文型で提示されている。</li> </ul> </li> </ul> |
| <p style="text-align: center;">光村</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名<br/>「多角的に分析して書こう」説得力のある文章を書く</li> <li>○ 導入文 <ul style="list-style-type: none"> <li>・批評文の説明</li> <li>・学習課題の提示</li> </ul> </li> <li>○ 既習事項との関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する頁を提示(4)</li> </ul> </li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1文で示された項目に、活動内容や課題解決の方法が提示されている（1～2文）</li> <li>・手順の提示 2 頁（見開き）</li> <li>・ナンバリングされた項目〈集める・整理する〉 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 題材を選ぶ</li> <li>(2) 観点を決めて分析する〈組み立てる〉</li> <li>(3) 構成を考える〈表現する〉</li> <li>(4) 推敲して仕上げる〈振り返る〉</li> <li>(5) 学習を振り返る</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○ 手立ての提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考を深める方法（「②分析する」）</li> <li>・交流の例（「友だちと交流する」）</li> <li>・構成の例（「構成を考える」）</li> <li>・文例の構成、表現の解説</li> <li>・教材に関連した表現（26）（「批評するときの言葉」）</li> <li>・説得力のある批評文の書き方（「学習の窓」）</li> </ul> </li> <li>○ イラスト(2)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材(1)<br/>「地域とのつながり」広告（写真）</li> <li>・文例(1)<br/>学習過程の例示、説明に用いられている広告について、キャッチコピーを多角的に分析し、この広告が一番伝えたいことは何か、引用等を用いて自分の考えを論理的に述べている。</li> </ul> </li> <li>○ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことが活かせる具体的な場面が示されている。（日常生活・学校生活・将来）</li> <li>・末尾に、学習を具体的に振り返ることが可能なチェック項目がある。</li> <li>・巻末資料「語彙を豊かに」に、教材に関連した表現が提示されている。</li> <li>・巻末資料「発想を広げる」に、題材の例が提示されている。</li> </ul> </li> </ul>            |

【国語】 聴覚障害

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 文学的な文章を読解するための支援となる内容がある。   |
| 対象・方法 | 「読むこと」の領域の共通教材第1学年「少年の日の思い出」、第2学年「走れメロス」、第3学年「故郷」における、重要語句、注釈等の脚注の数、読解の手引き等 |

|     | 脚注の数  | 新出漢字等の提示の仕方   | 学習課題・読解の手引き  |
|-----|---|---|--|
| 東書  | ○ 少年の日の思い出<br>・重要語句(31)<br>(意⑫文⑥類⑫対①)<br>・注釈(13)<br>・挿絵(3)              | ○ 新出漢字<br>①教材文中<br>振り仮名あり(語句)<br>② 教材文下<br>・頁ごとに提示(漢字・音訓読み)<br>③末尾<br>一覧(音訓読み)<br>④巻末<br>単元ごとに提示<br>(音訓読み, 画数, 筆順, 部首, 用例, 初出頁)<br>○ 新出音訓<br>・教材文下に頁ごとに提示<br>・巻末にまとめて提示<br>○ 語彙<br>・教材に関連した語彙<br>(末尾「広がる言葉」, 巻末「言葉を広げよう」)           | ○ 目標<br>・末尾に提示<br>・冒頭には学習課題を意識させる問いかけを提示<br>○ 学習課題(末尾)<br>・文章の解説<br>「言葉の力」1/4頁<br>1年 伏線に着目する<br>2年 人物像に着目する<br>3年 人間関係の変化に着目する<br>巻末「『言葉の力』一覧」<br>○ 読解の手引き<br>・学習過程に即して課題を提示(全体を通したナンバリング)<br>「てびき」3/4頁<br>・目標<br>・各教材文の課題を2つ提示<br>・振り返り           |
|     | ○ 走れメロス<br>・重要語句(40)<br>(意⑱文⑩類⑨対③)<br>・注釈(26)<br>・挿絵(4)                 |   |  |
|     | ○ 故郷<br>・重要語句(31)<br>(意⑪文⑭類⑥対⑩)<br>・注釈(19)<br>・挿絵(3)                    |   |  |
| 三省堂 | ○ 少年の日の思い出<br>・重要語句(24)<br>(意③類①対①)<br>・注釈(15)<br>(内イラスト付白黒⑤)<br>・挿絵(4) | ○ 新出漢字<br>①教材文中<br>振り仮名なし<br>②教材文下<br>頁ごとに提示(語句)<br>③末尾<br>一覧(音訓読み, 用例)<br>④巻末<br>単元ごとに提示<br>(音訓読み, 画数, 筆順, 部首, 用例, 同音異字・同訓異字, 反対の意味の漢字, 注意, 初出頁)<br>○ 新出音訓<br>・教材文下に頁ごとに提示<br>・末尾, 巻末にまとめて提示<br>○ 語彙<br>・教材に関連した語彙<br>(末尾「語彙を豊かに」) | ○ 目標<br>・冒頭に提示<br>○ 学習課題(末尾)<br>・文章の解説と図解<br>「読み方を学ぼう」1頁<br>1年 語り手・視点<br>2年 心内語<br>3年 反復<br>・巻末「『読み方を学ぼう』一覧」<br>○ 読解の手引き<br>・学習過程に即して課題を提示(全体を通したナンバリング)<br>「学びの道しるべ」2頁(見開き)<br>・目標の確認<br>・内容を整理する<br>・読みを深める<br>・自分の考えを深める<br>・学びを振り返る<br>・学びを広げる |
|     | ○ 走れメロス<br>・重要語句(62)<br>(意⑳類②対④)<br>・注釈(28)<br>・挿絵(7)                   |   |  |
|     | ○ 故郷<br>・重要語句(50)<br>(意⑳類⑱対⑩)<br>・注釈(20)<br>・挿絵(3)                      |   |  |

【国語】 聴覚障害

|    |  |  |   |
|----|--|--|---|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少年の日の思い出                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句(35)<br/>(意⑱文⑦同②対②類⑤)</li> <li>・注釈(11)<br/>(内イラスト付④)</li> <li>・挿絵(5)</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新出漢字                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①教材文中<br/>振り仮名あり(語句)</li> <li>②教材文下<br/>該当箇所に提示(漢字)</li> <li>③末尾<br/>一覧(漢字, 音訓読み, 用例)</li> <li>④巻末<br/>單元ごとに提示<br/>(音訓読み, 画数, 筆順, 部首, 用例, 初出頁)</li> </ul> </li> <li>○ 新出音訓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・末尾にまとめて提示</li> </ul> </li> <li>○ 語彙                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注で取り上げた重要語句の一覧(末尾「この教材で学ぶ言葉」)</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文冒頭に提示</li> </ul> </li> <li>○ 学習課題(冒頭)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の解説と図解<br/>「学びナビ」2頁(見開き)<br/>1年 語り方にご注意<br/>2年 変化する語り<br/>3年 「私」が語る(私)</li> <li>・読みの扉を開く</li> <li>・こう読み深めよう</li> <li>・ここが大事</li> </ul> </li> <li>○ 読解の手引き                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に即して課題を提示(課題ごとのナンバリング)<br/>「みちしるべ」2頁</li> <li>・内容を読み深めよう</li> <li>・自分の考えを伝え合おう</li> <li>・言葉と表現</li> <li>・振り返り</li> </ul> </li> </ul> |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 走れメロス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句(49)<br/>(意⑳文④同①対②類③)</li> <li>・注釈(19)</li> <li>・挿絵(3)</li> </ul> </li> </ul>                   |  |   |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 故郷                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句(43)<br/>(意㉑文②同①対①類⑥)</li> <li>・注釈(16)</li> <li>・挿絵(2)</li> </ul> </li> </ul>                      |  |   |
| 光村 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少年の日の思い出                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句 25<br/>(意⑮文⑦類①対①関②)</li> <li>・注釈(12)<br/>(内イラスト付白黒④)</li> <li>・挿絵(3)</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新出漢字                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①教材文中<br/>振り仮名なし</li> <li>②教材文下<br/>頁ごとに提示(漢字, 音訓読み, 文中の語句・振り仮名)</li> <li>③末尾<br/>一覧(音訓読み)</li> <li>④巻末<br/>單元ごとに提示<br/>(音訓読み, 画数, 筆順, 部首, 用例, 慣用句・ことわざ・四字熟語など, 初出頁)</li> </ul> </li> <li>○ 新出音訓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文下に頁ごとに提示</li> <li>・末尾, 巻末にまとめて提示</li> </ul> </li> <li>○ 語彙                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文に用いられている語句についての課題を提示(末尾「言葉を広げる」)</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭に提示</li> </ul> </li> <li>○ 学習課題(末尾)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の解説と図解<br/>「学習の窓」1/2頁<br/>1年 語り手に着目する<br/>2年 人物像に着目する<br/>3年 小説を批評する<br/>巻末「『学習の窓』一覧」</li> </ul> </li> <li>○ 読解の手引き                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程に即して課題を提示(全体を通したナンバリング)<br/>「学習」2頁(見開き)</li> <li>・見通しをもつ(学習活動, 目標)</li> <li>・捉える</li> <li>・読み深める</li> <li>・考えをもつ</li> <li>・振り返る</li> </ul> </li> </ul>                        |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 走れメロス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句(32)<br/>(意⑮文⑤類①対②関⑩)</li> <li>・注釈(29)</li> <li>・挿絵(3)</li> </ul> </li> </ul>                   |  |   |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 故郷                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句 22<br/>(意⑮文③類①対①関③)</li> <li>・注釈(16)</li> <li>・挿絵(3)</li> </ul> </li> </ul>                       |  |   |



【国語】 肢体不自由・病弱

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。          |
| 対象・方法 | 障害による学習上の困難さを軽減するような情報機器の活用事例 |

|     | 第1学年「情報機器の活用」  | 第2学年「情報機器の活用」   | 第3学年「情報機器の活用」  |
|-----|--|---|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べて分かったことを伝えよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「インターネットなどを利用して調査を進めていこう。」という記述</li> <li>・「インターネットは、多くの情報を手軽に得ることができて便利である。」という記述</li> </ul> </li> <li>○ 根拠を挙げて考えを述べる               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースを知るには、テレビと新聞のどちらが良いか、話し合いの事例を記述</li> </ul> </li> <li>○ 情報の調べ方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・検索エンジンを表示し、手順を記述</li> <li>・信頼性の高い情報や最新の情報を得ることができる、ウェブページについて記述</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 郷土のよさを伝えよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用することで、最新の情報が手に入るという記述</li> </ul> </li> <li>○ 説得力のある提案をしよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトなどの活用の記述</li> </ul> </li> <li>○ 依頼状やお礼状を書こう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールの例を記述</li> <li>・電子メールの画面が表示</li> </ul> </li> <li>○ 調べて一枚レポートにまとめよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで情報を集めるポイントを記述</li> </ul> </li> <li>○ 論証の説得力を見極める               <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張の根拠をパソコンで検索しているイラストを表示</li> </ul> </li> <li>○ 手紙の書き方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールを送るときのポイントと内容の例の画面表示</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絶滅の意味               <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人にわかりやすく伝えるために、フリップに整理する課題</li> </ul> </li> <li>○ 編集して伝えよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くために必要となりそうな情報をインターネット等で調べる課題</li> </ul> </li> <li>○ 将来の目標や計画を立てよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生き方や働き方について、インターネットなどを使って調べる課題</li> <li>・インターネットの画面を表示</li> </ul> </li> <li>○ 生活の中のさまざまな文章               <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子辞書の製品比較の例を表示</li> </ul> </li> <li>○ 情報の信頼性を高める               <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビやインターネットの長所と短所を表示</li> </ul> </li> </ul>   |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五十音図とローマ字、キーボードの配列を表示</li> <li>○ 情報探しの方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで探す</li> <li>①検索エンジンの表示と記述</li> <li>②検索するときのキーワードの入れ方を表示</li> </ul> </li> <li>○ 引用と著作権               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブページから引用するときの注意点を表示</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める               <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いのテーマ例「本がよいか、動画がよいか」意見交換を記述</li> <li>・「紙がよいか、電子書籍がよいか」「直接いうのがよいか、手紙（メールなどを含む）がよいか」等のテーマ例の記述</li> </ul> </li> <li>○ 心をこめてわかりやすく書く               <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールの注意点を記述し、メールの内容例を表示</li> <li>・SNSによるコミュニケーションを記述</li> </ul> </li> <li>○ 資料や機器を活用して効果的に発表する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドやフリップ作成の課題</li> <li>・スライドやフリップのポイントを表示し、プロジェクトの活用をイラストで表示</li> </ul> </li> <li>○ 情報探しの方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで探す</li> <li>①検索エンジンの表示と記述</li> <li>②検索するときのキーワードの入れ方を表示</li> </ul> </li> <li>○ 引用と著作権               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブページから引用するときの注意点を表示</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「批判的に読む」とは               <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話によるLiveニュースを表示</li> </ul> </li> <li>○ 状況に応じて話す力を養う               <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数や会場の広さに合わせてマイクなどの機器を使用する記述</li> </ul> </li> <li>○ 複数の情報を関連付けて考えをまとめる               <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてインターネットなどで情報を集め、根拠となるデータや文章の一部を引用する記述</li> </ul> </li> <li>○ 情報社会を生きる               <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア利用について文章を記述</li> <li>・SNSでの情報発信経験のグラフを表示</li> </ul> </li> <li>○ 中学校生活を振り返って               <ul style="list-style-type: none"> <li>・名言集を手書きにするかパソコンで入力するか、編集方針の事例を記述</li> </ul> </li> <li>○ 情報探しの方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで探す</li> <li>①検索エンジンの表示と記述</li> <li>②検索するときのキーワードの入れ方を表示</li> </ul> </li> <li>○ 引用と著作権               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブページから引用するときの注意点を表示</li> </ul> </li> </ul> |

【国語】 肢体不自由・病弱

|           |  |  |  |
|-----------|--|--|--|
| <p>教出</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料から得た根拠をもとに意見文を書く             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話とメールの共通点と相違点を記述</li> </ul> </li> <li>○ ベンチ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページから引用する場合の注意点を記述</li> </ul> </li> <li>○ 読み手を意識して報告文を整える             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに関わるデータをインターネットを利用して集める記述</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手紙の書き方             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールの書き方の表示と配慮事項を記述</li> </ul> </li> <li>○ 夢を跳ぶ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの活用                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①検索サイトの表示と検索方法を記述</li> <li>②インターネット利用上の注意点を記述</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 観点を明確にして伝える             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料や機器を効果的に使って伝える」ものとして、プロジェクター、プレゼンテーション・ソフトの活用を記述</li> </ul> </li> <li>○ SNS から自由になるために             <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS について文章で記述</li> </ul> </li> <li>○ 記事を書く             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報がわかりやすく伝わるような見せ方として、ウェブサイトの画面を表示</li> </ul> </li> <li>○ レポートの書き方             <ul style="list-style-type: none"> <li>・例として、インターネットによる情報の収集を記述</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ メディア・リテラシーはなぜ必要か             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアについて文章で記述</li> </ul> </li> <li>○ ニュースで情報を編集する             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビのニュースについて記述</li> <li>・ニュース番組のモニター映像と、言葉による情報の補足をする場面の写真を表示</li> <li>・画像とナレーションを組み合わせる課題</li> </ul> </li> <li>○ 「対話力」とは何か             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビやラジオ、インターネット等により、地球環境が抱えている問題を知る課題</li> </ul> </li> </ul>   |
| <p>光村</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比較・分類             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールと手紙の共通点と相違点を比較した図を表示</li> </ul> </li> <li>○ 情報を集めよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで検索する記述                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①検索機能を使う</li> <li>②報道機関や専門機関のウェブサイトを閲覧する</li> </ul> </li> <li>・インターネットの活用を記述                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①キーワード検索の表示</li> <li>②絞り込みの表示</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な方法で情報を集めよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な方法を記述（インターネット等）</li> </ul> </li> <li>○ 魅力的な提案をしよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフト、フリップ、ポインター、指示棒の活用を記述とイラストや写真の表示</li> </ul> </li> <li>○ メディアを比べよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報メディアの記述と写真、イラストを表示</li> <li>・状況に応じたメディアの選び方を記述</li> </ul> </li> <li>○ 表現を工夫して書こう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙と電子メールの特徴を表にまとめる課題</li> <li>・電子メールの書き方の例を表示</li> </ul> </li> <li>○ 異なる立場から考える             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中学生にスマートフォンは必要か」をテーマに考える課題</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報の信頼性             <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS の書き込みやウェブサイトにより、情報を確認する事例を記述し、情報画面のイラストを表示</li> <li>・インターネットを利用する場合の確認の方法を記述し、情報画面のイラストを表示</li> </ul> </li> <li>○ 実用的な文章を読もう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットでの購入で確認すべき情報を画面表示から考える課題</li> </ul> </li> <li>○ 「私の一冊」をさがしにいこう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブサイトの特集ページにより本を知る事例を記述</li> </ul> </li> </ul> |

【国語】 肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● 上肢の動きや身体表現、発声を必要とする内容がある。                              |
| 対象・方法 | 第1学年及び第3学年の「話すこと・聞くこと」の内容における、上肢の動きや身体表現、発声を必要とする学習課題の事例 |

|     | 第1学年「話すこと・聞くこと」における学習課題   | 第3学年「話すこと・聞くこと」における学習課題  |
|-----|---|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中心を明確にして話そう</li> <li>・スピーチの練習と発表の課題<br/>※聞き手の反応を見ながら、分かりやすい話し方を工夫</li> <li>・聞き手の反応を見ながら話すポイント<br/>※聞き手の方を見ながら、はっきりとした発音と聞きやすい声の大きさを、ゆっくりと話す<br/>※聞き手への問いかけを入れたり、話の区切りや強調したい言葉の前で間を取ったりする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価しながら聞こう</li> <li>・抑揚や間の取り方など、話し方を工夫</li> <li>● 場面に応じて話そう</li> <li>・スピーチの練習をする課題</li> <li>・相手の様子や場の状況に応じて話すポイント<br/>※ジェスチャーで表したり、資料を活用したりするなど、伝え方を工夫</li> </ul>  |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 話題や展開にそって話し合いをつなげる</li> <li>・うなづく、相づちをうつ、顔を向けるなど、相手が話しやすい聞き方</li> <li>● 構成を工夫して魅力を伝える</li> <li>・自分の声を通して直接思いや考えを伝える</li> <li>・聞き手に伝わる工夫の記述<br/>①話す速度・声の大きさ・間の取り方<br/>②身振り・表情・視線</li> <li>・聞き手に言葉を届けるように話す</li> <li>・評価の観点として話す速度、声の大きさ、間の取り方身振りなど</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める</li> <li>・うなづく、相づちをうつ、顔を向けるなど、相手が話しやすい聞き方を心がける</li> <li>● 状況に応じて話す力を養う</li> <li>・状況に応じた表現や話し方<br/>①表情、身振り、視線（空中で「Z」を書くように、会場をまんべんなく見渡すという記述）、声の大きさ、話す速度、間の取り方<br/>②人数や会場の大きさに合わせて、声の大きさを調整</li> <li>・評価の観点として、声の大きさ、話す速度、間の取り方、表情、身振りなど</li> </ul> |
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● お気に入りの一品を紹介する</li> <li>・進め方のポイント<br/>※話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方などの工夫</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成を考えて主張をまとめる</li> <li>・「組み立てる」ポイント<br/>※わかりやすく伝えることに加えて聞き手に主張や立場を印象づける工夫</li> <li>● 表現の工夫を評価してスピーチをする</li> <li>・「効果的に評価するヒント」<br/>※話し方の表現の仕方<br/>※聞き手の反応に応じた話し方</li> </ul>   |

【国語】 肢体不自由・病弱

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| <p>光村</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 声を届ける           <ul style="list-style-type: none"> <li>・声のウォーミングアップの学習課題</li> <li>・音読するときのポイント               <ul style="list-style-type: none"> <li>※言葉や文章の区切り目</li> <li>※間を取る箇所や長さ</li> <li>※読む速さや声の強弱，言葉の調子</li> </ul> </li> <li>・発表するときのポイントを記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>※顔を上げ，聞いている人の方を見てはっきりと話す</li> <li>※大切な部分は，ゆっくりと大きな声で話す</li> </ul> </li> <li>・発表を聞くときのポイントを記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>※相手を見て，うなづくなどの反応</li> </ul> </li> <li>・音の高さ・強さ，アクセント，イントネーション，プロミネンス</li> </ul> </li> <li>● 話の構成を工夫しよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの練習をする課題</li> <li>[観点] 声の大きさ，速さ，間の取り方</li> <li>・スピーチの会を開く課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>※話し手の視線</li> </ul> </li> <li>・発表するときのポイント               <ul style="list-style-type: none"> <li>※声の大きさや発音，話す速さや間の取り方，視線，表情，身振り手振り，聞き手を巻き込む話し方（呼びかけや問いかけ）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 聞き上手になろう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問で話を引き出すポイントを記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>※相づちを打ったりうなずいたりしながら…聞く</li> <li>※相手に届くよう，はっきりとした発音，程よい大きさや間の取り方を意識して話す</li> </ul> </li> <li>・聞き方の工夫を記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>※相づちを打つ，聞いたことをくり返す</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 一年間の学びを振り返ろう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表するときのポイントを記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>※声の調子や間の取り方の工夫</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 説得力ある構成を考えよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリップを両手で表示している写真</li> <li>・発表するときのポイントを記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>※声に熱意や感情を込めて話す</li> <li>※会場の規模や人数を踏まえて，声の大きさや資料の展示方法を考える</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |
|-----------|---|--|

# 書写

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|---|-----------------|--------------|
| 2<br>東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ページにわたって検証を行っています。学習の流れや情報の軽重が分かりやすいレイアウトにし、紙面に使用する色の数や分量を抑制することで、生徒の集中を妨げないよう配慮しています。原則として、文意を捉えやすいように文節で改行しています。弱視の生徒の学習のために、教科書と同じ内容の拡大教科書を発行します。</li> <li>色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。左利きの生徒の学習しやすさを考慮して、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置しました。右利き、左利きどちらの場合でも教材文字をしっかりと見ながら書くことができるように配慮しています。</li> </ul> | A B<br>・<br>146 | 347          |
| 15<br>三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインに配慮しています。特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと、識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。また、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるようにすることで、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫しました。</li> </ul>   | A B<br>・<br>130 | 200          |
| 17<br>教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>   | A B<br>・<br>146 | 345          |
| 38<br>光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家から校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。</li> <li>カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、誰もが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。</li> <li>目次や単元名、「学習の窓」には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。</li> </ul>  | A B<br>・<br>158 | 429          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（巻頭・巻末資料を除く）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

## 【書写】 視覚障害

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 観点    | ○ 触覚や聴覚等を活用した学習内容がある。         |
| 対象・方法 | 触覚や聴覚等を活用した学習活動を工夫できる学習課題の具体例 |

|     | 具体例  |
|-----|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「基本の点画の書き方」で、始筆、送筆、終筆の動きを「とん」「すう」「ぴたっ」等の擬音語で表現しながら書き方を確認する活動が掲載されている。</li> <li>○ 「いろは歌」で、日常的な音階と伝統的ないろは歌を結び付ける活動が掲載されている。</li> <li>○ 「行書を書くときの動き」で、字形をイメージしやすい漢字「二」「口」「十」「人」を用いて、運筆を確認する活動が掲載されている。</li> <li>○ 学習に役立つ学習コンテンツが提供されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆教材文字の運筆動画（音声あり） 25</li> <li>・関連する他教科の教科書紙面画像 10</li> <li>・web ページへのリンク 1</li> </ul> </li> </ul> |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「書き方を学ぼう【行書】」で、手本を指でなぞって書き方のイメージをつかむ活動が掲載されている。</li> <li>○ 学習に役立つ学習コンテンツが提供されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎編の動画（音声あり） 11</li> </ul> </li> </ul>  |
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「行書の筆使い「大」」で、手を筆先に見立てて書く活動が掲載されている。</li> <li>○ 「行書と仮名を調和させて書いてみよう」で、伝統的な書式の短冊や色紙が食材の切り方の名称に用いられていることからその形状を生活に生かす活動が掲載されている。</li> <li>○ 学習に役立つ学習コンテンツが提供されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆の運筆動画（音声なし） 29</li> </ul> </li> </ul>  |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「漢字の筆使い」で、始筆、送筆、終筆の動きを「トン」「スー」という擬音語で表現しながら書き方を確認する活動が掲載されている。</li> <li>○ 「行書に調和する仮名」で、筆圧の変化を笹の葉を例示してイメージさせる活動が掲載されている。</li> <li>○ 学習に役立つ学習コンテンツが提供されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本編の動画や運筆動画（音声あり） 38</li> <li>・関連資料 7</li> <li>・web ページへのリンク 12</li> </ul> </li> </ul>  |

**【書写】 視覚障害**

|              |   |
|--------------|---|
| <b>観点</b>    | ● 文字の色やコントラスト等により、視覚障害への配慮を要する内容がある。                      |
| <b>対象・方法</b> | 第1学年「学習のはじめに」「楷書」におけるレイアウトや配色，文字の大きさ等及び硬筆による行書の練習マス，毛筆の手本 |

|            | <b>具体例</b>   |
|------------|--|
| <b>東書</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配色 赤系と青系の配色で，カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>● 文字の大きさ 本文：通常 10～10.5pt，最小 8pt</li> <li>● フォント UDフォント使用（明朝，ゴシック，教科書体）</li> <li>● 硬筆用練習マス マスの大きさ：15mm×15mm 20mm×20mm 縦罫 15mm幅<br/>線の太さ：0.75pt 線の色：グレー リード線なし。<br/>手本の配置：練習マスの上側のマスに配置。一部左側に配置。<br/>なぞり書き用の文字：濃い</li> <li>● 毛筆の手本 すべて1頁の大きさと半紙と縦横比が同じ（例 p 15）。半紙範囲内に手本以外の情報の記載なし。<br/>書初め用紙（p 97～）は原寸大</li> </ul>   |
| <b>三省堂</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配色 赤系と青系の配色，明度に差がある色の配色で，カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>● 文字の大きさ 本文：通常 10～10.5pt，最小 8pt</li> <li>● フォント UDフォント使用（ゴシック，一部明朝）</li> <li>● 硬筆用練習マス マスの大きさ：15mm×15mm<br/>線の太さ：0.2pt 線の色：黒<br/>リード線あり。段階的にリード線を消したマスを提示<br/>手本の配置：主に練習マスの上側のマスに配置。一部右側に配置。<br/>なぞり書き用の文字：薄い</li> <li>● 毛筆の手本 見開き2頁（p 18～19）は半紙原寸大，その他は1頁の大きさと半紙と縦横比がほぼ同じ（例 p 39）。1頁の半紙範囲内に手本以外の情報の記載あり。<br/>書初め用紙（p 113～）は原寸大</li> </ul>                   |
| <b>教出</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配色 赤系と緑系の配色，明度に差がある色の配色で，カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>● 文字の大きさ 本文：通常 10.5pt，最小 8pt</li> <li>● フォント UDフォント使用（ゴシック，明朝）</li> <li>● 硬筆用練習マス マスの大きさ：17mm×17mm 15mm×15mm 縦罫 17mm幅 15mm幅<br/>線の太さ：0.25pt 線の色：黒 リード線あり。<br/>手本の配置：主に練習マスの上側のマスに配置。<br/>なぞり書き用の文字：薄い</li> <li>● 毛筆の手本 見開き2頁（p 16～17）は半紙原寸大，その他は1頁の大きさと半紙と縦横比がほぼ同じ（例 p 24）。半紙範囲内に手本以外の情報の記載なし。<br/>書初め用紙（p 129～）は原寸大</li> </ul>                              |
| <b>光村</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配色 赤系と青系の配色，又は緑系と青系の配色で，カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>● 文字の大きさ 本文：通常 13pt，最小 8pt</li> <li>● フォント UDフォント使用（ゴシック）</li> <li>● 硬筆用練習マス マスの大きさ：15mm×15mm 14mm×14mm 縦罫 15mm幅<br/>線の太さ：0.25pt 線の色：黒 リード線なし。<br/>手本の配置：主に練習マスの左側か上側のマスに配置。<br/>なぞり書き用の文字：薄い</li> <li>● 毛筆の手本 見開き2頁（p 60～61，68～69，72～73）は半紙原寸大，その他は1頁の大きさと半紙と縦横比がほぼ同じ（例 p 42）。半紙範囲内に手本以外の情報の記載あり。<br/>書初め用紙（p 145～）は原寸大<br/>背景と半紙の明確な境界線がない手本がある。</li> </ul> |

**【書写】 聴覚障害**

|              |  |
|--------------|--|
| <b>観点</b>    | ○ 運筆のポイントや筆順及び用具の扱い方等が写真やイラストとともに説明された内容がある。 |
| <b>対象・方法</b> | 「楷書」「行書」の運筆のポイントや筆順及び用具の扱い方等の理解を補う写真，イラストの数等 |

|            | Aイラスト・写真   | Bナンバリング   | Aイラスト・写真   | Bナンバリング  |
|------------|--|---|--|--|
|            | 楷書単元 (p14~15, 20~25)   |   | 初出行書単元 (p30~39)  |  |
| <b>東書</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：1</li> <li>・用具：0</li> <li>・手本：3</li> <li>・例示：0</li> </ul> </li> <li>○ イラスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：36</li> <li>・用具：0</li> <li>・手本：92</li> <li>・例示：0</li> <li>・部分の組み立て：20</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号がふってある箇所：14</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示している箇所：0</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある箇所：0</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある箇所：1</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①運筆：2</li> <li>②用具：0</li> <li>③手本：5</li> <li>④例示：0</li> </ul> </li> <li>○ イラスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①運筆：42</li> <li>②用具：1</li> <li>③手本：55</li> <li>④例示：1</li> <li>⑤部分の組み立て：0</li> </ul> </li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号がふってある：5</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示している：0</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある：0</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある：0</li> </ul>   |
| <b>三省堂</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：9</li> <li>・用具：0</li> <li>・手本：2</li> <li>・例示：0</li> </ul> </li> <li>○ イラスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：36</li> <li>・用具：3</li> <li>・手本：132</li> <li>・例示：0</li> <li>・部分の組み立て：12</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号がふってある：24</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示してある：0</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある：0</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある：1</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：8</li> <li>・用具：0</li> <li>・手本：16</li> <li>・例示：0</li> </ul> </li> <li>○ イラスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：8</li> <li>・用具：0</li> <li>・手本：54</li> <li>・例示：0</li> <li>・部分の組み立て：0</li> </ul> </li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号がふってある：0</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示している：0</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある：0</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある：3</li> </ul>   |
| <b>教出</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：11</li> <li>・用具：4</li> <li>・手本：105</li> <li>・例示：無</li> </ul> </li> <li>○ イラスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆順：37</li> <li>・用具：2</li> <li>・部分の組み立て：12</li> </ul> </li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号が付けてある：42</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示している：3</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある：12</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある：7</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：7</li> <li>・用具：9</li> <li>・手本：17</li> <li>・例示：34</li> </ul> </li> <li>○ イラスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：14</li> <li>・用具：0</li> <li>・部分の組み立て：23</li> <li>・例示：17</li> </ul> </li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号が付けてある：11</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示している：0</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある：15</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある：7</li> </ul> |
| <b>光村</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真 15                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：11</li> <li>・用具：2</li> <li>・手本：13 (QRコード動画4)</li> <li>・手本：3</li> <li>・例示：0</li> <li>・部分の組み立て：1</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号がふってある：1</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示している：10</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある：2</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある：2</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真 18                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：12</li> <li>・用具：4</li> <li>・手本：11 (QRコード動画3)</li> <li>・例示：0</li> </ul> </li> <li>○ イラスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運筆・筆順：5</li> <li>・用具：2</li> <li>・手本：9</li> <li>・例示：3</li> <li>・部分の組み立て：0</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆・筆順に番号がふってある：0</li> <li>○ 筆圧の強弱の段階を数字で示している：0</li> <li>○ 漢字の組み立ての部分ごとに数字がふってある：0</li> <li>○ 学習の手順に数字がふってある：7</li> </ul>   |



【書写】 聴覚障害

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 観点    | ● 学習のめあて（目標）が長文で示された内容がある。 |
| 対象・方法 | 第1学年のめあて（目標）の文節数           |

|                     | 題材名                 | 文節数           |    |
|---------------------|---------------------|---------------|----|
| 東書                  | ※文節数 最大：10 平均7.4    |               |    |
|                     | ①1 小学校の学習を振り返ろう     |               |    |
|                     | ②2 楷書の書き方を確かめよう     | 点画の書き方と字形の整え方 | 6  |
|                     | ③                   | 仮名の書き方と字形     | 6  |
|                     | ④                   | 文字の大きさと配列     | 10 |
|                     | ⑤                   | 情報を整理した書き方    | 8  |
|                     | ⑥生活に広げよう            | 案内の手紙を書こう     | 5  |
|                     | ⑦3 行書の書き方を学ぼう       | 行書を書くときの動き    | 7  |
|                     | ⑧                   | 点画の連続         | 9  |
|                     | ⑨                   | 点画の変化         | 9  |
|                     | ⑩生活に広げよう            | 年賀状を書こう       | 6  |
| ⑪                   | 職場訪問をしよう            | 8             |    |
| 三省堂                 | ※文節数 最大13 平均6.7     |               |    |
|                     | ①1 楷書               | 字形の整え方と筆使い    | 9  |
|                     | ②2 楷書と仮名            | 仮名の字形と筆使い     | 7  |
|                     | ③                   | 文字の大きさと配列     | 8  |
|                     | ④3 行書               | 行書の特徴         | 3  |
|                     | ⑤                   | 点画の丸み         | 6  |
|                     | ⑥                   | 点画の連続         | 6  |
|                     | ⑦                   | 点画の形や方向の変化    | 8  |
| ⑧やってみよう             | グループ新聞を作ろう          | 8             |    |
| 教出                  | ※文節数 最大11 6.3       |               |    |
|                     | ①学習内容を効果的にノートに書こう   |               | 6  |
|                     | 一 楷書で書こう            |               |    |
|                     | ②1 筆使い 一基本点画一       |               | 6  |
|                     | ③2 筆使いと字形「天地」       |               | 6  |
|                     | ④3 学習を生かして書く一字形、筆順一 |               | 6  |
|                     | 二 楷書と仮名を調和させて書こう    |               |    |
|                     | ⑤1 筆脈「いろは歌」         |               | 4  |
|                     | ⑥2 楷書に調和する仮名「いろは歌」  |               | 5  |
|                     | ⑦3 学習を生かして書く 一行の中心一 |               | 7  |
|                     | ⑧4 学習を生かして書く 一配列一   |               | 8  |
|                     | ⑨5 学校生活に生かして書く      |               | 11 |
|                     | 三 行書で書いてみよう         |               |    |
|                     | ⑩1 行書学習のはじめに        |               | 10 |
|                     | ⑪2 楷書と行書の違い「和」      |               | 4  |
|                     | ⑫3 行書の筆使い「大」        |               |    |
| ⑬4 点画の連続と変化1「大木」    |                     | 6             |    |
| ⑭5 点画の連続と変化2「栄光」    |                     | 5             |    |
| ⑮6 点画の連続と省略「平和」     |                     | 5             |    |
| ⑯7 学習を生かして書く一行書の特徴一 |                     | 6             |    |
| 光村                  | ※文節数 最大10 平均6.2     |               |    |
|                     | 1 読みやすく書くための楷書      |               |    |
|                     | ①                   | 漢字の筆使い        | 8  |
|                     | ②                   | 楷書に調和する仮名     | 5  |
|                     | ③                   | 文字の大きさと配列     | 7  |
| 2 読みやすく速く書くための行書    |                     |               |    |
| ④                   | 行書の特徴               | 6             |    |
| ⑤                   | 点画の変化               | 5             |    |

【書写】 肢体不自由・病弱

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。 |
| 対象・方法 | 情報機器の活用等に関わる内容の具体例   |

|     | 具体例   |
|-----|---|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年「1 効果的に文字を書こう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕事の中の手書き文字」で活字デザイナーを取り上げている。</li> <li>・「基本的にはコンピューター上で全ての作業を行うのですが、平仮名は、最初に手でスケッチを書きます。鉛筆で下書きをした後、筆でなぞって試作するのです。漢字は多くの場合、最初からコンピューターで作りますが、活字のデザインによっては、試作を手書きすることもあります。」と掲載</li> <li>・ディスプレイに向かって操作している写真を掲載</li> </ul> </li> <li>○ 「書写活用ブック」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「そのほかの書式」として、電子メールの書式例を掲載</li> <li>・「・用件が分かりやすいように件名をつける・用件は簡潔にまとめ、改行などで読みやすい配置を考える。・末尾に署名を加える。」と、電子メールの書式の注意事項を掲載</li> <li>・電子メールと手書きを比較して分かりやすく書くための工夫として共通しているところを見つける問いを掲載</li> </ul> </li> </ul> |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年「1 文字文化の豊かさ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身のまわりの文字」の①で、手書き文字や活字による伝え方の変遷、パソコンで作成されたポスターとパソコンの写真を掲載</li> <li>・「パソコンで作成した花火大会のポスター。手書き文字・活字などの書体が効果的に使い分けられている。」「活字と手書き文字を、それぞれ効果的に取り込んでいるね。」と掲載</li> <li>・「身のまわりの文字」の②で、文字に関わる仕事の達人としてタイプデザイナーによる活字の作り方を掲載</li> <li>・「仕上げはパソコンで成型する。」と掲載</li> <li>・ディスプレイに向かって操作している写真を掲載</li> </ul> </li> <li>○ 「資料編」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書写の広場」の「文房至宝」の「進化する筆記用具」の例として「タブレットとタッチペン」の写真を掲載</li> </ul> </li> </ul>   |
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年「暮らしの文字を支える人々」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活字デザイナーについて掲載</li> <li>・「書いた文字は、コンピューターを使ってデータ化する。」と掲載</li> <li>・ディスプレイに向かって操作している写真を掲載</li> </ul> </li> </ul>  |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「4 日常に役立つ書式」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手紙の書き方（横書き）」に、メールの書式例を掲載</li> <li>・「ひと目で用件が分かるようにする。一行が長くならないように書く」と、メールの書式の注意事項を掲載</li> </ul> </li> </ul>   |

**【書写】 肢体不自由・病弱**

|              |                         |
|--------------|-------------------------|
| <b>観点</b>    | ● 学校や学校周辺では学習できない内容がある。 |
| <b>対象・方法</b> | 学校や学校周辺では学習できない活動の具体例   |

| 具体例        |  |
|------------|--|
| <b>東書</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年「生活に広げよう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職場訪問をしよう」で、書写で学習してきたことを生かすために、「訪問先に依頼する」「2 職場訪問する」「3 訪問先にお礼を伝える」「4 学習したことを報告する」という活動を掲載</li> </ul> </li> <li>○ 2年「生活に広げよう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災訓練に参加しよう」で、書写で学習してきたことを生かすために、①準備の話し合いをする、②多くの人に案内する③当日の準備をする④調べたことをまとめる、という活動を掲載</li> </ul> </li> <li>○ 3年「1 効果的に文字を書こう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身の回りの文字の目的と工夫」で、身の回りの文字の目的と、それに応じた工夫を理解するために、店頭案内や史跡名の石碑などを見つけてまとめて発表する活動を掲載</li> </ul> </li> </ul> |
| <b>三省堂</b> | (記載なし)   |
| <b>教出</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年「三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1 多様な表現による文字」で、身の回りで見かける文字の表現効果について考えるために、旅行先や見学先で文字を見つけ、取材レポートを発表する活動を掲載</li> <li>・自分の街の城の城址名の石碑を見る活動を掲載</li> </ul> </li> </ul>  |
| <b>光村</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年「3 文字を使い分ける」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国文字マップ」で、身の回りにはさまざまな文字があることを理解するために、身近な文字を探しに行く活動を掲載</li> </ul> </li> </ul>  |

## 社会（地理的分野）

### 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|--|-----------------|--------------|
| 2<br>東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できます。</li> <li>・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。</li> <li>・教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。</li> <li>・色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。</li> <li>・小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。</li> </ul> | A B<br>・<br>302 | 403          |
| 17<br>教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>  | A B<br>・<br>308 | 401          |
| 46<br>帝国  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の専門家からの助言を参考に、全ての生徒が読み取りやすい表現となるよう配慮しています。</li> <li>・文字は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用しました。</li> <li>・見開きにおけるデザインや、グラフ・地図といった資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮しました。また、折れ線グラフなどは、線種を変えるなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取れるようにしました。</li> <li>・学習者用デジタル教科書を発行し、特別支援教育に活用できる機能を付加します。</li> </ul>  | A B<br>・<br>310 | 399          |
| 116<br>日文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字はユニバーサルデザインに配慮したフォント、ルビも判読しやすいゴシック体を使用しました。グラフ・地図等の図版は、CUD に配慮した配色や処理を施しています。</li> </ul>   | A B<br>・<br>298 | 420          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100 ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【社会（地理的分野）】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 重要語句の説明が写真やイラスト、地図、グラフ等、様々な視覚情報を用いて為されている内容がある。                          |
| 対象・方法 | 世界と日本の地域構成の「日本の位置」及び日本の地域的特色の「日本の資源・エネルギー」において、重要語句の説明が写真やイラストを用いて為されている事例 |

|    | 「日本の位置」   | 「日本の資源・エネルギー」   |
|----|---|---|
| 東書 | <p>&lt;日本の緯度・経度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の同緯度、同経度の範囲（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「地図中のA～Dは日本をある視点で移動したものである。Aを参考にB～Dに当てはまる語句を考えよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 秋田県大潟村にある記念塔（写真①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・見方・考え方「写真はどのようなことを記念して建てられたか。地図帳で秋田県大潟村の位置を調べて考えよう。」</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;日本の位置&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京からの距離と方位が正しく表されている世界地図（地図①）</li> <li>○ ロンドン（イギリス）からの距離と方位が正しく表されている世界地図（地図①）</li> <li>○ テイセラ日本島図（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル「地図や地球儀に表された日本」</li> </ul> </li> <li>○ 「国の位置を確認しよう」 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)世界六つの州からそれぞれ1か国ずつ選び、その国から見た日本の位置を説明しよう。</li> <li>(2)グループで説明しあおう。</li> </ol> </li> </ul>   | <p>&lt;かたよる鉱山資源の分布&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石油の備蓄基地（写真①）</li> <li>○ 日本の主な鉱山資源の輸入相手国（帯グラフ④） <ul style="list-style-type: none"> <li>・石炭・石油・天然ガス・鉄鉱石</li> </ul> </li> <li>○ 石油と石炭の国別埋蔵量（帯グラフ②） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「石油や石炭の埋蔵量が多い国の特色を、地域に着目して読み取ろう。」</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;資源輸入大国・日本&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主な国のエネルギー自給率（棒グラフ①）</li> </ul> <p>&lt;日本の発電方法の変化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の主な発電所の分布（資料図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・見方・考え方「それぞれの発電所の位置や分布には、どのような特徴がみられるか説明しよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 火力発電所とガスタンカー（写真①）</li> <li>○ 世界の主な国の発電量の内訳（帯グラフ⑥） <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ・中国・カナダ・フランス・日本②</li> <li>・説明「2011年に起こった東日本大震災での原子力発電所の事故の影響を受けて、日本の全ての原子力発電所で発電が停止するなど、2011年以降、日本の発電量の内訳は大きく変化している。」</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;資源の活用と環境への配慮&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電気自動車の充電スタンド（写真①）</li> </ul> |
| 教出 | <p>&lt;地球上の日本の位置&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本と世界で異なる時刻（写真③） <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京・ロンドン・ニューヨーク</li> </ul> </li> <li>○ 16世紀後半につくられた地図（地図） <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い「現在の地図帳とどこが違うか比較しよう。」「日本はどんなふうにかかれてますか。」</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;本初子午線と時差&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ロンドンと東京・ニューヨークの時刻と位置の関係（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い「資料1の三都市の時間を資料3・4で確かめよう。」</li> </ul> </li> <li>○ イギリスを基準とした世界の等時帯を現した図（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の活用法</li> <li>・問い「資料4から各都市の時差を書き表そう。一つの国の中で、時差が生じる国をあげて、こうした国の共通点をまとめよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 子午線交番（写真） <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル「標準時について考えよう」</li> </ul> </li> </ul> | <p>&lt;利用できる資源&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本が輸入する主な資源の輸入先（円グラフ③） <ul style="list-style-type: none"> <li>・原油・石炭・鉄鉱石</li> </ul> </li> <li>○ 世界の鉱山資源の分布（資料図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜ、こんなに遠くから輸入しているのかな。」</li> </ul> </li> <li>○ 原油・石炭・鉄鉱石の国別生産割合（帯グラフ③）</li> </ul> <p>&lt;限りある資源&gt;</p> <p>資料なし</p> <p>&lt;簡単ではない電力の問題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主な国の発電量の内訳（帯グラフ⑥） <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ・フランス・中国・ブラジル・ドイツ・デンマーク</li> </ul> </li> <li>○ 日本の主な発電所の分布（資料図①・円グラフ①）</li> <li>○ 発電方式の特徴（表①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・水力・火力・原子力それぞれのしくみと発電所の立地場所</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;電力に関する新たな動き&gt;</p> <p>資料なし</p>   |

【社会（地理的分野）】 聴覚障害

| ○ 世界と日本の地域構成「世界の中での日本の位置」 |   |
|---------------------------|---|
| 帝国                        | <p>＜緯度・経度で見た日本の位置＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本と同じくらいの緯度にあるイタリア（ローマ）（写真①）</li> <li>○ 日本と同じくらいの緯度にあるアメリカ合衆国（ニューヨーク）（写真①）</li> <li>○ 日本と同じ緯度，同じ軽度の範囲（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「地図中にある赤い日本：地球の反対側に日本を移した位置」</li> <li>・問い「北半球で日本と同じくらいの緯度にある国は，どこの国かな？」</li> <li>・確認しよう「3と地図帳を使って日本と同じくらいの緯度・経度にある国を，挙げよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 緯度で見た日本の南北の範囲（図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「日本は面積のわりに，国土が広がる緯度・経度の範囲が広い国になっている。」</li> </ul> </li> </ul> <p>＜世界の他地域から見た日本の位置＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヨーロッパを中心にした世界地図（地図①）</li> <li>○ 16世紀ごろにヨーロッパ人が作った世界地図（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い「極東や中東とは，どこの地域を指している？」</li> </ul> </li> <li>○ ユーラシア大陸の隣国から見た日本（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「日本の位置は，どの国から日本を見るかによって，表し方が変わるんだね。」</li> <li>・設問「行ってみたい国を一つ選び，その国から見た日本の位置を，方位や大陸・海洋の名称などを使って説明しよう。」</li> </ul> </li> </ul>  |
| 日文                        | <p>＜緯度・経度からみた日本の位置＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本と緯度・経度が同じ範囲（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業「日本と緯度・経度が同じ範囲の陸地に色をぬろう。」</li> <li>・問い「日本の位置はどのように説明できるか。」</li> </ul> </li> <li>○ 日本と緯度が同じ範囲にある国（写真①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・見方・考え方「緯度・経度からあらかず方法，世界の国々，大陸，大洋との位置関係からあらかず方法に着目しよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 日本と経度が同じ範囲にある国（写真①）</li> </ul> <p>＜他国から見た日本の位置＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヨーロッパを中心とした世界地図（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル「日本は世界のどこにある？」</li> </ul> </li> <li>○ ユーラシア大陸からみた日本（地図①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「ユーラシア大陸の国々から日本はこのように見える。」</li> </ul> </li> </ul> <p>＜資源を輸入に頼る日本＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 原油の備蓄基地（写真） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「北海道や東北地方，九州地方などの各地に，写真のような原油の貯蔵施設がある。」</li> </ul> </li> <li>○ 2 日本の資源受給率（円グラフ④） <ul style="list-style-type: none"> <li>・原油，石炭，鉄鉱石，液化天然ガス</li> <li>・問い「どうして原油を貯蔵する必要があるのかな？」</li> </ul> </li> <li>○ 日本で消費している資源の輸入先（帯グラフ④） <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い「日本が鉱山資源を多く輸入している国を読み取ろう。」</li> </ul> </li> <li>○ 4 ロシアの資源開発（資料図，帯グラフ④） <ul style="list-style-type: none"> <li>・原油・石炭・鉄鉱石・液化天然ガス</li> </ul> </li> </ul> <p>＜生活を支える電力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5 主な発電所の分布（資料図） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「それぞれの発電所は，どのような場所に分布しているか注目しよう。」</li> </ul> </li> <li>○ 6 主な国の発電量の内訳（帯グラフ⑦） <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本②，アメリカ，中国，ドイツ，フランス，ブラジル</li> </ul> </li> </ul> <p>＜持続可能な社会に向けて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピックのメダルを作るために集められた不要な携帯電話（写真①）</li> <li>○ 住宅用の太陽光発電システム（写真①） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「災害時も転電の心配のない自宅での太陽光発電が注目されている。」</li> </ul> </li> </ul> <p>＜鉱山資源を外国に依存する日本＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の鉱山資源の分布（資料図），日本の主な鉱山資源の輸入先（円グラフ③） <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油・石炭・鉄鉱石</li> <li>・問い「日本は必要な資源をどのように確保しているのかな。」</li> </ul> </li> </ul> <p>＜資源を確保するために＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「3R」という取り組み（模式図） <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「できるだけごみを減らし，限られた地球の資源を有効に活用して，持続可能な社会をめざすための取り組みを表した言葉」</li> </ul> </li> </ul> <p>＜環境問題への取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ さまざまな再生可能エネルギー（写真④） <ul style="list-style-type: none"> <li>・水力発電・太陽光発電・風力発電・地熱発電</li> <li>・説明「再生可能エネルギーは，鉱山資源にたよらず，自然環境に与える影響が少ないエネルギー」</li> </ul> </li> <li>○ 日本のエネルギー供給の割合（帯グラフ③） <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー消費全体，発電量 2016年，2030年</li> </ul> </li> </ul> <p>＜資源・エネルギーからみた日本の地域区分＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主な発電所の分布と主な電力会社の営業地域（資料図①）</li> </ul> |

【社会（地理的分野）】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● インタビュー活動等，音声言語によるコミュニケーションを扱った内容がある。                                 |
| 対象・方法 | 「地域調査の手法」「地域のあり方」において，調査や発信方法として，インタビュー活動等の音声言語によるコミュニケーションを扱った内容がある事例 |

|    | 第3部（編）第1章「地域調査の手法」  | 第4部（章）「地域のあり方」  |
|----|---|---|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「地域調査の手法」</li> <li>・ 地域住民に話を聞く</li> <li>● 「調査の準備」</li> <li>・ 市役所や町内会，高齢者への聞き取り調査</li> <li>● 「野外観察・聞き取り調査」</li> <li>・ 聞き取り調査の方法</li> <li>・ 事前連絡としての電話</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果的に発信・提案できる手段（伝えようとする相手に伝わりやすい手段の選択。相手の年齢層や立場に応じた適切な表現方法）</li> </ul>  |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「調査の計画を立てる」</li> <li>・ 消防団や消防局の人々に，地域の防災について聞く活動</li> <li>● 「地域の防災について調べる」</li> <li>・ 市役所や観光協会などに問い合わせる活動</li> <li>・ 調査の聞き取り先にあらかじめ内容を伝えてから，電話すると聞き取り活動をスムーズに進められる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「地域の課題をとらえる」</li> <li>・ 農村の課題を知るために地域住民へインタビューする。</li> <li>● 「地域の課題を調べる」</li> <li>・ 商店街での聞き取り</li> <li>● 「地域に向けて発信する」</li> <li>・ 発表会を開いて，地域の住民やインタビューした人などに聞いてもらい，感想や意見をうかがう。</li> </ul> |
| 帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「調査方法を考えよう」</li> <li>・ 聞き取り調査について，質問項目に沿ってインタビューする。</li> <li>● 「野外調査を実行しよう」</li> <li>・ 聞き取り調査の手法</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「地域をとらえよう」</li> <li>・ 電話による聞き取り調査</li> </ul>   |
| 日文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「調査テーマを決めて調査計画を立てよう」</li> <li>・ 農家や商店の人への聞き取り調査</li> <li>● 「調査を進めよう」</li> <li>・ 地域の人への聞き取り調査</li> <li>・ 観光客や地域の人への聞き取り調査</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「地域の課題の要因を考察しよう」</li> <li>・ 地域の人々への聞き取り調査</li> <li>・ 地域に住む人々や京都市の人への聞き取り調査</li> </ul>  |

【社会（地理的分野）】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 語句や内容についての説明が写真やイラストを用いて為されている。                         |
| 対象・方法 | 「世界の地域構成，日本の地域構成」「世界各地の人々の生活と環境」において，語句等を写真やイラストで説明している事例 |

|    | 「世界の地域構成，日本の地域構成」  | 「世界各地の人々の生活と環境」  |
|----|--|--|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 六大陸と三大洋（写真，地図）</li> <li>○ 世界のさまざまな国々（写真，国旗）</li> <li>○ 面積の大きい国と小さい国（イラスト）</li> <li>○ 国による人口の多少（グラフ，イラスト）</li> <li>○ 緯度と経度で地球上の位置を表す（地球儀，写真，地図）</li> <li>○ 地球儀と世界地図の特徴（地球儀，地図）</li> <li>○ 緯度と経度で日本の位置を表す（地球儀，地図，写真）</li> <li>○ 日本と世界との時差（写真，地図）</li> <li>○ 日本の領域の特色（写真，イラスト）</li> <li>○ 北方領土・竹島と尖閣諸島の問題（写真，地図）</li> <li>○ 日本の都道府県と地方区分（地図，写真）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の人々の暮らしの違い（写真）</li> <li>○ 雪と氷の中で暮らす人々とその様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々とその様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 温暖な土地に暮らす人々とその様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 乾燥した土地に暮らす人々とその様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 常夏の島で暮らす人々とその様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 標高の高い土地に暮らす人々とその様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 世界のさまざまな気候（写真，地図）</li> <li>○ 世界のさまざまな宗教の特徴（写真，地図）</li> </ul> |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地球儀をながめての3大陸6大洋</li> <li>○ 地球儀の特徴から，位置の表し方，四季のしくみについて知る（地球儀）</li> <li>○ 地球儀と世界地図の違い（地図，地球儀）</li> <li>○ 人口・面積からの国々の比較（地図，グラフ）</li> <li>○ 国旗と国境から見る世界の特徴（国旗，写真）</li> <li>○ 日本と世界各地の位置関係と時差（写真，地図）</li> <li>○ 日本の領域（写真，地図，イラスト，グラフ）</li> <li>○ 日本の領土をめぐる問題（写真，地図，年表）</li> <li>○ 47都道府県名と地方区分，都道府県庁所在地名（地図）</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の気候（地図，写真，雨温図）</li> <li>○ 熱帯の地域の暮らしの様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 乾燥帯の地域と人々の生活の様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 温帯の地域と人々の生活の様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 冷帯，寒帯の地域と人々の生活の様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 高地の気候の人々の生活の様子（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 世界で使用されるさまざまな言語（写真，地図）</li> <li>○ 世界の宗教と人々の様子（写真，地図，グラフ）</li> </ul>  |



【社会（地理的分野）】 肢体不自由

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| <p>帝国</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 六つの大陸と三つの大洋，世界の地域区分（地図，イラスト）</li> <li>○ アジア州とヨーロッパ州の国名（写真，地図）</li> <li>○ 国境の様子（写真，地図，イラスト）</li> <li>○ 緯度と経度（地図，地球儀）</li> <li>○ 地球儀と世界地図の違い（地球儀，地図）</li> <li>○ 世界の中での日本の位置（写真，地図）</li> <li>○ 地球上における位置と時差（写真，地球儀，地図）</li> <li>○ 日本の領域，排他的経済水域（イラスト，写真，地図）</li> <li>○ 北方領土，竹島，尖閣諸島（写真，地図）</li> <li>○ 都道府県の境界（地図，写真）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界各地の暮らし（市場）の様子（写真）</li> <li>○ 世界のさまざまな気候（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 熱い地域の暮らし（インドネシア）（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 乾燥した地域の暮らし（アラビア半島）（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 温暖な地域の暮らし（スペイン）（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 寒い地域の暮らし（シベリア）（写真，地図，雨温図，イラスト）</li> <li>○ 高地の暮らし（アンデス山脈）（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 世界各地の衣食住（写真，地図）</li> <li>○ 人々の生活と宗教の関わり（写真，地図，イラスト）</li> </ul>           |
| <p>日文</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 六大陸と三大洋，六つの州に分けられる世界（地図，地球儀）</li> <li>○ 国名と国旗から見る世界（地図，イラスト，写真）</li> <li>○ 緯度，経度のしくみ（写真，地図，地球儀）</li> <li>○ 地球儀と世界地図の特色（地図，地球儀）</li> <li>○ 日本の位置をとらえる（地図，写真）</li> <li>○ 日本と世界各地の時差（写真，地図）</li> <li>○ 日本の領域の特色をとらえる（写真，地図，イラスト）</li> <li>○ 日本の領域をめぐる問題（写真，地図）</li> <li>○ 日本の都道府県と7地方区分（写真，地図）</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の食事の様子（文化）（写真）</li> <li>○ 地域のさまざまな特色を読み取る（写真資料で手順説明）</li> <li>○ 世界の気候（地図，写真）</li> <li>○ 熱い地域に生きる人々の生活（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 乾燥地域に生きる人々の生活（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 温暖な地域に生きる人々の生活（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 寒い地域に生きる人々の生活（写真，地図，雨温図）</li> <li>○ 高地に生きる人々の生活（写真，地図，雨温図，イラスト）</li> <li>○ 主な言語の話しての人口（グラフ）</li> <li>○ 世界の三大宗教の人々の生活（写真，地図）</li> </ul> |

【社会（地理的分野）】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ● 上肢の複雑な動きを必要とする内容がある。                          |
| 対象・方法 | 「世界の地域構成，日本の地域構成」「地域調査の手法」において，上肢の複雑な動きを必要とする事例 |

|    | 「世界の地域構成，日本の地域構成」  | 「地域調査の手法」  |
|----|--|--|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球儀上で，紙テープを使い，距離と方位を調べる課題</li> <li>● ノートに線を引いて，略地図を完成させる課題</li> <li>● 教科書の空欄に島名を書き込む課題</li> <li>● 教科書の空欄に地方名を書き込む課題</li> <li>● 教科書の地図で，自分が住んでいる都道府県を線で囲む課題</li> <li>● ノートに線を引いて，略地図を書き，東西南北端の島を点で書き込む課題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地図上の地形図読み取りで，2点間の距離を測るのに，物差しを使う必要がある。</li> </ul>  |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大陸名，海洋名を教科書に記入する課題</li> <li>● 簡単な世界の略地図を描き，六大陸と三大洋の大きな位置を書きこむ課題</li> <li>● 略地図の練習で線なぞりをする課題</li> <li>● テープを操作して，地球儀上で方位と距離を確かめる課題</li> <li>● 地図中から二つの地点を探して，色塗りする課題</li> <li>● 点線をなぞり略地図を完成させる課題</li> <li>● 統計資料を使い，表に記入して，表を完成させる課題</li> <li>● 島名を教科書に記入する課題</li> <li>● 日本の地方区分名を教科書に記入する課題</li> <li>● 地図中の日本列島の海岸線を太ペンでなぞる課題</li> <li>● 地図中空欄に数字を二か所書き入れる課題</li> <li>● 日本の略地図を描く課題</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地形図とグラフで同じ高さを示す交点までの垂線を描く課題</li> <li>● グラフ上の交点どうしを結ぶゆるやかな線を描く課題</li> <li>● 教科書中の断面図に文字を書き入れる課題</li> <li>● 表の数字をもとに，グラフに書き入れる課題</li> </ul> |
| 帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地図帳の都市名と索引の記号を線で結ぶ課題</li> <li>● 地球儀上で，紙テープを使い，距離と方位を調べる課題</li> <li>● トレーシングペーパーを使って，鉛筆で線をなぞり，略地図を描く課題</li> <li>● 教科書に島名と都道府県名を記入する課題</li> <li>● 教科書中の地図に色塗りをする課題</li> <li>● ノートに緯線経線の線引きをし，トレーシングペーパーを使って略地図を描く課題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地図中で物差しを使って，長さを測り，距離を測る課題</li> <li>● 教科書中で，等高線を使って断面図を書き込み完成させ，さらに地図中に色塗りをする課題</li> </ul>   |
| 日文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球儀を回転させて，大陸と海洋を調べる課題</li> <li>● 地球儀を回転させて東京と反対側の地点を探す課題</li> <li>● 教科書空欄に国名を記入する課題</li> <li>● 地球儀で，方位及びテープを使って距離を測る課題</li> <li>● 教科書中で地図に色塗りをする課題</li> <li>● 教科書中の空欄に島名を記入する課題</li> <li>● 物差しを使って，地図上の距離を測定する課題</li> <li>● 教科書中の空欄に，日本の七地方区分を記入する課題</li> <li>● 白地図に7地方区分の境界と47都道府県の県名と県庁所在地名を書き込む課題</li> <li>● トレーシングペーパーを使って一筆書きで線引きをし，略地図を描く課題</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 断面図の描き方で，教科書中のグラフに垂線を引く課題</li> <li>● 教科書中になめらかな線を引いて，断面図を完成させる課題</li> <li>● 地図上で物差しを使って距離を計測し，さらに目的地に印をつける課題</li> </ul>                   |

# 社会（歴史的分野）

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称   | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|------------|--|-----------------|--------------|
| 2<br>東書    | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、従来掲載していたキャラクターを本文ページからなくすことで、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。</li> <li>資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させました。</li> <li>ユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用することで、文字の視認性を向上させました。</li> <li>振り仮名には読み取りやすいゴシック体を採用し、視認性をしっかりと確保した上で、黒色を抑えることで、ふりがなが多い文章での雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させました。</li> <li>グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり、グラフでは読み取りづらい破線や点線を減らしたりしました。</li> </ul> | A B<br>・<br>308 | 406          |
| 17<br>教出   | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>  | A B<br>・<br>318 | 301          |
| 46<br>帝国   | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家からの助言を参考に、すべての生徒が読み取りやすい表現となるよう配慮しています。</li> <li>文字は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用しました。</li> <li>見開きにおけるデザインや、グラフ・地図といった資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮しました。また、折れ線グラフなどは、線種を変えるなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取れるよう工夫しました。</li> <li>学習者用デジタル教科書を発行し、特別支援教育に活用できる機能を付加します。</li> </ul>  | A B<br>・<br>310 | 371          |
| 81<br>山川   | <ul style="list-style-type: none"> <li>図版はできる限り大きく掲載しました。地図・グラフはカラーユニバーサルデザインにも配慮し、読み取りやすい表現方法での作図を心がけました。</li> </ul>  | A B<br>・<br>296 | 450          |
| 116<br>日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>文字はユニバーサルデザインに配慮したフォント、ふりがなも判読しやすいゴシック体を使用しました。グラフ・地図等の図版は、CUDに配慮した配色や処理を施しています。</li> </ul>   | A B<br>・<br>336 | 506          |
| 227<br>育鵬社 | <ul style="list-style-type: none"> <li>図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫を行い、生徒が見やすいように配慮しました。ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。</li> </ul>   | A B<br>・<br>320 | 398          |
| 229<br>学び舎 | <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史地図・グラフをカラーユニバーサルデザインにしています。すべての地図・グラフを色覚特性の個人差に配慮して、読み取りやすくしました。裏見返しの「歴史地図（日本）」では、千島列島から南西諸島に至る全域を1枚に収めて、日本全体をとらえられるようにしました。</li> </ul>   | A 4<br>・<br>308 | 392          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100 ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【社会（歴史的分野）】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● インタビュー活動等、音声言語によるコミュニケーションを扱った学習内容がある。 |
| 対象・方法 | 歴史の対話の「身近な地域の歴史」                         |

|    | 「身近な地域の歴史」インタビュー活動   | 「身近な地域の歴史」討論・発表等   |
|----|--|--|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館での調べ学習で、学芸員にインタビューする活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 地域の歴史を調べよう 1                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市の博物館でのインタビュー活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 地域の歴史を調べよう 2                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料館の学芸員の人へのインタビュー活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 地域の歴史を調べよう 3                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県の博物館、伝統工芸品の職人へのインタビュー活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 地域の歴史を調べよう 5                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大空襲について体験者へのインタビュー活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 地域の歴史を調べよう 6                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆投下後の広島復興について、資料館の職員へのインタビュー活動が紹介されている。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の歴史を調べよう 1                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市の歴史で調べた内容をポスターセッションで発表する活動を紹介している。</li> </ul> </li> <li>● 地域の歴史をしらべよう 6                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・被爆後の広島復興について調べた内容をもとに発表・提案内容をグループで話し合い、プレゼンテーション形式で発表・提案している活動を紹介している。</li> </ul> </li> </ul>   |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・野外調査・聞きとり調査で新潟市の発展について商店街の人へのインタビュー活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 聞き取り調査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の学芸員など地域の歴史に詳しい人に聞き取り調査をすることも考えられる。</li> <li>・事前に連絡して許可を取る</li> <li>・あらかじめ質問事項を用意して、メモ、筆記用具など記録の準備をしておく。</li> <li>・カメラなどで撮影するときにも事前に許可を得る。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の調べ学習の内容を発表し合い、学習の振り返りを紹介している。大きな声でゆっくり話すことなども説明している。</li> </ul> </li> <li>● 発表して学習を振り返る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターやプレゼンテーションソフトなどにまとめる工夫</li> <li>・大きな声でゆっくりと、聞く人を見ながら話す。</li> <li>・発表を聞く時には、質問や疑問をメモに取るようにする。</li> <li>・発表が終わったら意見交換をする。</li> <li>・他の班の調査が自分の班の調査とどこが共通していて、どこが違うのか、よく発表を聞く。</li> </ul> </li> </ul> |
| 帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の集め方の1つとして、博物館や資料館へのインタビュー活動を紹介している。</li> <li>・野外・聞きとり調査の1つとして、学芸員にインタビューする活動を紹介している。</li> </ul> </li> <li>● 野外・聞き取り調査の仕方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問する相手と聞く内容を決め、質問用紙を作っておく。</li> <li>・記録用紙、筆記用部、カメラ、ビデオ、地図などの持ち物を準備する。</li> <li>・質問用紙に沿ってインタビューする。</li> <li>・自分たちの仮説と聞き取り内容が食い違う点や、はっきりしない点は整理して、再度質問する。</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史の調べ学習で、調べた内容をレポートでまとめて発表する活動を紹介している。よく聞こえる声で発表することなどをポイントとして説明している。</li> </ul> </li> <li>● 発表しよう（発表の時に注意すること）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく聞こえる声で話す。</li> <li>・資料は分かりやすく提示する。</li> <li>・分かりやすくするために、説明の仕方を工夫する。</li> </ul> </li> </ul>   |

【社会（歴史的分野）】 聴覚障害

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 山川  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史を調べよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の調べ学習で、地域の人やくわしい人に聞きとり（インタビュー）を行う活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 地域からのアプローチ1             <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県の平城京遺跡で発掘調査をしている専門家にインタビューを行う活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 聞き取り調査をしよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような人にどのようなことを聞くのかを考え、事前に質問表を作っておく。</li> <li>・話を聞かせていただく人に電話で面談の希望を伝え、了解を得て日時を決める。</li> <li>・撮影や録音は、事前に許可を得る。聞き取り作業は質問者と記録者に役割を分けるとよい。</li> <li>・1つの事実でも人によって印象が異なる。他の調査による裏付けが必要な場合もある。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史を調べよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の調べ学習で、調べた内容をレポートでまとめ、プレゼンテーション形式で発表する活動が紹介されている。口頭でしっかり説明することも紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 発表しよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の構成を考えて、最初に聞き手が関心をもつ話題を提示するとよい。</li> <li>・専門用語などは、知らない聞き手が分かるように説明を工夫する。</li> <li>・聞き手の方を見ながら、よく聞こえる声ではっきりとスムーズに話す。</li> </ul> </li> </ul>     |
| 日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史             <ul style="list-style-type: none"> <li>・福山の県立歴史博物館での調べ学習で、学芸員へのインタビュー活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 現地調査             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアガイドがいる場合、分からないことは質問してみる。</li> </ul> </li> <li>● 博物館の見学のしかた             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員やボランティアガイドの方に解説してもらったり、質問したりすることを整理しておく。</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史             <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことを新聞形式でまとめ、発表する活動を紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 相手に伝わる説明のしかた             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを説明するときは、どのような説明をすれば、聞いている人が理解しやすいのか、考えるようにする。</li> <li>・何を言いたいのか、ポイントを最初に説明して、気づいたことだけでなく、その理由などを付け加えて話す。</li> </ul> </li> </ul>   |
| 育鵬社 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪の調べ学習で、学芸員へのインタビューの仕方について紹介している。</li> </ul> </li> <li>● 学芸員など、話を聞きたい人への連絡のしかた。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話、手紙などで事前に連絡を取る。</li> <li>・所属中学校名とともに、歴史の授業の一環としての調査活動であることを伝える。</li> <li>・どのような話を聞きたいのか、テーマを明確にして伝える。</li> </ul> </li> <li>● 調査活動を行う際に便利な道具             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリップボード、ボイスレコーダー、カメラ</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史             <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた内容で歴史新聞をつくって発表し、お互いの新聞について批評しあう活動を紹介している。</li> </ul> </li> <li>● 発表のしかたのコツ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の準備<br/>準備の時間を確保する。</li> <li>・印象的な史料を用意<br/>史料や地図、写真などを用意</li> <li>・プレゼンテーション用のソフトを活用<br/>パソコンを用いて効果的に発表</li> <li>・みんなに聞こえる声で<br/>聞こえる声でゆっくりとポイントを絞って話す。</li> </ul> </li> </ul> |
| 学び舎 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史を調べよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の博物館を調べる学習で、学芸員へのインタビュー活動を紹介している</li> <li>・家族の歴史について曾祖父や祖母にインタビューする活動が紹介されている</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な地域の歴史を調べよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の歴史について、聞きとった内容をグループやクラスで発表する活動が紹介されている。</li> </ul> </li> <li>● 発表する             <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた人物について、グループやクラスで、分かりやすく発表する。</li> <li>・他の人の発表を聞いて、分かったことをメモする。</li> <li>・もっと知りたいことを、発表者に聞く。</li> </ul> </li> </ul>   |

【社会（歴史的分野）】 聴覚障害

|              |   |
|--------------|---|
| <b>観点</b>    | ○ 歴史の重要語句の説明が写真や地図、イラスト等を活用して為されている内容がある                              |
| <b>対象・方法</b> | 中世の日本の「武家政治の成立とユーラシアの交流」及び近世の日本と世界の「世界の動きと統一事業」において、重要語句の説明のための写真等の資料 |

|           | 武家政治の成立とユーラシアの交流  | 世界の動きと統一事業  |
|-----------|---|---|
| <b>東書</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モンゴル軍の騎兵（挿絵 ラッシード・アッディーン集史）モンゴル軍の特徴に関する説明</li> <li>○ 現在のモンゴル高原の様子（写真）</li> <li>○ 中国に進出した遊牧民の像（写真 陝西省考古学研究院）</li> <li>○ モンゴル帝国の拡大（地図）</li> <li>○ チンギス・ハンの即位（挿絵 ラッシード・アッディーン集史）</li> <li>○ 元から西方にもたらされた陶器（写真 トルコ・トプカプ宮殿博物館蔵）元の陶磁器に関する説明</li> <li>○ フビライ・ハン（肖像画 資料元記載なし）フビライ・ハンに関する説明</li> <li>○ マルコ・ポーロが記した日本（史料一部抜粋・要約 東方見聞録）</li> <li>○ 元軍との戦い（挿絵 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 元軍との武器（写真 長崎県松浦市立埋蔵文化センター）</li> <li>○ 復元された防塁（写真 福岡県）</li> <li>○ モンゴルの襲来（地図）</li> <li>○ フビライの国書（部分要約）</li> <li>○ 北条時宗（像写真 神奈川県円覚寺）モンゴルの襲来の説明</li> <li>○ 永仁の徳政令（史料部分要約）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イスタンブールの天文台（写真 資料元記載なし）イスタンブールの説明</li> <li>○ イスラム世界の拡大（地図）</li> <li>○ アヤ・ソフィア大聖堂（写真 トルコ・イスタンブール）大聖堂の説明</li> <li>○ サン・ピエトロ大聖堂（写真 バチカン市国）大聖堂の説明</li> <li>○ イスラム世界で発展した学問や文化（表）数学、科学など分野ごとの発明等</li> <li>○ アズハル・モスク（写真 エジプト）モスクの説明</li> <li>○ イスラム世界のガラス工芸（写真 フランス・シャックマル・アンドレス美術館）</li> <li>○ イスラム世界のコーヒーハウス（絵画）コーヒーを飲む文化の説明</li> <li>○ ムスリム商人の交易路（地図）</li> <li>○ 十字軍の遠征（地図）</li> <li>○ エルサレムの説明</li> </ul> |
| <b>教出</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 13世紀ごろの世界とモンゴル帝国の広がり（地図）</li> <li>○ チンギス＝ハンとフビライ＝ハン（肖像画）「ハン」の意味の説明</li> <li>○ フビライの臣下から通交証を受け取るマルコ＝ポーロ（挿絵 東方見聞録）モンゴル帝国の繁栄、マルコ＝ポーロに関する説明</li> <li>○ ユーラシアの説明</li> <li>○ 元で作られた磁器と木簡（写真 韓国国立中央博物館）元との民間貿易の説明</li> <li>○ フビライの国書（一部要約）</li> <li>○ 元軍と戦う御家人（写真 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 元寇防塁跡（写真）</li> <li>○ 元軍の進路（地図）</li> <li>○ 元軍の武器「てつほう」と武具のかぶと（写真）「てつほう」に関する説明</li> <li>○ 幕府の役人に訴える御家人（写真 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 悪党に関する説明</li> <li>○ 朝廷の対立に関する説明</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中世と三美神・ポッティチェリの「春」（絵画資料元記載なし）</li> <li>○ 羅針盤（写真 資料元記載なし）羅針盤の説明</li> <li>○ 天動説の説明</li> <li>○ 免罪符の説明</li> <li>○ レオナルド＝ダ＝ビンチとミケランジェロの「ダビデ」（絵画 資料元記載なし）</li> <li>○ 宗教改革の宣伝用に印刷された絵（絵画資料元記載なし）活発印刷機の説明</li> <li>○ アヤ・ソフィア大聖堂（写真 資料元記載なし）大聖堂の説明</li> </ul>   |

【社会（歴史的分野）】 聴覚障害

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| <p>帝国</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 軍と戦う武士（挿絵 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 発見された武器（写真 長崎県松浦市教育委員会）</li> <li>○ フビライ（肖像画 台北国立故宫博物院蔵）</li> <li>○ 元からの服属を求める手紙（東大寺尊勝院文書より一部要約）</li> <li>○ マルコ＝ポーロの一行（絵の写真 資料元記載なし）マルコ＝ポーロ，東方見聞録の説明</li> <li>○ モンゴル帝国の領域（地図）</li> <li>○ 永仁の徳政令（一部要約）</li> <li>○ 地域史（権太への元軍襲来）</li> <li>○ 「元寇」の意味説明</li> <li>○ 恩賞を求める御家人の竹崎季長（挿絵 資料元記載なし）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イスラムの国での研究の様子（絵画）イスラムで学問が発展したことの説明</li> <li>○ 羅針盤（写真）羅針盤の説明</li> <li>○ アストロラーベ（写真）天体観測器具の説明</li> <li>○ ミケランジェロ作「最後の審判」（絵画 バチカン市国システィナ礼拝堂蔵）ミケランジェロの説明</li> <li>○ 古代ローマの三美神，中世の三美神，ルネサンスのころの三美神（絵画）絵画の変遷についての説明</li> <li>○ 免罪符を販売する様子（絵画）免罪符の説明</li> <li>○ プロテスタントのルター（肖像画）カトリックとプロテスタントに関する説明</li> </ul>   |
| <p>山川</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文永の役での陸戦（挿絵 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 博多湾岸に残る石塁（写真 福岡県）</li> <li>○ モンゴル帝国とモンゴル襲来関係図（地図）</li> <li>○ 直訴する武士（挿絵 蒙古襲来絵詞）</li> <li>・御恩と奉公の関係の説明</li> <li>○ 弘安の役での海戦（挿絵 蒙古修礼絵詞）</li> <li>○ 悪党（挿絵 融通念仏縁起絵巻）悪党の説明</li> <li>○ 永仁の徳政令（史料一部抜粋・要約 東寺百合文書）</li> <li>○ 神国思想の広まりの説明</li> <li>○ 特性と徳政令の説明</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イスタンブルの街（写真 トルコ）イスタンブルの説明</li> <li>○ サファヴィー朝の絵画（絵 資料元記載なし）</li> <li>○ タージ＝マハル（写真 インド）タージ＝マハルの説明</li> <li>○ 中世ヨーロッパの砂糖売り（写真 資料元記載なし）砂糖に関する説明</li> <li>○ 16世紀のアジア（地図）</li> <li>○ 鄭和像（写真 資料元記載なし）鄭和に関する説明</li> <li>○ 鄭和が永楽帝に献上したキリン（絵 資料元記載なし）</li> <li>○ 科挙，朱子学，中継貿易の説明</li> </ul>  |
| <p>日文</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 13世紀のユーラシア（地図）アジアとヨーロッパの交易等の説明</li> <li>○ 13世紀の日本と世界の動き（年表）</li> <li>○ イスラム教徒の商人の説明</li> <li>○ 文永の役で元軍と戦う肥後の御家人の竹崎季長（挿絵 蒙古襲来絵詞）「てつはう」の説明</li> <li>○ 幕府の役人と話す竹崎季長（挿絵 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 元軍の進路（地図）</li> <li>○ マルコ＝ポーロ（肖像画）</li> <li>○ 今も残る石築地（写真 福岡市）</li> <li>○ フビライ＝ハン（肖像画 資料元記載なし）</li> <li>○ フビライの国書（一部要約・東大寺尊勝院文書）</li> <li>○ ほうびの馬をもらう竹崎季長（写真 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 石築地の前に行く竹崎季長（写真 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 元軍の船に乗りこむ竹崎季長（写真 蒙古襲来絵詞）</li> <li>○ 永仁の徳政令（一部要約 資料元記載なし）</li> <li>○ 元寇の説明</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イスラム教とキリスト教の世界（地図）</li> <li>○ スレイマン＝モスク（写真 トルコ）スレイマン＝モスクの説明</li> <li>○ サン＝ピエトロ大聖堂（写真 バチカン市国）サン＝ピエトロの説明</li> <li>○ イスラム教徒の天文学（絵 資料元記載なし）天文学が発達したことの説明</li> <li>○ 神話の三美神の比較（絵画 資料元記載なし）三美神の変遷の説明</li> <li>○ イスラム教とキリスト教の世界の主な動き（年表）</li> <li>○ 免罪符の販売（風刺画）免罪符の説明</li> <li>○ ルター肖像画（肖像画 資料元記載なし）</li> <li>○ カトリックとプロテスタントの説明</li> <li>○ ヨーロッパ人の新航路の開拓（地図）</li> <li>○ コロンブス，マゼラン，バスコ＝ダ＝ガマ（肖像画）</li> <li>○ ヨーロッパ人の海外進出（年表）</li> <li>○ 銀の採掘に働かされるインディオ（絵画）</li> <li>○ 主な貿易と作物の広がり（地図）つながる世界と生活の変化の説明</li> <li>○ イタリアのトマトソースのパスタ料理（写真）</li> <li>○ 植民地の説明</li> <li>○ コロンブス，オランダの説明</li> </ul> |

|             |   |   |
|-------------|---|---|
| 育<br>鵬<br>社 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 元軍と戦う武士 (挿絵 蒙古襲来絵詞) 元の火薬兵器の説明</li> <li>○ てつはう (写真 松浦市教育委員会)「てつはう」の仕組みの説明</li> <li>○ フビライ=ハン (肖像画 資料元記載なし)</li> <li>○ 北条時宗と伝えられる肖像画 (資料元記載なし)</li> <li>○ モンゴル帝国の領土 (地図)</li> <li>○ 元軍の進路 (地図)</li> <li>○ 現在に残る石塁 (写真 福岡県福岡市)</li> <li>○ 悪党 (絵 聖徳太子絵伝 大阪府 四天王寺蔵) 悪党の説明</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロンブス (肖像画 資料元記載なし) コロンブスの説明</li> <li>○ バスコ=ダ=ガマ (写真 資料元記載なし) バスコ・ダ・ガマの説明</li> <li>○ 16世紀ごろの世界 (地図) 大航海時代の説明</li> <li>○ マゼラン肖像画 (肖像画 資料元記載なし) マゼランの説明</li> <li>○ こしょうの実 (写真 資料元記載なし) こしょうの説明</li> <li>○ ダウ船 (写真)</li> <li>○ ムスリム商人の説明</li> <li>○ コロンブスの西インド諸島到達 (絵 資料元記載なし) 先住民の様子説明</li> <li>○ インカ帝国の遺跡マチュピチュ (写真 資料元記載なし) インカ帝国の説明</li> <li>○ 奴隷船の内部 (絵) 奴隷船の説明</li> <li>○ コロンブスの説明, ポルトガルとスペインの勢力範囲, アステカ王国, 植民地, プロテスタントの説明</li> </ul> |
| 学<br>び<br>舎 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紙幣に印を押すクビライ=カン (挿絵 フランス国立図書館)</li> <li>○ マルコ=ポーロ肖像画 (肖像画 資料元記載なし) 東方見聞録録の説明</li> <li>○ パイザ (写真 国際日本文化センター)</li> <li>○ クビライ=カン (肖像画 中国国家博物館蔵)</li> <li>○ 青花龍文壺 (写真 東京国立博物館蔵)</li> <li>○ マルコらの行程 (地図)</li> <li>○ クビライ=カンの国書 (一部要約 資料元記載なし)</li> <li>○ 韓国新安沖の沈没船の積み荷 (写真 韓国国立博物館蔵) 積み荷の説明</li> <li>○ 朝貢の説明</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「南蛮屏風」にえがかれたポルトガル人 (挿絵 神戸市立博物館)</li> <li>○ コショウの実 (写真) スパイスの説明</li> <li>○ ダウ船 (写真) ダウ船の説明</li> <li>○ ヨーロッパ人の新航路開拓 (地図)</li> <li>○ カトリック教会の中心サン=ピエトロ大聖堂 (写真 バチカン市国)</li> <li>○ ラファエロ「小椅子の聖母」(絵画 パラティナ美術館)</li> <li>○ ルネサンス, ガリレオ=ガリレイの説明</li> </ul>   |



【社会（歴史的分野）】 肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 重要語句の説明が写真やイラストを用いて為されている内容がある   |
| 対象・方法 | 近代日本と世界「欧米諸国における近代社会の成立とアジア諸国の動き」及び近世の日本「世界の動きと統一事業」において、重要語句の説明が写真やイラストを用いて為されている事例 |

|    | 欧米諸国における近代社会の成立とアジア諸国の動き<br>(市民革命・産業革命)   | 世界の動きと統一事業（近世の日本）   |
|----|---|---|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 8世紀初めのイギリス議会（イラスト）</li> <li>② 啓蒙思想（イラスト）※3名</li> <li>③ ボストン茶会事件（イラスト）</li> <li>④ アメリカ独立宣言への署名（イラスト）</li> <li>⑤ アメリカ星条旗など（写真・イラスト）※3点</li> <li>② 造園中のベルサイユ宮殿（イラスト）</li> <li>② ルイ14世（イラスト）</li> <li>③ 革命前と革命が始まったフランス（イラスト）</li> <li>④ サン・キュロット（イラスト）</li> <li>⑤ バスチーユ牢獄の襲撃（イラスト）</li> <li>⑥ ナポレオン・ボナパルト（イラスト）</li> <li>① 鉄道の開通（イラスト）</li> <li>② 蒸気機関で動く機械を使う紡績工場（イラスト）</li> <li>③ ロンドンの埠頭（イラスト）</li> <li>④ 炭鉱で働かされる子どもたち（イラスト）</li> <li>⑤ ロンドンのスラムの様子（イラスト）</li> <li>⑥ ロンドンのテムズ川の風刺画（イラスト）</li> <li>⑦ カール・マルクス（イラスト）</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 長篠の戦い（イラスト）</li> <li>② 織田信長（イラスト）</li> <li>③ 織田信長・豊臣秀吉の全国統一（イラスト）</li> <li>④ 天正大判（写真）</li> <li>⑤ 安土城（写真）</li> <li>⑥ 大阪城（イラスト）</li> <li>⑦ 豊臣秀吉（イラスト）</li> <li>① 検地・検地尺・京ます（イラスト・写真）</li> <li>② 検地帳（写真）</li> <li>③ 薩摩焼の茶碗（写真）</li> <li>④ 文禄・慶長の役（イラスト）</li> <li>⑤ 名古屋城（イラスト）</li> <li>⑥ 亀甲船（写真）</li> <li>① 姫路城（写真）</li> <li>② 唐獅子図屏風（イラスト）</li> <li>③ 千利休（イラスト）</li> <li>④ 妙喜庵待庵（写真）</li> <li>⑤ かぶきおどり（イラスト）</li> <li>⑥ 中国の三弦と琉球の三線、三味線（写真）</li> <li>⑦ ローマ字で書かれた「平家物語」</li> </ul>                  |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① スペインの無敵艦隊とイギリス海（イラスト）</li> <li>② 17世紀のイギリス議会（イラスト）</li> <li>③ エリザベス1世とクロムウェル（イラスト）</li> <li>④ ルイ14世とベルサイユ宮殿（イラスト）</li> <li>⑤ ロック・モンテスキュー・ルソー（イラスト）</li> <li>① ボストン茶会事件（イラスト）</li> <li>② 独立当時のアメリカ合衆国（イラスト）</li> <li>③ ワシントン（イラスト）</li> <li>④ フランス革命前と、革命が目指す社会を描いた風刺画（イラスト）</li> <li>⑤ バスチーユ牢獄の襲撃（イラスト）</li> <li>⑥ ナポレオン（イラスト）</li> <li>① 鉄とガラスで建てられたクリスタルパレスの会場（イラスト）</li> <li>② ロンドンのスラム（イラスト）</li> <li>③ ワットの蒸気機関（イラスト）</li> <li>④ 鉄道の開通（イラスト）</li> <li>⑤ 炭坑で働く子どもたちと繊維工場働く子どもたちの1日（イラスト）</li> <li>⑥ イギリスの繊維工場（イラスト）</li> <li>⑦ マルクス（写真）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 長篠の戦い（イラスト）</li> <li>② 織田信長（イラスト）</li> <li>③ 安土城（写真）</li> <li>④ 天下布武の印、信長・秀吉の日杯の広がり（イラスト）</li> <li>⑤ 大阪城（イラスト）</li> <li>⑥ 豊臣秀吉（イラスト）</li> <li>① 検地、検地に使われた「ものさし」、米を量る「ます」（イラスト・写真）</li> <li>② 検地帳（写真）</li> <li>③ 朝鮮の水軍の亀甲船（写真）</li> <li>④ 日本軍の進路（イラスト）</li> <li>⑤ 有田焼（写真）</li> <li>① 姫路城（写真）</li> <li>② 「唐獅子図屏風」（イラスト）</li> <li>③ 書院造の広間（写真）</li> <li>④ キリシタン版「平家物語」（写真）</li> <li>⑤ かぶき踊り（イラスト）</li> <li>⑥ 千利休（イラスト）</li> <li>⑦ 利休がつくったと伝えられる茶室（写真）</li> <li>⑧ 中国の三弦、琉球の三線、日本の三味線（写真）</li> </ul> |

【社会（歴史的分野）】 肢体不自由・病弱

|            |   |   |
|------------|---|---|
| <p>帝国</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①イギリスの議会（イラスト）</li> <li>②星条旗（イラスト）</li> <li>③アメリカ独立宣言の採択（イラスト）</li> <li>④ワシントン（イラスト）</li> <li>①バスチーユ牢獄の襲撃（イラスト）</li> <li>②フランス革命前と革命後の税の負担を表した風刺画（イラスト）</li> <li>③ベルサイユ宮殿の鏡の間（イラスト）</li> <li>④ルイ 14 世（イラスト）</li> <li>⑤ロック、モンテスキュー、ルソー（イラスト）</li> <li>⑥フランス人権宣言（イラスト）</li> <li>⑦ナポレオン（イラスト）</li> <li>①伝統的な糸つむぎ、紡績機による糸つむぎ（イラスト）</li> <li>②蒸気機関のしくみ（イラスト）</li> <li>③世界初の蒸気機関による鉄道（イラスト）</li> <li>④むちで打たれる児童労働者（イラスト）</li> <li>⑤児童労働者の一日（イラスト）</li> <li>⑥テムズ川の汚濁を描いた風刺画（イラスト）</li> <li>⑦マルクス（写真）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①長篠の戦い（イラスト）</li> <li>②織田信長（イラスト）</li> <li>③安土城（イラスト）</li> <li>④「天下布武」の印章（イラスト）</li> <li>⑤信長とその他の戦国大名の勢力範囲（イラスト）</li> <li>⑥大阪城（イラスト）</li> <li>⑦豊臣秀吉（イラスト）</li> <li>①検地の様子、京枅、検地尺（イラスト・写真）</li> <li>②文禄・慶長の役の進路（イラスト）</li> <li>③秀吉が愛用した扇（写真）</li> <li>④東南アジア貿易の輸入品（写真）</li> <li>①築城の様子（イラスト）</li> <li>②大広間（写真）</li> <li>③茶室（写真）</li> <li>④姫路城（写真）</li> <li>⑤高く積み上げられた石垣、巨大な石が使われた石垣、壁にあいた三角形の穴（写真）</li> <li>⑥千利休のわび茶のために生み出された茶碗（写真）</li> <li>⑦阿国歌舞伎（イラスト）</li> <li>⑧京都の南蛮寺（イラスト）</li> <li>⑨天正遣欧少年使節（イラスト）</li> <li>⑩有田焼の茶碗、朝鮮の陶工による陶磁器の主な産地、朝鮮人陶工の李参平をまつる陶山神社（写真・イラスト）</li> <li>⑪ローマ字で印刷された本（イラスト）</li> <li>⑫活版印刷に使用された活字（写真）</li> <li>⑬三味線を弾く人とすごろくで遊ぶ人々（イラスト）</li> </ul> |
| <p>III</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①イギリスの議会（イラスト）</li> <li>②ロンドンのコーヒーハウス（イラスト）</li> <li>③クロムウェル（イラスト）</li> <li>④星条旗（イラスト）</li> <li>⑤ボストン茶会事件（イラスト）</li> <li>⑥「民衆を導く自由の女神」、フランス共和国の公式マーク（イラスト）</li> <li>⑦ルイ 14 世（イラスト）</li> <li>⑧ナポレオン全盛時代のヨーロッパ（イラスト）</li> <li>⑨バスティーユ襲撃（イラスト）</li> <li>⑩ナポレオン（イラスト）</li> <li>①インド産の綿織物（写真）</li> <li>②ワットの蒸気機関（イラスト）</li> <li>③紡績工場働く子どもと女性（イラスト）</li> <li>④蒸気機関車（イラスト）</li> <li>⑤ロンドン・テムズ川の汚染（イラスト）</li> <li>⑥マルクス（イラスト）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①長篠の戦い（イラスト）</li> <li>②安土城（写真）</li> <li>③織田信長（イラスト）</li> <li>④信長・秀吉の統一事業（イラスト）</li> <li>⑤豊臣秀吉（イラスト）</li> <li>⑥大阪城（イラスト）</li> <li>①検地の様子、京枅、検地尺（イラスト・写真）</li> <li>②検地帳（写真）</li> <li>③近世の支配の仕組み（イラスト）</li> <li>④「東來府殉節図」（イラスト）</li> <li>⑤日本軍の進路（イラスト）</li> <li>⑥朝鮮水軍の亀甲船（写真）</li> <li>⑦有田焼（写真）</li> <li>①姫路城（写真）</li> <li>②「唐獅子図屏風」（イラスト）</li> <li>③「松林図屏風」（イラスト）</li> <li>④黒楽茶碗（写真）</li> <li>⑤千利休（イラスト）</li> <li>⑥妙喜庵待庵（写真）</li> <li>⑦かぶき踊り（イラスト）</li> <li>⑧三味線の基となった沖縄の蛇皮線（写真）</li> <li>⑨天草版「平家物語」（写真）</li> <li>⑩現在に残るポルトガル語系の外来語（写真）</li> </ul>   |

【社会（歴史的分野）】 肢体不自由・病弱

|                      |   |  |
|----------------------|---|--|
| <p>日<br/>文</p>       | <p>①砂糖ブランデーのさとうきびの刈り入れ（イラスト）<br/>②イギリスのコーヒーハウス（イラスト）<br/>③奴隷船の内部（イラスト）<br/>④発展するイギリスの都市（イラスト）<br/>⑤イギリスの紡績工場の様子（イラスト）<br/>①ベルサイユ宮殿（イラスト）<br/>②ルイ 14 世（イラスト）<br/>③18 世紀末のイギリス議会（イラスト）<br/>④ロック・ルソー（イラスト）<br/>①アメリカの独立を進めた人々、ワシントン（イラスト）<br/>②独立後に制定されたアメリカの国（イラスト）<br/>③フランスの三つの身分と税の負担に関する風刺画（イラスト）<br/>④バスチーユ牢獄の襲撃（イラスト）<br/>⑤ナポレオン（イラスト）</p>  | <p>①長篠の戦い（イラスト）<br/>②フランシスコ＝ザビエル（イラスト）<br/>③天正遣欧使節（イラスト）<br/>④織田信長（イラスト）<br/>⑤「天下布武」の印（写真）<br/>⑥銅銭をえがいた信長の旗（写真）<br/>⑦安土城（写真）<br/>⑧堺の鉄砲鍛冶（イラスト）<br/>①豊臣秀吉（イラスト）<br/>②織田信長・豊臣秀吉の勢力の広がり（イラスト）<br/>③大阪城（写真）<br/>④検地で使われたものさし、1589 年の検地帳、検地の様子（写真・イラスト）<br/>①南蛮貿易のようす（イラスト）<br/>②安土桃山時代の服装（イラスト）<br/>③本木昌造の金属活字（写真）<br/>④1560 年石見で生産された銀、石見銀山の坑道のようす（写真）<br/>⑤日本軍の主な進路（イラスト）<br/>⑥亀甲船（写真）<br/>①唐獅子図屏風（イラスト）<br/>②千利休（イラスト）<br/>③桃山文化の関係地（イラスト）<br/>④三味線をひく人々、阿国歌舞伎（イラスト）<br/>⑤姫路城、西本願寺書院、妙喜庵待庵（写真）<br/>⑥有田焼、薩摩焼（写真）</p> |
| <p>育<br/>鵬<br/>社</p> | <p>①イギリスの議会（イラスト）<br/>②フランス革命前と後の税負担に関する風刺画（イラスト）<br/>③バスチーユ牢獄に攻め寄るパリ市民（イラスト）<br/>④ロック、モンテスキュー、ルソー（イラスト）<br/>①鉄道の開通（イラスト）<br/>②イギリスの鉄道網（イラスト）<br/>③ワットの蒸気機関（イラスト）<br/>④イギリスの輸出品の変化（イラスト）<br/>⑤イギリスの炭鉱ではたらかされる子どもたち（イラスト）<br/>⑥ロンドンのスラム街（イラスト）<br/>⑦イギリスの人口の推移（グラフ）<br/>⑧マルクス（写真）</p>  | <p>①長篠の戦い（イラスト）<br/>②織田信長（イラスト）<br/>③豊臣秀吉（イラスト）<br/>④豊臣秀吉の全国統一地図（イラスト）<br/>⑤安土城（写真）<br/>⑥天正大判（写真）<br/>⑦大阪城（イラスト）<br/>①検地のようす、検地帳、検地尺（イラスト・写真）<br/>②京ます（写真）<br/>③朝鮮出兵の地図（イラスト）<br/>④有田焼（写真）<br/>①姫路城（写真）<br/>②唐獅子図屏風（イラスト）<br/>③西本願寺唐門（写真）<br/>④洛中洛外図屏風（イラスト）<br/>⑤彦根屏風（イラスト）<br/>⑥世界図屏風（イラスト）<br/>⑦かぶき踊り（イラスト）</p>   |
| <p>学<br/>び<br/>舎</p> | <p>①ヨーロッパ人が描いた北アメリカ先住民の生活、16 世紀にヨーロッパで出版された版画（イラスト）<br/>②ボストン港でのイギリスへの抗議行動（イラスト）<br/>③「涙の旅路」（イラスト）<br/>④北アメリカの先住民（イラスト）<br/>⑤アメリカ合衆国の奴隷人口の変化（グラフ）<br/>⑥南部の黒人奴隷（写真）<br/>①バスチーユ監獄攻撃を描いた絵（イラスト）<br/>②革命前の 3 つの身分（イラスト）<br/>③オランブ＝ド＝グージュ（イラスト）<br/>④ベルサイユ宮殿に向かう民衆（イラスト）<br/>⑤ナポレオンのヨーロッパ支配（イラスト）<br/>⑥ナポレオン＝ボナパルト（イラスト）<br/>⑦トゥサン＝ルベルチュール（イラスト）<br/>①糸車で羊毛から糸を紡ぐ、ミュール紡績機（イラスト）<br/>②世界で最初に営業した鉄道（イラスト）<br/>③産業革命のころのイギリスの主な都市（イラスト）<br/>④ロンドンで開かれた第 1 回万国博覧会の水晶宮（イラスト）<br/>⑤炭鉱で働く子どもたち（イラスト）<br/>⑥ムチで追い立てられる子ども（イラスト）</p> | <p>①鉄砲を使った戦い（イラスト）<br/>②火縄銃をもつ鉄砲衆（イラスト）<br/>③火縄銃のしくみ（イラスト）<br/>④南蛮屏風にえがかれた港町（イラスト）<br/>⑤ザビエル（イラスト）<br/>①祇園祭の山鉾ひき（イラスト）<br/>②織田信長（イラスト）<br/>③安土城（イラスト）<br/>④戦国大名と織田信長・豊臣秀吉の全国統一へのあゆみ（イラスト）<br/>⑤富田林の現在の町並み（写真）<br/>①検地帳（イラスト）<br/>②検地（イラスト）<br/>③狩野永徳「唐獅子図屏風」（イラスト）<br/>④腰刀を差す百姓（イラスト）</p>  |

【社会（歴史的分野）】 肢体不自由・病弱

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 観点    | ● 上肢や下肢等の複雑な動きを必要とする内容がある |
| 対象・方法 | 上肢や下肢等の複雑な動きを必要とする活動      |

|     | 上肢や下肢等の複雑な動きを必要とする事例   |
|-----|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①くらげチャートを作成する。</li> <li>②Xチャートを作成する。</li> <li>③ピラミッドストラクチャーを作成する。</li> <li>④ウェビングマップを作成する。</li> <li>⑤ステップチャートを作成する。</li> <li>⑥ランキングを作成する。</li> </ul>  |
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①歴史すごろくをする。</li> <li>②歴史新聞にまとめる。</li> <li>③中世の特色について表にまとめる。</li> <li>④近代の時代の特色をカードに書きだしたり，線をつないだり，グループ分けしたりする。</li> </ul>   |
| 帝国  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①古代に国が成立するための共通点や必要なことを挙げてノートに書く。</li> <li>②古代の社会の関係図をタテの関係（支配）とヨコの関係（対等）に分ける。</li> <li>③全国を統一するために行った政策で共通する点に着目して，安定した政権が成立するために必要なことを三つ考え，カードに書く。</li> <li>④日本の「近代化」を説明するうえで重視する観点を選び理由を記入する。それを踏まえて，総合判定を記入する。</li> <li>⑤現代の日本社会を形づくる画期となったと考える出来事を9個取り上げてカードに書く。</li> </ul>  |
| 山川  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①世界地図に，コロンブスなどが航海した航路を記入する。</li> <li>②イギリスやオランダなどの植民地となった地域を色分けして塗る。</li> </ul>   |
| 日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①「古代までの日本と世界」の特色をまとめる。</li> <li>②歴史新聞づくりを行う。</li> <li>③「中世の日本と世界」の特色をまとめる。</li> <li>④「近世の日本と世界」の特色をまとめる。</li> <li>⑤「日本の近代化」の特色をまとめる。</li> <li>⑥「二度の世界大戦と日本」の特色をまとめる。</li> <li>⑦「現代の日本と世界」の特色をまとめる。</li> </ul>   |
| 育鵬社 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①歴史人物Q&amp;Aカードを模造紙にはる。</li> <li>②原始と古代の日本の学習をもとに，歴史博物館の学芸員になったつもりで展示室をデザインする。</li> <li>③中世の日本の学習をもとに，歴史博物館の学芸員になったつもりで，展示室をデザインする。</li> <li>④近世の日本の学習をもとに，歴史博物館の学芸員になったつもりで，展示室をデザインする。</li> <li>⑤近代の日本と世界の学習をもとに，歴史博物館の学芸員になったつもりで，展示室をデザインする。</li> <li>⑥二度の世界大戦と日本の学習をもとに，歴史博物館の学芸員になったつもりで，展示室をデザインする。</li> <li>⑦現代の日本と世界の学習をもとに，歴史博物館の学芸員になったつもりで，展示室をデザインする。</li> </ul> |
| 学び舎 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①火おこしに挑戦する。</li> <li>②豊臣秀吉などにインタビューをして，記事を書く。</li> <li>③綿から糸を紡ぐ。</li> <li>④山本宣治の人物調べをして，年表やポスターにまとめる。</li> <li>⑤印象に残ったことを4コマ漫画で表現する。</li> <li>⑥時代の変化を絵に表す。</li> </ul>   |

## 社会（公民的分野）

### 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称   | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|------------|--|-----------------|--------------|
| 2<br>東書    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、従来掲載していたキャラクターを本文ページからなくすことで、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。</li> <li>・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させました。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用することで、文字の視認性を向上させました。</li> <li>・振り仮名には読み取りやすいゴシック体を採用し、視認性をしっかりと確保した上で、黒色を抑えることで、振り仮名が多い文章での雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させました。</li> <li>・グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、グラフでは読み取りづらい破線や点線を減らしたりしました。</li> </ul> | A B<br>・<br>262 | 361          |
| 17<br>教出   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>   | A B<br>・<br>272 | 321          |
| 46<br>帝国   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の専門家からの助言を参考に、すべての生徒が読み取りやすい表現となるよう配慮しています。</li> <li>・文字は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用しました。</li> <li>・見開きにおけるデザインや、グラフ・地図といった資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮しました。また、折れ線グラフなどは、線種を変えたりするなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取れるよう工夫しました。</li> <li>・学習者用デジタル教科書を発行し、特別支援教育に活用できる機能を付加します。</li> </ul>   | A B<br>・<br>246 | 377          |
| 116<br>日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字はユニバーサルデザインに配慮したフォント、ふりがなも判読しやすいゴシック体を使用しました。グラフ・地図等の図版は、CUDに配慮した配色や処理を施しています。</li> </ul>  | A B<br>・<br>264 | 366          |
| 225<br>自由社 | （記載なし）   | A B<br>・<br>256 | 194          |
| 227<br>育鵬社 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫により、生徒が見やすいように配慮しました。</li> <li>・ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。</li> </ul>   | A B<br>・<br>256 | 301          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書(100 ページ分)から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【社会（公民的分野）】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 重要語句の説明が、写真やイラスト、図表を用いて為されている内容がある。                                  |
| 対象・方法 | 学習指導要領 私たちの政治「自由権」及び私たちと経済「市場経済と価格」において、重要語句の説明が写真やイラスト、図表を用いて為されている事例 |

|    | 自由権  | 市場経済と価格  |
|----|--|--|
| 東書 | 自由権 自由に生きる権利 (p. 54, 55)<br>【表① 写真③】<br>○ 自由権<br>・表「日本国憲法に定められた自由権」<br>○ 精神の自由<br>・写真「劉曉波さんが欠席のまま行われたノーベル賞の授賞式 (2010年)」<br>・写真「検閲を受けた本 (小林多喜二の作品)」<br>○ 経済活動の自由<br>・写真「となり合う薬局 (2015年)」  | 市場経済と価格の決まり方 (p. 150, 151)<br>【写真① イラスト③】<br>○ 価格<br>・イラスト「ケーキの価格の決まり方」<br>・イラスト「価格に関する疑問」<br>・イラスト「インターネットオークション」<br>○ 市場<br>・写真「企業の説明会」  |
| 教出 | 自由ってなんだろう (p. 54, 55)<br>自由な社会のために (p. 56, 57)<br>【表① 写真⑦ イラスト② グラフ③】<br>○ 自由権<br>・表「自由権の種類」<br>○ 精神活動の自由<br>・写真「迫害されたユダヤ人」(1933年ドイツ)<br>・写真「かつての検閲によって字が×印で消された本」<br>・イラスト「会話が盗聴される危険 (イメージ)」<br>・写真「国会前で行われたデモに集まる大勢の人々 (2015年)」<br>・写真「世界遺産の『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』(長崎県長崎市)」<br>○ ヘイトスピーチ<br>・写真「ヘイトスピーチに反対する人たち (2016年)」<br>○ 身体の自由<br>・写真「可視化される取り調べ (模擬取調室)」<br>・グラフ「取り調べの可視化件数の推移 (2018年警察庁)」<br>・写真「免田栄さんの無罪を伝える新聞 (1983年)」<br>○ 死刑制度について<br>・グラフ「死刑制度に賛成・反対」<br>・グラフ「死刑制度を廃止した国の数の推移」<br>○ GPS<br>・イラスト「GPSのしくみ (イメージ)」 | ものの価格の決まり方 (p. 148, 149)<br>【写真② イラスト① グラフ③】<br>○ 価格<br>・イラスト「洋服の価格の内訳」<br>○ 市場<br>・写真「廃棄処分されるキャベツ」<br>・グラフ「キャベツの月別の入荷量と平均価格」<br>・写真「魚市場のせり (2018年東京都江東区)」<br>○ 需要, 供給<br>・グラフ「需要と供給と価格の関係」<br>○ 物価<br>・グラフ「物価指数の推移」 |

|            |  |  |
|------------|--|--|
| <p>帝国</p>  | <p>自由権 (p. 43, 44)<br/> <b>【表① 写真③ イラスト①】</b><br/> ○ 精神活動の自由<br/> ・写真「デモ活動 (2018年)」<br/> ・表「精神活動の自由に関する憲法規定」<br/> ・写真「言論弾圧の風刺画 (1888年ビゴー筆)」<br/> ○ 経済活動の自由<br/> ・イラスト「知的財産権の例」<br/> ・写真「税関で押収されたコピー商品 (2016年)」</p>   | <p>価格の働きと経済 (p. 115, 116)<br/> <b>【表① 写真① イラスト① グラフ④】</b><br/> ○ 価格<br/> ・イラスト「価格の変化」<br/> ・グラフ「みかんの入荷量と価格 (東京中央卸売市場年報 平成29年)」<br/> ・グラフ「さまざまな価格の変化 (小売価格物価統計調査, ほか)」<br/> ○ 市場<br/> ・写真「まぐろの競りの様子 (東京都江東区, 2019年)」<br/> ○ 需要, 供給<br/> ・グラフ「需要曲線」(グラフ「供給曲線」)<br/> ・グラフ「需要曲線と供給曲線」<br/> ○ 公共料金<br/> ・表「公共料金の決まり方」</p> |
| <p>日文</p>  | <p>自由に生きる権利 (p. 46, 47)<br/> <b>【表① 写真② イラスト③】</b><br/> ○ 自由権<br/> ・イラスト「生活の中から自由を見つけよう」<br/> ・表「日本国憲法の自由権」<br/> ○ 精神の自由<br/> ・写真「検閲を受けた小説」<br/> ・写真(肖像画)「ボルテール (1694~1778)」<br/> ・イラスト「インターネットの接続遮断」<br/> ・イラスト「スマートフォンにかかわる知的財産権」</p>  | <p>市場のしくみと価格の決まり方 (p. 134, 135)<br/> <b>【表① 写真① イラスト② グラフ④】</b><br/> ○ 価格<br/> ・イラスト「海外旅行のポスター」<br/> ・イラスト「海外旅行の料金表」<br/> ・グラフ「トマトの入荷量と平均価格 (市場統計情報, 2017年)」<br/> ○ 需要, 供給 (グラフ「需要曲線」)<br/> ・グラフ「供給曲線」<br/> ・グラフ「需要供給曲線」<br/> ・表「トマトの価格ごとの需要量と供給量」<br/> ・写真「野菜の価格の上昇を伝える新聞記事 (2018年7月26日日本経済新聞)」</p>                 |
| <p>自由社</p> | <p>身体の自由と精神の自由 (p. 72, 73)<br/> 経済活動の自由 (p. 74, 75)<br/> <b>【写真③】</b><br/> ○ 自由権<br/> ・写真(絵)「パトリック・ヘンリー (1736~1799)」<br/> ・写真「板垣退助 (1837~1919)」<br/> ○ 経済活動の自由<br/> ・写真「強制労働収容所 (上:中国 下:北朝鮮)」</p>  | <p>生産と消費の調整 (p. 126, 127)<br/> <b>【写真② イラスト② グラフ③】</b><br/> ○ 価値<br/> ・イラスト「交換不成立」<br/> ・イラスト「交換成立」<br/> ○ 貨幣<br/> ・写真「タカラガイ」<br/> ○ 需要, 供給<br/> ・グラフ「需要曲線」<br/> ・グラフ「供給曲線」<br/> ・グラフ「均衡価格の決定」<br/> ○ 市場<br/> ・写真「魚を競りにかけている風景」</p>  |
| <p>育鵬社</p> | <p>自由権 (p. 54, 55)<br/> <b>【表① 写真④ イラスト③】</b><br/> ○ 自由権<br/> ・表「自由権」<br/> ○ 精神の自由<br/> ・イラスト「フランスの思想家ヴォルテールが言ったとされる言葉」<br/> ・写真「中国の作家の劉曉波 (1955~2017)」<br/> ○ 経済活動の自由<br/> ・写真「音楽や映像の著作権保護についてのパンフレット」<br/> ・イラスト「自分のなりたい仕事を選ぶ」<br/> ・イラスト「自分の住みたい場所を選ぶ」<br/> ○ 身体の自由<br/> ・写真「取り調べの全面可視化に関する新聞記事 (2017年5月25日日本経済新聞)」<br/> ○ 公共の福祉<br/> ・写真「京都の街中にあるコンビニエンスストア (京都市)」</p> | <p>市場経済と価格 (p. 142, 143)<br/> <b>【写真① イラスト① グラフ④】</b><br/> ○ 価格<br/> ・写真「缶コーヒーの価格のちがいの例」<br/> ○ 需要, 供給<br/> ・イラスト「需要量・供給量と価格の関係」<br/> ・グラフ「生産者の立場 (供給曲線)」<br/> ・グラフ「消費者の立場 (需要曲線)」<br/> ・グラフ「需要と供給による価格の決まり方」<br/> ・グラフ「みかんの月別入荷量と月別平均価格 (東京都中央卸売市場統計情報)」</p>  |

【社会（公民的分野）】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● 学習のめあて（学習課題）が長文で示された内容がある。                                       |
| 対象・方法 | 学習指導要領 D 私たちと国際社会の諸課題（1）世界平和と人類の福祉の増大において、めあて（学習課題）が10文節以上となっている事例 |

| 世界平和と人類の福祉の増大 |   |
|---------------|---|
| 東書            | <p>第5章 地域社会と私たち (p. 179～p. 212)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一文が10文節以上の文 (12文中4文)</li> <li>・「日本は 固有の 領土を めぐって どのような 問題を かかえ、 どのような 解決への 取り組みを 行っているのでしょうか。」(11文節)</li> <li>・「地球には どのような 環境問題があり、 その 解決に 向けて どのような 取り組みが なされて いるのでしょうか。」(11文節)</li> <li>・「世界の エネルギーには どのような 課題が あり、 その 解決に 向けて どのような 取り組みが なされているのでしょうか。」(11文節)</li> <li>・「持続可能な 社会を 創り、 地球上の 全ての 人が より 良い 生活を 送るために 必要な ことは 何でしょうか。」(13文節)</li> </ul> |
| 教出            | <p>第6章 国際社会に生きる私たち (p. 191～p. 226)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一文が10文節以上の文 (13文中0文)</li> <li>・該当なし</li> </ul>  |
| 帝国            | <p>第4部 国際 第1章 国際社会 (p. 171～p. 202)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一文が10文節以上の文 (11文中0文)</li> <li>・該当なし</li> </ul>  |
| 日文            | <p>第4編 私たちと国際社会 (p. 178～p. 209)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一文が10文節以上の文 (13文中1文)</li> <li>・「資源や エネルギーには 限りが ありますが、 これからも 社会や 経済を 持続させるには、 どのような 取り組みが 必要でしょうか。」(11文節)</li> </ul>   |
| 自由社           | <p>第4章 国民生活と経済 (p. 156～p. 157, p. 158～p. 159)<br/>第5章 国際社会に生きる日本 (p. 166～p. 167, p. 182～p. 183)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一文が10文節以上の文 (4文中2文)</li> <li>・「環境保全は 私たちの ためにだけでなく 次の 世代に 生きる 人たちの ために いかん 大切かを 考えてみよう。」(11文節)</li> <li>・「冷戦終結後に 多発した 地域紛争や テロに 対処する ために、 国連は どういう 活動を しているだろうか。」(10文節)</li> </ul>   |
| 育鵬社           | <p>第5章 私たちと国際社会の課題 第1節, 第2節 (p. 170～p. 199)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一文が10文節以上の文 (12文中1文)</li> <li>・「世界が 抱える さまざまな 問題の 解決に 向けて 国際社会が 取り組む SDGs とは どのような ものでしょうか。」(11文節)</li> </ul>  |



【社会（公民的分野）】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 情報機器の活用に関わる内容がある。                           |
| 対象・方法 | ○ 障害による学習上の困難さを軽減するような情報機器の活用例又は記載事項を拾い、掲載する。 |

|    |      | 具体例  |
|----|------|--|
| 東書 | P14  | タブレット型端末の活用例（教育，店舗，スポーツ，医療） 写真   |
|    | P16  | 上部に地理や歴史の関連ページの2次元バーコード<br>情報技術によって可能になる実用化された機器の活用例 写真3点<br>(AIスピーカー，自動収穫，地図情報)   |
|    | P36  | 上部に地理や歴史の関連ページの2次元バーコード  |
|    | P72  | 上部に地理や歴史の関連ページの2次元バーコード  |
|    | P118 | インターネットでの調査の様子 写真  |
|    | P132 | 電子マネーの使用 イラスト  |
|    | P137 | 契約時のさまざまな支払方法として<br>1 電子マネーの利用 3 スマートフォンを利用した支払いの例 写真  |
|    | P157 | 世界で進むキャッシュレス化 写真   |
| 教出 | P 9  | タブレット端末に表示された新聞 写真   |
|    | P11  | まなびリンク 2次元バーコード  |
|    | P16  | 急速に進展する情報社会 写真6点<br>1 「AI 店員」が商品を提案する生花店 2 公開された自動運転の商用車<br>4 おさい銭の電子決済ができる QR コード<br>5 インターネットを使ったタクシー配車サービス 6 ドローンによる宅配の実験<br>7 最新の災害情報が届けられ，表示されたスマートフォン<br>8 災害情報が表示された「防災情報共有システム」の画面 |
|    | P20  | 開発された介護支援ロボット 写真   |
|    | P37  | まなびリンク 2次元バーコード  |
|    | P47  | 人工知能(AI)の発達 写真2点   |
|    | P59  | ロボットスーツを着て行う介護 写真  |
|    | P81  | まなびリンク 2次元バーコード  |
|    | P86  | インターネット選挙 写真   |
|    | P127 | まなびリンク 2次元バーコード  |
|    | P131 | 電子マネーによる支払い 写真   |
|    | P132 | 暮らしの中のさまざまな「契約」の場面 インターネットで注文 写真   |
|    | P134 | インターネットによる商品の注文 写真   |
|    | P139 | 日本の企業が開発した世界初の医療機器 写真  |
|    | P152 | インターネットバンキングの利用 写真   |
|    | P167 | まなびリンク 2次元バーコード  |
|    | P184 | 公開された自動運転で走るバス 写真  |
|    | P191 | まなびリンク 2次元バーコード  |
|    | P194 | 顔認証システム 写真   |
|    | P227 | まなびリンク 2次元バーコード  |

【社会（公民的分野）】 肢体不自由・病弱

|      |                            |  |
|------|----------------------------|--|
| 帝国   | P1                         | ページが表示されるデータとリンクした2次元バーコード   |
|      | P3                         | スマートフォンや携帯電話の充電で混雑する市役所 写真<br>関連単元にリンクされた2次元バーコード  |
|      | P13                        | 教科書会社のサイトにリンクされた2次元バーコード   |
|      | P15                        | 問題の解答を見ることができる2次元バーコード   |
|      | P17                        | ページが表示されるデータとリンクした2次元バーコード   |
|      | P25                        | 問題の解答を見ることができる2次元バーコード   |
|      | P29                        | 関連単元にリンクされた2次元バーコード  |
|      | P63                        | 問題の解答を見ることができる2次元バーコード   |
|      | P65                        | ページが表示されるデータとリンクした2次元バーコード   |
|      | P67                        | 関連単元にリンクされた2次元バーコード  |
|      | P102                       | 教科書会社のサイトにリンクされた2次元バーコード   |
|      | P103                       | 教科書会社のサイトにリンクされた2次元バーコード   |
|      | P104                       | 教科書会社のサイトにリンクされた2次元バーコード   |
|      | P105                       | 問題の解答を見ることができる2次元バーコード   |
|      | P107                       | ページが表示されるデータとリンクした2次元バーコード   |
|      | P109                       | 関連単元にリンクされた2次元バーコード  |
|      | P118                       | 電子マネーに対応した「賽銭箱」 写真   |
|      | P127                       | 普及が進む電気自動車 写真  |
|      | P129                       | 家計簿アプリでお金を「見える化」 写真  |
|      | P132                       | リモートワーク 写真   |
|      | P151                       | 住宅街を飛ぶドローンによる宅配サービスの実験 写真  |
| P152 | AIを活用した無人のコンビニエンスストア 写真    |  |
| P155 | 問題の解答を見ることができる2次元バーコード     |  |
| P157 | 関連単元にリンクされた2次元バーコード        |  |
| P169 | 問題の解答を見ることができる2次元バーコード     |  |
| P171 | ページが表示されるデータとリンクした2次元バーコード |  |
| P173 | 関連単元にリンクされた2次元バーコード        |  |
| P181 | 軍用飛行機を離れた場所から操作するパイロット 写真  |  |
| P201 | 問題の解答を見ることができる2次元バーコード     |  |
| 日文   | P10                        | 情報化で変わる社会と私たち 写真5点 イラスト2点<br>1 小学校の授業 2 スポーツへのタブレット活用 3 インターネットのしくみ<br>4 AIを活用した無人店舗 6 AIによるビックデータの活用<br>7 一人ぐらしの高齢者を見守る 8 アプリを使った避難訓練 |
|      | P129                       | 電子マネーによる支払い 写真   |
|      | P137                       | 人工知能による自動車の運転補助 写真   |
|      | P153                       | ゲームクリエイター（職業の例） 写真   |
| 自由社  | iii                        | ロボットスーツ 写真   |
|      | P4                         | 総合災害情報システム イラスト AIロボットによる手術補助写真  |
|      | P5                         | クラウドの仕組み イラスト  |
|      | P109                       | 法テラスコールセンター 写真   |
| P216 | コンピュータ 写真                  |  |
| 育鵬社  | P12                        | 情報から知る現代と未来 3点写真<br>1 AI搭載の電動車いすに試乗する久留米市長<br>2 スマートスピーカーを使った市役所の施設案内 3 体操の採点支援システム  |
|      | P14                        | 平成28年の熊本地震発生時に収集した情報に役立った手段 表  |
|      | P42                        | 成年被後見人の投票をサポートするために期日前投票所にある「コミュニケーションボード」 写真  |
|      | P118                       | 電子マネー 写真   |
|      | P127                       | フリマアプリのしくみ イラスト  |
|      | P132                       | 技術革新の例 写真  |
|      | P145                       | フィンテックの例 イラスト  |

【社会（公民的分野）】 肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● 上肢の複雑な動きを必要とする内容がある。                       |
| 対象・方法 | 経済に関する内容を取り扱った章または編において、教科書の表や（ ）に記入する活動の具体例 |

|     | 具体例   |
|-----|---|
| 東書  | 第4章 私たちの暮らしと経済<br>P128 マトリクスに○×△にいずれか記入<br>P131 表中に金額を記入<br>P151 表中の数字をグラフに記入<br>P161 表中に数字を記入<br>P174 フローチャート及び表中に適語記入<br>P175 選択肢から適語を選び、表中に記入<br>P176 表中内（罫線あり）「私たちは、～ べきである。」の中に文を記入      |
| 教出  | 第4章 私たちの暮らしと経済<br>P164 学習のまとめと表現<br>step1（ ）内に適語を記入 選択肢から空欄を埋める問題<br>step2 マトリクスを使って考察する問題 穴埋め問題  |
| 帝国  | 第3部 経済<br>P107（ ）に記号を記入<br>P117 表に記号を記入<br>P126 文中の計算式に数字を記入<br>P133 表に適語記入<br>P134 表に金額記入<br>P143 表内の（ ）に適語記入<br>P155 表に適語記入， 選択肢から選ぶ<br>P156 表内の（ ）に適語記入<br>P169 表内の（ ）に適語記入<br>P170 表に適語記入 |
| 日文  | 第3編 私たちの生活と経済<br>P144 表に↓↑記入<br>P146 表に○×記入<br>P158 枠に金額記入<br>P159 枠に適語記入<br>P173 表に適語及び文章記入  |
| 自由社 | 第4章 国民生活と経済<br>P129 表に適語記入<br>P137 表に適語記入<br>P143 マトリクス表中に適語記入<br>P160 表に適語記入<br>P161 表に話し合いの結果と意見等記入<br>P162 枠に文章記入<br>P163 表の【企画書】に適語記入   |
| 育鵬社 | 第4章 私たちの生活と経済<br>P143 折れ線グラフ作成<br>P154 表に↓↑記入<br>P162 表内の（ ）に金額などの数字記入<br>表になっている人生モノサシ（ライフプラン） 記入作成<br>P165（ ）に適語記入<br>P166 語句の前にある☑欄に記入 問題文中の（ ）内に適語記入                                      |

# 地図

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称 | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|----------|---|-----------------|--------------|
| 2<br>東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に配慮し、ユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用することで、文字の視認性を向上させました。振り仮名には読み取りやすいゴシック体を採用することで、読み取りやすさを向上させました。</li> <li>・グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、グラフでは線種で見分けがつくようにしたりすることで、情報を読み取りやすくしました。</li> </ul> | A B<br>・<br>192 | 258          |
| 46<br>帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚に特性のある生徒でも色を識別して地図が読めるように、カラーバリエーションに配慮し、色彩表現への工夫がなされている。</li> <li>・赤文字で記された都道府県名・国名については、読みやすいよう白色で縁取りされている。</li> <li>・土地利用表現の色の下に模様（地紋）が入っており、色の違いを識別しやすくしている。また、陸高の違いを読み取りやすいように、うす緑色で等高線が加えられている。</li> </ul>      | A 4<br>・<br>188 | 455          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書(日本に関わる内容)から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【地図】 視覚障害

|              |   |
|--------------|---|
| <b>観点</b>    | ● 文字の色やコントラスト等により、視覚障害への配慮を要する内容がある。          |
| <b>対象・方法</b> | 地図「中国地方」「ヨーロッパ」における高低差の色分け、県・国境等の表示、文字の大きさ、色等 |

|           | 中国地方  | ヨーロッパ大陸  |
|-----------|---|--|
| <b>東書</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高低差 6色</li> <li>● 県境 赤の点線 太さ 1mm</li> <li>● 都道府県 赤字 1文字の大きさ 4mm</li> <li>● 県庁所在地 黒字 1文字の大きさ 3mm</li> <li>● 市町村 黒字 1文字の大きさ 2mm～1.5mm</li> <li>● 地図記号（史跡、名所）黒 1mm</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高低差 5色</li> <li>● 国境 赤の点線 太さ 0.5mm</li> <li>● 国名 赤字 1文字の大きさ 2.5mm</li> <li>● 首都名 黒字 1文字の大きさ 1mm</li> <li>● 主な都市名 黒字 1文字の大きさ 1mm</li> <li>● 主な河川等名 青字 1文字の大きさ 1mm～2mm</li> </ul> |
| <b>帝国</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高低差 6色</li> <li>● 県境 赤の点線 太さ 1mm</li> <li>● 都道府県 赤字 1文字の大きさ 5mm</li> <li>● 県庁所在地 黒字 1文字の大きさ 3mm</li> <li>● 市町村 黒字 1文字の大きさ 2mm～1.5mm</li> <li>● 地図記号（史跡、名勝）黒 1mm</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高低差 6色</li> <li>● 国境 赤の点線 太さ 0.5mm</li> <li>● 国名 赤字 1文字の大きさ 4mm</li> <li>● 首都名 黒字 1文字の大きさ 2mm</li> <li>● 主な都市名 黒字 1文字の大きさ 1mm</li> <li>● 主な河川等名 青字 1文字の大きさ 1.5mm～2mm</li> </ul> |

|              |                      |
|--------------|----------------------|
| <b>観点</b>    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。 |
| <b>対象・方法</b> | 情報機器の活用等に関わる内容の具体例   |

| 具体例        |  |
|------------|--|
| <b>東書</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT（情報通信技術）を活用した学習ができるページとして、Dマークを付したページが21ページある。＜下表参照＞</li> <li>○ QRコードを読み取ることで、上記の情報を読み取ることができる。</li> <li>○ 世界各国、日本各地方の白地図や「地理院地図」へのリンクとなっている。</li> </ul> |
| <b>ページ</b> | <b>リンク先の情報</b>   |
| 7          | 持続可能な開発目標（SDGs）  |
| 34         | 東アジアの白地図   |
| 41         | 東南アジア・南アジアの白地図   |
| 45         | 西アジア・環地中海の白地図  |
| 51         | ヨーロッパの白地図  |
| 59         | ロシア連邦の白地図  |
| 62         | ヨーロッパ・アフリカ・大西洋の白地図   |
| 69         | アメリカ合衆国の白地図  |
| 76         | 南アメリカの白地図  |
| 81         | オーストラリア・ニュージーランドの白地図   |
| 85         | 日本列島①の白地図、「地理院地図」へのリンク   |
| 87         | 日本列島②の白地図、「地理院地図」へのリンク   |
| 90         | 九州地方の白地図、「地理院地図」へのリンク  |
| 97         | 中国地方の白地図、「地理院地図」へのリンク  |
| 100        | 四国地方の白地図、「地理院地図」へのリンク  |
| 105        | 近畿地方の白地図、「地理院地図」へのリンク  |
| 113        | 中部地方の白地図、「地理院地図」へのリンク  |
| 122        | 関東地方の白地図、「地理院地図」へのリンク  |
| 135        | 東北地方の白地図、「地理院地図」へのリンク  |
| 143        | 北海道地方の白地図、「地理院地図」へのリンク   |
| 173        | 統計資料に関する主な機関のホームページ ・総務省統計局・気象庁 ・国土地理院   |

【地図】 視覚障害

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>○ タブレットパソコンなどで読み取ると、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを見ることが出来るQRコードを付したページは37ページ(38か所)ある。&lt;下表参照&gt;</p> <p>○ QRコードの使い方の説明として「二次元コードを使おう」が掲載されており、コンテンツメニューを見ることが出来る。</p> <p>○ 「世界・州別衛星画像」「世界をながめてみよう」「一枚で見る日本列島」「日本の基礎主題図」「統計資料」「地図クイズ」「小学校の復習をしよう」「地図活用」「州・地方別メニュー」「地理院地図」等へのリンクが掲載されている。</p> |
| 掲載ページ | リンク先の情報  |
| 5     | 小学校の復習をしよう   |
| 6①    | 地図活用の解答6ページ P8～P188  |
| 6②    | 「世界・州別衛星画像」「世界をながめてみよう」「一枚で見る日本列島」「日本の基礎主題図」等  |
| 8     | 地理院地図  |
| 19    | アジア州衛星画像,アジア州のあらまし,アジア州の人口,中国の人口,都市の人口が増えるアジア  |
| 25    | アジア州の立体的地図   |
| 41    | アフリカ州衛星画像,アフリカ州のあらまし,鉱山資源に頼るアフリカ   |
| 43    | アフリカ州の立体的地図  |
| 45    | ヨーロッパ州衛星画像,ヨーロッパ州のあらまし,国境を越えた企業の発展・航空機 等   |
| 49    | ヨーロッパ州の立体的地図   |
| 57    | 南北アメリカ衛星画像,北アメリカのあらまし・自然環境,アメリカ合衆国の農業等   |
| 61    | 北アメリカ州の立体的地図   |
| 67    | 南アメリカ州衛星画像,南北アメリカ衛星画像,南アメリカ州のあらまし,ブラジルの産業等   |
| 68    | 南アメリカ州の立体的地図   |
| 73    | オーストラリア・ニュージーランド衛星画像,オセアニア州のあらまし,オーストラリアの産業等   |
| 75    | オセアニア州の立体的地図   |
| 78    | 南西諸島の衛星画像  |
| 80    | 日本列島の衛星画像  |
| 83    | 九州地方の地図,沖縄の自然や文化をいかした観光,沖縄の家の工夫,火山の多い九州地方等   |
| 87    | 九州地方の資料 日本の基礎主題図 自然,降水量,人口分布,農業等   |
| 89    | 中国・四国地方の地図,中国・四国地方の自然,本州四国連絡橋,水島コンビナート等  |
| 91    | 中国・四国地方の地図,中国・四国地方の自然,本州四国連絡橋,水島コンビナート等  |
| 95    | 中国・四国地方の資料 日本の基礎主題図 自然,降水量,人口分布,農業,工業・交通   |
| 97    | 近畿地方の地図,近畿地方の自然,阪神・淡路大震災,近畿の暮らしを支える琵琶湖等  |
| 105   | 近畿地方の資料 日本の基礎主題図 自然,降水量,人口分布,農業等   |
| 109   | 中部地方の地図,中部地方の自然,長野県上川村・南牧村のレタスづくり～高い土地の農業～等  |
| 114   | 中部地方の資料 日本の基礎主題図 自然,降水量,人口分布,農業等   |
| 119   | 関東地方の地図,関東地方の自然,関東の野菜生産等   |
| 127   | 関東地方の資料 日本の基礎主題図 自然,降水量,人口分布,農業等   |
| 131   | 東北地方の資料 日本の基礎主題図 自然,降水量,人口分布,農業等   |
| 133   | 東北地方の地図,米の品種改良～寒さに強い稲をつくる～,震災から立ちあがる漁業 等   |
| 141   | 北海道地方の地図,北海道の農業,北海道の漁業,北海道の道路の工夫～寒い土地の暮らし～ 等   |
| 143   | 北海道地方の資料 日本の基礎主題図 自然,降水量,人口分布,農業 等   |
| 167   | 世界の統計(1)   |
| 169   | 世界の統計(2)   |
| 171   | 日本の統計(1)   |
| 186   | 地図クイズ  |
| 187   | 日本全国衛星画像,日本の東西南北の端はどこ?,日本の領土・領海・領空 等   |

帝国

【地図】 聴覚障害

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 地図帳の活用方法について、地図や写真・イラスト・2次元コード等の視覚的教材で説明された内容や、重要語句の説明、既習事項を確認できる情報がある。 |
| 対象・方法 | 「地図帳の活用方法」についての視覚的教材、重要語句の説明、既習事項を確認できる情報の具体例                             |

|    | 地図帳の凡例・地図記号 等  | 地図帳の活用方法   |
|----|--|--|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図記号                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号の数</li> <li>(世界) 都市 11 境界 4</li> <li>自然 16 交通 4</li> <li>産業・施設等 12</li> <li>領土 17</li> <li>(日本) 都市・境界 15</li> <li>自然 10 交通 14</li> <li>産業 82</li> <li>施設・その他 25</li> </ul> </li> <li>○ 土地利用の色分けがある</li> <li>○ 地図帳での土地の高さについて2枚の図とその説明がある。</li> <li>○ 国名の表記についての説明がある。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「さくいんの使い方」について具体例となる地図(視覚資料)と説明がある。</li> <li>○ 「一般図」について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地図の具体例(地図1枚ヨーロッパ)をもとに</li> <li>・「ページ番号」「インデックス」の図と説明がある。</li> <li>・「国旗」の資料がある。</li> <li>・「位置図」についての図(2枚)と説明がある。</li> <li>・地図の「タイトル」についての説明がある。</li> <li>・上記についてイラストによる補足説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ 「テーマ地図」について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地図の具体例(ヨーロッパ)</li> <li>・「基本資料」の見方について、3枚の地図と断面図の見方の説明がある。イラストによる補足説明がある。</li> <li>・「テーマ資料」の見方について、2枚の地図、説明、イラストによる補足説明がある。</li> <li>・歴史や公民での活用方法について、2枚の地図とイラストによる説明がある。</li> </ul> </li> </ul>  |
| 帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図帳の凡例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例についての説明がある。</li> <li>・凡例のページを広げて凡例を確認しながら地図を見る方法についての説明がある。</li> <li>・地図記号の数</li> <li>(世界) 都市 9 境界 4</li> <li>自然 19 交通 4</li> <li>産業・施設等 14</li> <li>領土 11</li> <li>(日本) 都市・境界 23</li> <li>自然 15 交通 14</li> <li>産業 54 その他 15</li> </ul> </li> <li>○ 土地利用の色分けの記載がある。</li> <li>○ 陸高・水深についての具体例と説明がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「方位・地図記号・縮尺」について既習事項を確認できる情報がある。</li> <li>○ 「タイトルと縮尺」「凡例」「一般図」等の重要語句を地図(7枚)や写真(3枚)、グラフ(3枚)がある。</li> <li>○ 地図の見方に関して、「そのほかの構成紹介」や「マーク」の説明がある。</li> <li>○ 「地図の要素」について分解図4枚による資料がある。</li> <li>○ 地図帳の活用について「さくいん」「統計」等について図や表をもとにした説明がある。</li> <li>○ 「地図活用の技法」練習コーナーについての説明と、解答確認のための二次元コードがある。</li> <li>○ 各ページにある二次元コードについての説明がある。</li> <li>○ 「地図記号」について具体例(大分県地図)を挙げた説明がある。</li> <li>○ 「地図の読み取り方」について具体的に地図(大分県3枚)を挙げ、そこから読み取れる内容についての記載がある。</li> <li>○ 国土地理院の地形図の活用について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地形図」についての語句の説明・二次元コードがある。</li> <li>・地形図の具体例(函館市)を挙げ、地図記号と合わせてその地点の写真(7枚)(視覚的教材)の使用による説明がある。</li> <li>・「縮尺」についての語句説明と「地図活用」問題がある。</li> </ul> </li> </ul> |

【地図】 聴覚障害

|              |  |
|--------------|--|
| <b>観点</b>    | ○ それぞれの地域を表す地図的資料（一般図，鳥瞰図，資料図等）や写真，グラフ，イラスト，簡単な説明文等の視覚的教材の比較 |
| <b>対象・方法</b> | 「朝鮮半島」「中国地方」における地理的資料（地図的資料）の具体例                             |

|           | 朝鮮半島  | 中国地方   |
|-----------|---|--|
| <b>東書</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝鮮半島全体の地形図 25.5×21 センチ（1/5,000,000）とこの図の範囲を示す地球儀の図</li> <li>○ 朝鮮半島にある国の国旗の図 2 枚</li> <li>○ 朝鮮半島の産業を表す資料図</li> <li>○ ソウル周辺のハイテク産業の写真 1 枚</li> <li>○ 韓国を含むアジア N I E S の輸出品の変化を表す棒グラフ（韓国 3 枚，その他 9 枚）</li> <li>○ 韓国を含むアジアの国・地域の一人あたり国内総生産（GDP）の変化を表す折れ線グラフ</li> <li>○ 日本と朝鮮半島との歴史的なつながりに関する写真 4 枚と，それらの考察のヒントを話す男子のイラスト</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地方全体の地形図 25.5×21 センチ（1/1,000,000）とその位置を示す日本地図</li> <li>○ 広島市・岡山市周辺の地形図 25.5×21 センチ（1/500,000）とその位置を示す日本地図</li> <li>○ 中国・四国地方の基本資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境断面図</li> <li>・中国・四国地方の土地利用</li> <li>・中国・四国地方の降水量×2</li> </ul> </li> <li>○ 中国。四国地方のテーマ資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・四国地方の老年人口の割合 65 歳以上の人口が 50%以上の集落の数と割合を表す棒グラフ</li> <li>・原子爆弾投下時の広島市</li> <li>・高速道路や橋の変化を表す視覚資料 高速道路の地図（3 枚） 本州と四国間の自動車交通量を表した棒グラフ 瀬戸大橋の写真</li> </ul> </li> </ul>  |
| <b>帝国</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝鮮半島全体の地形図 50×29.5 センチ（1/3,000,000）と，この図の範囲を示す地球儀の図</li> <li>○ 朝鮮半島とのつながりを表す資料図と旅行者数を示す棒グラフ</li> <li>○ 気温と降水量を表す資料図</li> <li>○ 土地利用を表す資料図</li> <li>○ 「地図活用」の設問による地図の見方のヒント</li> <li>○ 朝鮮半島を含む東アジアから見た日本の地図とこの図の示す地球儀の図</li> <li>○ 日本との交流を表す船などのイラスト 7 個</li> <li>○ 「地図活用」による地図の考察方法のヒント</li> <li>○ 日本との結びつきを表す資料図</li> <li>○ 中国からもたらされた宝物のイラスト 5 個</li> <li>○ 朝鮮半島を含む大陸からもたらされた文化に関する写真 6 枚</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地方全体の地形図 50×29.5 センチ（1/1,000,000）とその位置を示す日本地図</li> <li>○ 広島市の中心部の地図（1/50,000）</li> <li>○ 中国地方に関する資料を見ることができる二次元コード</li> <li>○ 「地図活用」の設問による地図の見方のヒント</li> <li>○ 瀬戸内海周辺の地形図 50×29.5 センチ（1/500,000）とその位置を示す日本地図</li> <li>○ 「地図活用」の設問による地図の見方のヒント</li> <li>○ 中国・四国地方の資料図 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然</li> <li>・降水量 2 枚</li> <li>・人口分布</li> <li>・農業と県別農業産出額を表す棒グラフ</li> <li>・工業と県別工業出荷額を表す棒グラフ</li> <li>・中国・四国地方の交通と人口密度の変化（2 枚）</li> <li>・鳥取砂丘</li> <li>・水島コンビナート</li> <li>・防災に関して広島市付近にある水害の碑の分布と写真 1 枚</li> </ul> </li> <li>○ 「地図活用」の設問による地図の見方のヒント×2</li> <li>○ 中国・四国地方に関する資料を見ることができる二次元コード</li> </ul> |



【地図】 肢体不自由・病弱

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 観点    | ● 上肢の複雑な動きを必要とする内容がある。       |
| 対象・方法 | 上肢の細かい動きを必要とする活動，折り込みページ数，判型 |

|    | 上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容  | 折り込みページ数 | 判型  |
|----|--|----------|-----|
| 東書 | ● 該当なし   | 3        | A B |
| 帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「アジア州」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東アジアと日本の主な交流ルートを描いた。</li> </ul> </li> <li>● 「ヨーロッパ州」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際河川のライン川とドナウ川を描いた，通過する国または首都をそれぞれ三つ以上答える。</li> </ul> </li> <li>● 「北海道地方」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「同じ縮尺の東京都」や自分の住む府県の形をトレーシングペーパーなどの薄い紙に写し取り，石狩平野や十勝平野，根釧台地付近を重ねて広さを比べる。</li> <li>・ 北方領土の島々の形をトレーシングペーパーなどの薄い紙に写し取り，北海道の他の地域を重ねて，その広がりを確認する。</li> </ul> </li> <li>● 都道府県と昔の国名                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手話で表現してみよう・・・1</li> </ul> </li> </ul> | 3        | A 4 |

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 観点    | ● 文字の色や大きさ，コントラストなど障害への配慮を要する内容がある。 |
| 対象・方法 | 「東アジア」「中国地方」における文字の大きさ，囲み，線の種類等     |

|    | 文字種  | 中国地方   | 東アジア   |
|----|--|--|--|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● UD フォントゴシック系</li> <li>● 振り仮名はゴシック体</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県名：17P</li> <li>● 県庁所在地名：12P</li> <li>● 囲み枠内の文字：太文字 11P 通常 6P</li> <li>● 囲み枠：有</li> <li>● 枠の色：水色</li> <li>● 1 ページの囲み枠の数：最大 5 枠</li> <li>● 県境の線：薄赤中心線</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国名 通常：11P 最小：6 P 最大：14P</li> <li>● 囲み内の文字：6 P</li> <li>● 囲み枠：有</li> <li>● 枠の色：水色</li> <li>● 1 ページの囲み枠の数：最大 6 枠</li> <li>● 国境の線：薄赤中心線</li> </ul> |
| 帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● UD フォント丸ゴチック系</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県名：20P</li> <li>● 県庁所在地名：12P</li> <li>● 囲み枠内の文字：太文字 8 P 通常 6P</li> <li>● 囲み枠：有</li> <li>● 枠の色：黒</li> <li>● 1 ページの囲み枠の数：最大 5 枠</li> <li>● 県境の線：薄赤太中心線</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国名 通常：12P 最小：6 P 最大：17P</li> <li>● 囲み内の文字：6 P</li> <li>● 囲み枠：有</li> <li>● 枠の色：黒</li> <li>● 1 ページの囲み枠の数：最大 6 枠</li> <li>● 国境の線：薄赤太中心線</li> </ul> |

# 数学

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|---|-----------------|--------------|
| 2<br>東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家の校閲を受け、文節改行を取り入れたり、例や間に罫線を入れ、まとまりを示したり、小問の数式どうしの行間を広げたりするなど、全ての生徒が読みやすい紙面を追求しました。（p.75など全体）</li> <li>色数を減らし、余白を生かしたシンプルデザインを採用し、生徒が集中して学びやすい紙面を追求しました。（全体）</li> <li>色覚問題の専門家により、全ページにわたって配色に関する検証を行い、カラーユニバーサルデザインに対応しています。（全体）</li> <li>ルビなどの小さい文字にはUDフォントを採用し、視認性を高めています。（全体）</li> </ul> | B 5<br>・<br>312 | 146          |
| 4<br>大日本  | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚のちがいによって学習に支障が出ることがないようにカラーユニバーサルデザインをふまえた色遣いを工夫し、誰にでもわかりやすい紙面にしました。</li> <li>専門家の監修のもと、レイアウトや文章の改行位置を工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、できるだけ読みやすくなるようにしました。</li> </ul>   | B 5<br>・<br>324 | 149          |
| 11<br>学図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家による指導のもと、ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりを行っています。</li> </ul>   | B 5<br>・<br>316 | 144          |
| 17<br>教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>  | B 5<br>・<br>332 | 136          |
| 61<br>啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育（共育）に配慮しています。</li> <li>温かみのある優しい色使いで、シンプルなデザインにしました。MUD協会による認証を申請中です。</li> <li>フォントは識別がしやすい書体（UD書体）を採用しています。</li> <li>文章を理解しやすいように、意味改行をしています。</li> </ul>  | B 5<br>・<br>336 | 178          |
| 104<br>数研 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインに基づいてつくられています。文字は全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで用い、本文は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。また、太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。</li> <li>色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。</li> </ul>  | B 5<br>・<br>312 | 129          |
| 116<br>日文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーバリアフリーやユニバーサルデザインを採用するなど、特別支援教育について十分に配慮しています。また、拡大教科書を制作します。</li> </ul>  | B 5<br>・<br>324 | 162          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書（100ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

**【数学】聴覚障害**

|              |   |
|--------------|---|
| <b>観点</b>    | ○ 導入や活用問題の中に、図やイラスト、写真とともに説明された内容がある。             |
| <b>対象・方法</b> | 第1・2学年の「文字式」における、導入や活用問題の中にある図やイラスト、写真とともに説明された事例 |

|            | 第1学年「文字式」   | 第2学年「文字式」   |
|------------|---|---|
| <b>東書</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字式の導入<br/>「教室の本棚を作成するために必要な棒の本数を考える。」</li> <li>・吹き出し … 3</li> <li>・図 … 4</li> <li>・イラストや写真 … 1</li> <li>○ 文字式の利用<br/>「(導入の) 本棚1段に必要な棒の本数を求める。」</li> <li>・吹き出し … 3</li> <li>・図 … 7</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字式の導入<br/>「運動場のトラックにセパレートコースを作るときのスタート地点の差を考える。」</li> <li>・吹き出し … 5</li> <li>・図 … 2</li> <li>・イラストや写真 … 3</li> <li>○ 文字式による説明<br/>「数の性質を調べて説明する。」</li> <li>・吹き出し … 4</li> <li>・図 … 6</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> </ul> |
| <b>大日本</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字式の導入<br/>「キッチンの壁にタイルを貼るときの必要枚数を考える。」</li> <li>・吹き出し … 3</li> <li>・図 … 4</li> <li>・イラストや写真 … 1</li> <li>○ 文字式の利用<br/>「導入での内容と関連付けて、文字式を利用して表し説明する。」</li> <li>・吹き出し … 4</li> <li>・図 … 9</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字式の導入<br/>「陸上トラックのレーンを作るときのスタートラインの位置を考える。」</li> <li>・吹き出し … 3</li> <li>・図 … 2</li> <li>・イラストや写真 … 2</li> <li>○ 文字式による説明<br/>「数の性質を調べて説明する。」</li> <li>・吹き出し … 1</li> <li>・図 … 3</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> </ul>      |
| <b>学図</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字式の導入<br/>「同じ長さのストローを使って、100個の正方形を作る。」</li> <li>・吹き出し … 6</li> <li>・図 … 3</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> <li>○ 文字式の利用<br/>「ストローの本数を求める。」</li> <li>・吹き出し … 8</li> <li>・図 … 7</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字式の導入<br/>「6桁の数字が7で割り切れるかどうかを調べる方法を考える。」</li> <li>吹き出し … 11</li> <li>図 … 2</li> <li>イラストや写真 … 3</li> <li>○ 文字式による説明<br/>「数の性質を調べて説明する。」</li> <li>・吹き出し … 13</li> <li>・図 … 5</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> </ul>          |

【数学】聴覚障害

|            |   |  |
|------------|---|--|
| <p>教出</p>  | <p>○ 文字式の導入<br/>「追悼イベントのため、キャンドルライトを三角形に並べるとき、キャンドルライトは何個必要になるかを考える。」<br/>・吹き出し … 4<br/>・図 … 4<br/>・イラストや写真 … 4</p> <p>○ 文字式の導入<br/>「学校菜園で、クラスを区切るための板の枚数を考える。」<br/>・吹き出し … 1<br/>・図 … 7<br/>・イラストや写真 … 1</p> | <p>○ 文字式の導入<br/>「森林公園にハイキングに行ったときに、2つのコースの道のりはどちらが短いかを考える。」<br/>・吹き出し … 5<br/>・図 … 1<br/>・イラストや写真 … 2</p> <p>○ 文字式による説明<br/>「数の性質を調べて説明する。」<br/>・吹き出し … 6<br/>・図 … 19<br/>・イラストや写真 … 0</p> |
| <p>啓林館</p> | <p>○ 文字式の導入<br/>「必要なマグネットの個数を求める。」<br/>吹き出し … 1<br/>図 … 0<br/>イラストや写真 … 6</p> <p>○ 文字式の活用<br/>「いろいろな数量を文字式で表す。」<br/>・吹き出し … 1<br/>・図 … 2<br/>・イラストや写真 … 2</p>   | <p>○ 文字式の導入<br/>「地表から1m離してつくった世界一周道路と赤道の長さの差を考える。」<br/>・吹き出し … 8<br/>・図 … 0<br/>・イラストや写真 … 11</p> <p>○ 文字式の利用<br/>「数の性質を調べて文字を使って説明する。」<br/>・吹き出し … 9<br/>・図 … 5<br/>・イラストや写真 … 4</p>      |
| <p>数研</p>  | <p>○ 文字式の導入<br/>「必要なマグネットのきまりを見つける。」<br/>・吹き出し … 8<br/>・図 … 5<br/>・イラストや写真 … 0</p> <p>○ 文字式の活用<br/>「いろいろな数量を文字式で表す。」<br/>・吹き出し … 6<br/>・図 … 1<br/>・イラストや写真 … 2</p>  | <p>○ 文字式の導入<br/>「メリーゴーランドの周の長さや柵の長さの差を計算する。」<br/>・吹き出し … 1<br/>・図 … 1<br/>・イラストや写真 … 1</p> <p>○ 文字式の利用<br/>「数の性質を調べて文字を使って説明する。」<br/>・吹き出し … 19<br/>・図 … 5<br/>・イラストや写真 … 0</p>            |
| <p>日文</p>  | <p>○ 文字式の導入<br/>「正方形をn個つくるために必要な棒の本数を考える。」<br/>・吹き出し … 3<br/>・図 … 4<br/>・イラストや写真 … 0</p> <p>○ 文字式の活用<br/>「基石の総数を表す式を求め説明する。」<br/>・吹き出し … 6<br/>・図 … 9<br/>・イラストや写真 … 1</p>                                    | <p>○ 文字式の導入<br/>「カレンダーから十字形に5つ選んだ数の和のきまりを考える。」<br/>・吹き出し … 6<br/>・図 … 4<br/>・イラストや写真 … 2</p> <p>○ 文字式の利用<br/>「数の性質を調べて文字を使って説明する。」<br/>・吹き出し … 2<br/>・図 … 9<br/>・イラストや写真 … 0</p>           |

【数学】聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 問題解決のプロセスや重要事項の説明の中に、思考が整理しやすいような視覚的な情報がある。                          |
| 対象・方法 | 第1学年「比例と反比例」及び第3学年「関数 $y = ax^2$ 」における、問題解決のプロセスや重要事項が視覚的に整理されている内容の事例 |

|     | 1 学年「比例のグラフ」  | 3 学年「関数 $y = ax^2$ のグラフ」  |
|-----|---|---|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（調べてみよう）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …あり</li> <li>・提示されている数 … 4</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 6</li> <li>・図 …12</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> <li>・枠囲み … 8</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 63mm, 横 147mm の枠囲み</li> <li>・色 … 6 色</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（調べてみよう）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …あり</li> <li>・提示されている数 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 4</li> <li>・図 …14</li> <li>・イラストや写真 … 1</li> <li>・枠囲み … 7</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 4</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 59mm, 横 147mm の枠囲み</li> <li>・色 … 4 色</li> </ul> </li> </ul>   |
| 大日本 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（活動）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 4</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 1</li> <li>・図 …16</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> <li>・枠囲み … 2</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 5</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 112mm, 横 144mm の枠囲み</li> <li>・色 … 4 色</li> </ul> </li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（活動）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 2</li> <li>・図 …14</li> <li>・イラストや写真 … 3</li> <li>・枠囲み … 1</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 4</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 69mm, 横 115mm の枠囲み</li> <li>・色 … 4 色</li> </ul> </li> </ul>       |
| 学図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（QUESTION）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 1</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 5</li> <li>・図 …11</li> <li>・イラストや写真 … 0</li> <li>・枠囲み … 3</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 1</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 80mm, 横 140mm の枠囲み</li> <li>・色 … 5 色</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（QUESTION）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し …11</li> <li>・図 …15</li> <li>・イラストや写真 … 5</li> <li>・枠囲み … 4</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 87mm, 横 140mm の枠囲み</li> <li>・色 … 5 色</li> </ul> </li> </ul> |

【数学】聴覚障害

|            |   |  |
|------------|---|--|
| <p>教出</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（Q）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …あり</li> <li>・提示されている数 … 1</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 5</li> <li>・図 …14</li> <li>・イラストや写真 …0</li> <li>・枠囲み … 2</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 1</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 85mm, 横 124mm の枠囲み</li> <li>・色 … 4色</li> </ul> </li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（Q）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …あり</li> <li>・提示されている数 … 4</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 7</li> <li>・図 …15</li> <li>・イラストや写真 … 4</li> <li>・枠囲み … 7</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 5</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 75mm, 横 155mm の枠囲み</li> <li>・色 … 4色</li> </ul> </li> </ul>    |
| <p>啓林館</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（ひろげよう）提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 2</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 0</li> <li>・図 … 9</li> <li>・イラストや写真 …0</li> <li>・枠囲み … 0</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 0</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 70mm, 119mm の枠囲み</li> <li>・色 … 5色</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（ひろげよう）提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 1</li> <li>・図 … 8</li> <li>・イラストや写真 …0</li> <li>・枠囲み … 0</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 0</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 121mm, 横 125mm の枠囲み</li> <li>・色 … 5色</li> </ul> </li> </ul> |
| <p>数研</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（Q）提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 2</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 3</li> <li>・図 … 6</li> <li>・イラストや写真 …0</li> <li>・枠囲み … 0</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 0</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 65mm, 横 99mm の枠囲み</li> <li>・色 … 4色</li> </ul> </li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（Q）提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し …11</li> <li>・図 … 6</li> <li>・イラストや写真 …0</li> <li>・枠囲み … 0</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 1</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 68mm, 横 143mm の枠囲み</li> <li>・色 … 8色</li> </ul> </li> </ul>      |
| <p>日文</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（考えよう）の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 5</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 1</li> <li>・図 …13</li> <li>・イラストや写真 …0</li> <li>・枠囲み … 1</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 2</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 48mm, 横 123mm の枠囲み</li> <li>・色 … 5色</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動（Q）提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠囲み …なし</li> <li>・提示されている数 … 2</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の視覚的な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出し … 1</li> <li>・図 … 6</li> <li>・イラストや写真 …0</li> <li>・枠囲み … … 1</li> <li>・ナンバリングがされている箇所 … 3</li> </ul> </li> <li>○ 重要事項の提示方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ …縦 104mm, 横 136mm の枠囲み</li> <li>・色 … 6色</li> </ul> </li> </ul>   |

【数学】 肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。   |
| 対象・方法 | 第1学年「データの活用」, 第2学年「データの比較」, 第3学年「標本調査」における, パソコンなどの情報機器の活用等に関わる学習課題の数とその内容 |

|     | 第1学年「データの活用」   | 第2学年「データの比較」   | 第3学年「標本調査」   |
|-----|--|--|--|
| 東書  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>   | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>   | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>1 課題</p> <p>&lt;内容&gt;<br/>○ コンピュータの表計算ソフトを使って, 乱数を発生させ, 標本を無作為に抽出させる方法の紹介。</p>  |
| 大日本 | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>   | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>   | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>2 課題</p> <p>&lt;内容&gt;<br/>○ コンピュータの表計算ソフトを使って, 乱数を発生させ, 標本を無作為に抽出させる方法の紹介。</p> <p>○ 英和辞典の見出し語は全部で何個あるか調べる際に, コンピュータで乱数を発生させ, 英和辞典のページを無作為に10ページ選ぶ方法の紹介。</p> |
| 学図  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>3 課題</p> <p>&lt;内容&gt;<br/>○ データを表計算ソフトに入力し, 昇順・降順機能を使い, 並べ替えを行う。</p> <p>○ 表計算ソフトを用い, 度数分布表を作成する。</p> <p>○ 表計算ソフトの関数を用い, 最大値・最小値・平均値・中央値を求めて比べる。</p> | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>1 課題</p> <p>&lt;内容&gt;<br/>○ 反復横跳びのデータを表計算ソフトに入力し, 関数を用いて四分位数を求める。</p> | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>2 課題</p> <p>&lt;内容&gt;<br/>○ コンピュータの表計算ソフトを使って, 乱数を発生させ, 標本を無作為に抽出させる方法の紹介。</p>  |

【数学】 肢体不自由・病弱

|     |   |  |   |
|-----|---|--|---|
| 教出  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>   | <p>&lt;対象内容の数&gt;<br/>2 課題</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンピュータの表計算ソフトを使って、乱数を発生させ、標本を無作為に抽出させる方法の紹介。</li> <li>○ 円周率の数字の並び方についてインターネットで調べる。</li> </ul> |
| 啓林館 | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>1 課題</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表計算ソフトを用い、データの並び替え、グラフの作成、代表値などを求める。</li> </ul> | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>1 課題</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の住む地域の気温を調べ、コンピュータを使って、データの値を並び替えや箱ひげ図をつくる。</li> </ul> | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>1 課題</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンピュータの表計算ソフトを使って、標本を無作為に抽出させる方法の紹介。</li> </ul>   |
| 数研  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>   | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>1 課題</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンピュータの表計算ソフトを使って標本を無作為に抽出させる方法の紹介。</li> </ul>  |
| 日文  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>0 課題</p>   | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>1 課題</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンピュータの表計算ソフトを使って、乱数を発生させる方法の紹介。</li> </ul>   |



【数学】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ● 上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。   |
| 対象・方法 | 第1学年「平面図形」，第2学年「1次関数」における，上肢や下肢の複雑な動きを必要とする学習課題（定規，三角定規，コンパス，分度器を用いる課題）の数とその具体例 |

|     | 第1学年「平面図形」  | 第2学年「1次関数」  |
|-----|---|---|
| 東書  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>34 課題（大問の中に「観点到該当する小問が複数あっても1課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● ある一点から引かれている2半直線に両方接している円の作図<br/>①コンパスと定規を用い，2半直線がなす角の2等分線をひく。<br/>②コンパスと定規を用い，「角の2等分線の任意の点」から一つの半直線に垂線をひき交点をかく。<br/>③コンパスを用い，「角の2等分線の任意の点」と②でもとめた交点を半径とする円を作図する。</p>  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>21 課題（大問の中に「観点到該当する小問が複数あっても1課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 直角三角形ABCで，動点PがAからBを通りCへ向かうときの，<math>\triangle APC</math>の面積の変化の様子をグラフにかく課題<br/>①動点Pが辺AB上にあるときの<math>\triangle APC</math>の面積のグラフを，定規を用いてかく。<br/>②動点Pが辺BC上にあるときの<math>\triangle APC</math>の面積のグラフを，定規を用いてかく。</p>   |
| 大日本 | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>50 課題（大問の中に「観点到該当する小問が複数あっても1課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● <math>75^\circ</math>の角をコンパス，三角定規を用いて作図する課題<br/>①コンパスと定規を用い，正三角形を作図し，<math>60^\circ</math>をつくる。<br/>②コンパスと定規を用い，<math>60^\circ</math>を2等分し<math>30^\circ</math>をつくる。<br/>③コンパスと定規を用い，垂線を引き，<math>90^\circ</math>をつくる。<br/>④コンパスと定規を用い，<math>90^\circ</math>を2等分し<math>45^\circ</math>をつくる。<br/>（②，④を合わせると，<math>75^\circ</math>になる。）</p> | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>20 課題（大問の中に「観点到該当する小問が複数あっても1課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● <math>\triangle ABC</math>の点Bから点Cを通り，点Aに向かう動点をPとしたときに，<math>\triangle ABP</math>の面積の変化の様子をグラフにかき説明する課題<br/>①動点Pが辺BC上にあるときの<math>\triangle ABP</math>の面積のグラフを，定規を用いてかく。<br/>②動点Pが辺CA上にあるときの<math>\triangle ABP</math>の面積のグラフを，定規を用いてかく。<br/>③かいた二つのグラフを基に，<math>\triangle ABP</math>の面積の変化の様子を説明する。</p> |
| 学図  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>31 課題（大問の中に「観点到該当する小問が複数あっても1課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 回転移動した三角形の回転の中心を作図する課題<br/>①定規を用い回転した三角形のそれぞれの頂点を線で結ぶ。<br/>②コンパスと定規を用い，結んだ線の垂直2等分線をひき，交点をかく。<br/>③交点が回転の中心となる。</p>   | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>18 課題（大問の中に「観点到該当する小問が複数あっても1課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 連立方程式の解を，グラフをかいて解く課題<br/>①1つ目の1次方程式のグラフを，定規を用いてかく。<br/>②2つ目の1次方程式のグラフを，定規を用いてかく。<br/>③かいたグラフの交点が解となる。</p>  |

|     |  |  |
|-----|--|--|
| 教出  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>36 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 三角形の外心を作図し、その位置がどう変わるか確かめる課題<br/>①ノートに定規を用い、三角形を複数個かく。<br/>②コンパスと定規を用い、三角形の各辺の垂直二等分線をひき、交点（外心）をかく。<br/>③それぞれの外心の位置を確かめる。</p>  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>16 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● ガソリン車と電気自動車どちらを購入すると得になるか、10 年間それぞれの車に乗り続けた際に必要な経費に関する 1 次関数のグラフをかき、説明する課題。<br/>①ガソリン車の経費を <math>y</math> とし、年数を <math>x</math> としたときのグラフを、定規を用いてかく。<br/>②電気自動車の経費を <math>y</math> とし、年数を <math>x</math> としたときのグラフを、定規を用いてかく。<br/>③かいた二つのグラフを基に、どちらの車が得か説明する。</p>                       |
| 啓林館 | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>29 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 三角形を平行移動した図をかく課題<br/>①移動する前の点と移動後の点を結ぶ<br/>②三角定規を用い、残りの頂点から①と同じ方向に平行な線をひく。<br/>③定規やコンパスを用いて、①の線分の長さを測る。<br/>④③の長さ分を②の線に点をうつ。<br/>⑤④の点を結ぶ。</p>                                     | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>14 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 長方形 ABCD の周上を、点 P が一定の速さで動くときの三角形 APD の面積の変化について調べる課題<br/>①点 P が辺 AB 上を動くときの <math>x</math> と <math>y</math> の関係のグラフを、定規を用いてかく。<br/>②点 P が辺 BC 上を動くときの <math>x</math> と <math>y</math> の関係のグラフを、定規を用いてかく。<br/>③点 P が辺 CD 上を動くときの <math>x</math> と <math>y</math> の関係のグラフを、定規を用いてかく。</p> |
| 数研  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>23 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 円の接線の作図<br/>①円の中心と接点を通る直線をひく。<br/>②コンパスと定規を用いて、接点を通る①の垂線を作図する。</p>  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>17 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 方程式のグラフをかく問題<br/>①定規を用いて、グラフをかく。</p>  |
| 日文  | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>31 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● 遺跡から発掘された皿の一部から、円の中心を作図し、元の円をかく。<br/>①皿の外周上に 3 点 A, B, C をとる。<br/>②コンパスと定規を用いて、線分 AB の垂直二等分線をかく。<br/>③コンパスと定規を用いて、線分 BC の垂直二等分線をかく。<br/>④②と③の交点 O を中心として、コンパスを用いて半径 OA の円をかく。</p> | <p>&lt;対象課題の数&gt;<br/>18 課題（大問の中に「観点に該当する小問が複数あっても 1 課題」とする。）</p> <p>&lt;具体例&gt;<br/>● グラフを使って連立方程式を解く問題<br/>①定規を用いて、1 つめのグラフをかく。<br/>②定規を用いて、2 つめのグラフをかく。<br/>③グラフの交点が解となる。</p>   |

# 理科

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|--|-----------------|--------------|
| 2<br>東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験の手順やキャラクターのセリフなどでは、文章を読みやすくするため、単語の途中で改行しないように努めています。</li> <li>本文などの主要部分の書体に、ユニバーサルデザイン書体を使用し、読みやすさを追究しました。</li> <li>色覚に関する個人差を考慮し、表現を工夫しています。例えば、グラフの線を色だけで区別することはせず、線種を変えることや文字を付記することなどによって認識しやすくしています。</li> <li>1年の文字は、2, 3年より大きくし、中1ギャップに配慮しています。デジタルコンテンツの活用が有効な箇所には「Dマーク」を付し、その活用を促しました。コンテンツの一覧は目次ページに掲載してあります。</li> <li>学習者用デジタル教科書に加え、指導者用デジタル教科書（教材）を発行し、さらに内容を深められるようにする予定です。</li> </ul> | A 4<br>・<br>272 | 587          |
| 4<br>大日本  | <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫し、誰にでもわかりやすい紙面にしました。</li> <li>専門家の監修のもと、レイアウトや改行位置を工夫したり、全面的にユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。</li> </ul>   | B 5<br>・<br>294 | 662          |
| 11<br>学図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインを含め、教科書全体の文字や図などの視認性について、専門家の指導を受け、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。</li> <li>グラフの線の区別は色だけでなく、線種の違いによっても分かるようにしてあります。</li> </ul>  | A B<br>・<br>274 | 491          |
| 17<br>教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）など、幅広く工夫をこらすことにより、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しました。</li> </ul>  | A B<br>・<br>320 | 489          |
| 61<br>啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての生徒が支障なく学習できるインクルーシブ教育に配慮しています。</li> <li>文字のフォントは、UDフォントを採用し、視認性と可読性を高めています。色覚の個人差を問わず、紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用い、メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）による認証を申請中です。</li> <li>1年の文字サイズは、当社小学校理科6年と中学校理科2・3年の中間サイズとし、生徒が小学校教科書から中学校教科書にスムーズに移行できるようにしています（中1ギャップに対応）。</li> </ul>  | A B<br>・<br>316 | 627          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書(100ページ分)から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【理科】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 実験・観察の手順及び用具の扱い方が写真やイラストとともに説明された内容があり、同時に安全面の管理についての記載がある（巻末資料は含まない）。             |
| 対象・方法 | 第1学年「状態変化」の「水とエタノールの混合物の加熱」及び第2学年「化学変化」の「鉄と硫黄の混合物を加熱した時の変化」における、実験・観察等の手順及び用具の扱い方の説明 |

|     | 第1学年<br>「水とエタノールの混合物の加熱」  | 第2学年<br>「鉄と硫黄の混合物を加熱した時の変化」   |
|-----|---|---|
| 東書  | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>課題→仮説→目的→方法→結果→考察→結論に手順を区分している。項目ごとに枠囲みがあり、流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 目的は文章で提示している。</p> <p>○ 課題→仮説については、イラストと対話で提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 温度測定に関わる正確な実験データを取るための注意点は、文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと朱色の文章で提示している。<br/>①熱をもったゴム管による火傷に注意。<br/>②実験後の生成物の取り扱い（逆流に注意）。</p>  | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>課題→目的→方法→結果→考察→結論に手順を区分している。項目ごとに枠囲みがあり、流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 目的は文章で提示している。</p> <p>○ 課題は、イラストと対話で提示している。</p> <p>○ 方法については別法を掲載し、2種類の方法から選択できるよう提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 磁石への付き方を調べる比較実験を行う際、弱い磁石を使用するというポイントを、文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと朱色の文章で提示している。<br/>①換気をし、発生した気体を吸い込まない。<br/>②反応が終了するまでは別の行動をとらない。<br/>③試験管ばさみの柄を持つ（反応が起きたときに慌てないため）。<br/>④生成物が十分冷えてから確認実験をする。<br/>⑤生成物等は決められた場所に置く。<br/>⑥生成物のおいのかぎ方。<br/>⑦体調に異変を感じたら、指導者に報告するとともに、新鮮な空気を吸う。</p> |
| 大日本 | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>・課題→目的→方法→結果→考察に手順を区分している。項目ごとに境目を設け、流れを上から下へ向かう部分と左から右へ向かう部分とが混在する形で表示している。</p> <p>○ 目的は文章で提示し、あわせて着眼点を提示している。目的の前に？と提示し、実験の課題は枠囲みした文章で提示している。</p> <p>○ 生活に身近な「赤ワイン」を実験に用いることで、蒸留の様子が視覚的に分かりやすい教材を選択している（赤ワインはエタノールや水などでできていることを別途説明）。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと色付きの枠囲みした文章で提示している。<br/>①保護眼鏡を装着するよう指示。<br/>②火傷に注意。<br/>③実験後の生成物の取り扱い（逆流に注意）。<br/>④換気するよう指示。</p> | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>・課題→目的→方法→結果→考察に手順を区分している。項目ごとに境目を設け、流れを上から下へ向かう部分と段組みされた部分とが混在する形で表示している。</p> <p>○ 目的は文章で提示し、あわせて着眼点を提示している。目的の前に？と提示し、実験の課題はイラストと対話で提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと色付きの枠囲みした文章で提示している。<br/>①保護眼鏡を装着するよう指示。<br/>②火傷に注意。<br/>③換気をし、発生した気体を吸い込まない。<br/>④生成物が十分冷えてから確認実験をする。<br/>⑤生成物等は決められた場所に置く。<br/>⑥生成物のおいのかぎ方。<br/>⑦体調に異変を感じたら、指導者に報告するとともに、新鮮な空気を吸う。</p>  |

【理科】 聴覚障害

|                      |   |  |
|----------------------|---|--|
| <p>学<br/>図</p>       | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>気づき→課題→仮説→計画→方法→結果・考察→振り返りに手順を区分している。項目ごとに枠囲みがあり、流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 課題は朱色の文章で提示している。課題の前に、気づきとして写真入りのイラストと対話で提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 温度測定に関わる正確な実験データを取るための注意点は、拡大写真と青色の文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと色付きの枠囲みした朱色の文章で提示している。</p> <p>①出てきた気体に火を近づけない。<br/>②熱をもったゴム管によるやけどに注意。<br/>③実験後の生成物の取り扱い（逆流に注意）。<br/>④生成物のおいのかぎ方。</p>  | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>気づき→課題→仮説→計画→方法→結果・考察→振り返りに手順を区分している。項目ごとに枠囲みがあり、流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 課題は朱色の文章で提示している。課題の前に、気づきとして写真入りのイラストと対話で提示している。</p> <p>○ 方法は、資料を写真と文章で提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 磁石への付き方を調べる比較実験を行う際、弱い磁石を使用するというポイントを青色の文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと色付きの枠囲みした朱色の文章で提示している。</p> <p>①換気をし、発生した気体を吸い込まない。<br/>②加熱時のやけどに注意。<br/>③確認実験の際は試験管を火に近づけない。<br/>④生成物は少量だけ取って確認する。<br/>⑤生成物のおいのかぎ方。<br/>⑥においを確認したら、試験管に水を加えて気体の発生を止める。</p> |
| <p>教<br/>出</p>       | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>・疑問→課題→仮説→計画→実験→考察→結論に手順を区分している。流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 課題は色付きの枠囲みによる文章で提示している。課題の前後にイラストと対話形式での文章を用いた疑問、仮説、計画を提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 温度測定に関わる正確な実験データを取るための注意点は、文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと橙色の文章で提示している。</p> <p>①出てきた気体等に火を近づけない。<br/>②熱をもったゴム管によるやけどに注意。<br/>③実験後の生成物の取り扱い（逆流に注意）。<br/>④生成物のおいのかぎ方。<br/>⑤生成物の確認時、やけどに注意。</p>  | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>・課題→仮説・計画→実験→考察→結論に手順を区分している。流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 課題は色付きの枠囲みによる文章で提示している。課題の後に対話で仮説・計画を提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと橙色の文章で提示している。</p> <p>①換気をし、発生した気体を吸い込まない。<br/>②有毒ガスが出ないように、試験管の口を脱脂綿で軽く塞ぐ。<br/>③加熱時は試験管の口を人に向けない。<br/>④試験管ばさみの柄を持つ。<br/>⑤確認実験の際は試験管を火に近づけない。<br/>⑥生成物は少量だけ取って確認する。<br/>⑦生成物のおいのかぎ方。<br/>⑧においを確認したら、試験管に水を加えて気体の発生を止める。</p>   |
| <p>啓<br/>林<br/>館</p> | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>課題→仮説→目的→方法→結果→考察→振り返りに手順を区分している。項目ごとに枠囲みがあり、流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 目的は文章で提示し、あわせて実験の準備物は、薬品、器具、その他に分けて提示している。目的の前に？と提示し、実験の課題及び仮説を文章で提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 温度測定に関わる正確な実験データを取るための注意点は、色付きの枠囲みした文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと朱色の文章で提示している。</p> <p>①保護眼鏡を装着するよう指示。<br/>②出てきた気体に火を近づけない。<br/>③熱をもったゴム管等によるやけどに注意。<br/>④実験後の生成物の取り扱い（逆流に注意）。<br/>⑤生成物のおいのかぎ方。<br/>⑥生成物の確認時、やけどに注意。</p> | <p>○ 実験の見通しのもたせ方<br/>課題→予想→目的→方法→結果→考察→振り返りに手順を区分している。項目ごとに枠囲みがあり、流れを上から下へ向かって表示している。</p> <p>○ 目的は文章で提示し、あわせて実験の準備物は、薬品、器具、その他に分けて提示している。目的の前に？と提示し、実験の課題及び予想を文章で提示している。</p> <p>○ 実験操作の見通しがもてるよう、具体的にどのような操作が必要か、項目番号を付けて提示している。</p> <p>○ 磁石への付き方を調べる比較実験を行う際、弱い磁石を使用するというポイントを吹き出し付きの文章で提示している。</p> <p>○ 事故に繋がる操作については、注意を示すマークと朱色の文章で提示している。</p> <p>①換気をし、発生した気体を吸い込まない。<br/>②使用する薬品の量を守る。<br/>③混ぜ残しがないように注意。<br/>④生成物が十分冷えてから確認実験をする。<br/>⑤生成物等は決められた場所に置く。</p>   |

【理科】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● インタビュー活動や自分の考えを文章化して発表する等、音声言語等によるコミュニケーションを扱った内容がある（実験・実習中の活動、及び巻末資料は含まない）。 |
| 対象・方法 | 第2学年「気象とその変化」及び第3学年「自然と人間」における、音声言語を伴うコミュニケーション活動や、自分の考えを文章化する活動。              |

|     | 第2学年「気象とその変化」  | 第3学年「自然と人間」  |
|-----|--|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活用の場面において、吸盤や防災井戸など実生活で大気圧を利用している例を探して、それがどのように利用されているか説明する活動がある。</li> <li>● 「説明しよう」において、「雲から地表に降った雨や雪は、その後どうなるだろうか」などを話し合う活動がある。</li> <li>● 仮説「課題に対する自分の考えは？」において、「寒冷前線と温暖前線で、どちらも暖気が寒気の上になるのはなぜか」について意見交換する活動がある。</li> <li>● 活用の場面において、天気図上の1地点を選び、その地点のこのときの天気と、これからの天気の変化を予測して説明する活動がある。</li> <li>● 活用の場面において、翌日の天気を予想するために必要な気象要素を挙げ、その気象要素が必要な理由を説明する活動がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「調べて発表しよう」において、「身のまわりの外来生物がどのようにして持ち込まれ、またどう影響を与えるか」についても調べて発表させる活動がある。</li> <li>● 「発表しよう」において、地域で行われている環境保全の取組について調べて発表する活動がある。</li> <li>● 「考察しよう」において、実験後に様々な繊維や洗剤の性質を調べたり、物質の性質と用途との関係について考えさせ、話し合う活動がある。</li> <li>● 活用の場面において、再生可能なエネルギー資源の長所、短所等を調べ、もし生活場面で利用するならどれを選択するかなど話し合う機会を設け、それを未来に向けて提言していく活動がある。</li> <li>● 判断（君ならどうする？）において、昔と比較して科学技術は役立っているか、今後どう活用していくべきかを考えさせ、話し合う活動がある。</li> <li>● 活用の場面において、自分の住む地域の特徴的な災害について、災害に備えてできることは何かを考えさせ、話し合う活動がある。</li> <li>● 「30年後の社会がどうなっているか？」意見交換する活動がある。</li> <li>● 「外来生物は悪者と決めつけられるか？」について考え、話し合う活動がある。</li> </ul> |
| 大日本 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「話し合おう」において、気象要素について知っていることを挙げさせ、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、容器のふたや、吸盤を押し付けているものについて考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「各地の気象を比べてみよう」において、教科書の図を見て、都市の位置と、降水量と気温の関係について、日本の都市の降水量と気温の関係を話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、日本の四季の天気にはどのような特徴があるかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、気象がもたらす恵みと災害にはどのようなものがあるかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「気象がもたらす恵みや災害について調べてみよう」において、インターネット、図書館等の施設、周囲の人への聞き取りを行い、気象災害等を防ぐ工夫について調べさせた後に発表する活動がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「話し合おう」において、災害から身を守るにはどのようにしたらよいかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、以前に使われていた材料と比較し、現在のプラスチックの長所を基に、それがどのように使われているかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「持続可能な社会をつくるために、私たちができることを考える」活動について、調べたことをコンピュータやポスターで発表する活動がある。</li> </ul>  |
| 学図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「気象に関わる恵みや災害」に関する学習において、テレビ等でよく使用される「これまでに経験したことのないような大雨…」や「ただちに命を守る行動をとってください…」という言葉は、どのような時に使われているかを調べ、その時に自分たちはどうするかを話し合う活動がある。</li> <li>● 章末の「ふり返って深める」において、雲ができた雨が降る仕組みについて図や文章を使って説明する活動がある。</li> <li>● 章末の「発信して深める」において、学習の中で気になったことや自分が調べたことをレポートに書くなど発表の形にまとめ、説明する活動がある。聞き手は説明に対する意見を返す。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元の学習前に、「自分が3年間理科を学んできたことは何か？」「それをいかしてこれから何ができそうか？」について、生徒同士が考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 身のまわりの技術の調査について、現在の科学技術発展や環境問題等に関する10の項目の中から1つを選び、長所や短所を踏まえて自分はどうに考えるかをまとめ、その後に発表したり話し合ったりする活動がある。</li> </ul>   |

【理科】 聴覚障害

|            |   |  |
|------------|---|--|
| <p>教出</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活用の場面において、大きい吸盤ほど外れにくい理由を説明する活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、学校の観測装置で調べるためには、どのような気象要素を、どのくらいの頻度で観測したらよいかを話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、どうして結露が見られるのかを考えて話し合う活動がある。</li> <li>● 活用の場面において、冷たいペットボトルの表面に水滴がつく理由を、「飽和水蒸気量」という言葉を使って説明する活動がある。晴れた日に洗濯物がよく乾く理由を「湿度」という言葉を使って説明する活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、どのようなときに霧が見られるかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、晴れの日と雨の日での気圧の変化や気温、気圧、天気等が急に変化している点に注目し、気付いたことを話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、低気圧や高気圧が西から東へ移動する理由について考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、災害に関する写真を基に気付いたことを話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、大雨や強風によってどのような災害が起こるのか考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、洪水や土砂崩れにどのような対策がとられているか考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、生活場面において水や風の恵みを表す写真を基に気付いたことを話し合う活動がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然環境の調査を行った結果を基に、グループ等の仮説に対する考察と結論を発表し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、人をはじめ、さまざまな生物は自然環境と密接に関係しているが、この関係がうまく保たれるように自分たちのできることは何かを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、身近な地域の自然災害や対策を調べる方法について考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、これまでの学習を基に、自然災害の被害を最小限に食い止めるためにはどうすればよいか（どう行動すればよいか）を考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、情報機器を扱うときにどのような注意点があるかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合おう」において、人間の活動が引き起こす環境問題等を解決するには、今後どのようなことが重要になるかを考え、話し合う活動がある。</li> </ul>   |
| <p>啓林館</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「話し合ってみよう」において、どうして山頂では、菓子袋が膨らんだのかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「表現してみよう」において、温度と飽和水蒸気量の関係をグラフ化し、それを基に発表させることを仕組んでいる。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、なぜ氷が入ったコップの表面にだけ水滴がついたのか考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、教科書に掲載されている雲画像写真から、低気圧と高気圧の中心位置はどのあたりだろうか推測させ、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、日本の四季の天気にはどのような特徴があるかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「表現してみよう」において、実習活動で作成した「天気予想」を活用し、それを基に具体的な根拠を示しながら発表させることを仕組んでいる。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、台風による恵みや災害について考え、話し合う活動がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「話し合ってみよう」において、衣服のタグからその衣服がどのような繊維でできているか調べ、更に繊維の原料と性質について話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、身のまわりのものについて天然の物質と人工の物質のどちらで作られているかを話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、科学の発展に伴う問題解決に向け、科学技術の役割について、教科書のグラフと写真を基に話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、自分が他の人と連絡を取るとき、どのような方法があるかを昔からの方法を踏まえて話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、AIやVRの技術が発展していくと、今後どのようなことができるようになるか、10年後の社会を想定し科学的な根拠に基づいて予測し、話し合う活動がある。</li> <li>● 「表現してみよう」において、科学技術の発展で私たちの生活はどのように変わっていくか、興味のある分野を調べて発表する活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、私たちの生活が身近な自然環境に与えている影響を調べる方法について、生徒同士が話し合う活動がある。</li> <li>● 「表現してみよう」において、調べた自然災害について発表し、同時に他の意見も聞き総合的な視点で捉える活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、科学技術の発展による私たちの生活変化がもたらした問題と、その解決方法を考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「話し合ってみよう」において、生態系の保護や、生物の多様性に関する2つの事例を受けて自分ならどうするかを考え、話し合う活動がある。</li> <li>● 「表現してみよう」において、どのように自然環境を保護し、科学技術を利用すれば持続可能な社会が実現できるかを、身近な地域から地球規模の問題まで含めたテーマの中で選択し、それについて調査・研究したことを発表する活動がある。</li> </ul> |

【理科】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ● 上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。                                 |
| 対象・方法 | 第2学年「電流とその利用」直列回路，並列回路における電流および電圧の性質についての実験の手順及び器具の扱い方の説明 |

|     | 電流  | 電圧   |
|-----|---|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップ1 回路を作る                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①2種類の抵抗器 a, b を用いて直列回路と並列回をつくり，回路のどの点から順に電流をはかるかを確認する。</li> <li>②電流をはかる点の銅線を外し，電流計をつなぐ。</li> </ul> </li> <li>・ステップ2 電流の大きさをはかる                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>③スイッチを入れ，電流を流す。</li> <li>④電流計の目盛りを読みとり，記録する。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>直列回路（3か所），並列回路（4か所）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 器具の扱い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電流計の使い方                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>説明：つなぎ方（3ステップ）</li> <li>ポイント（2カ所）</li> </ul> </li> <li>写真：3枚（電流計をつないだ回路，電圧計の端子と目盛り部分，デジタル電流計）</li> <li>図：導線のつなぎ方の例（よい例，悪い例）</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップ1 回路を作る                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①2種類の抵抗器 a, b を用いて直列回路と並列回をつくり，回路のどの区間の電圧から順にはかるかを確認する。</li> <li>②電流をはかる区間に電圧計をつなぐ。</li> </ul> </li> <li>・ステップ2 電圧の大きさをはかる                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>③スイッチを入れ，電圧を加える。</li> <li>④電圧計の目盛りを読みとり，記録する。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>直列回路（3か所），並列回路（3か所）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 器具の扱い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電圧計の使い方                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>説明：つなぎ方（3ステップ）</li> <li>ポイント（2カ所）</li> <li>注意点1（並列につなぐ）</li> </ul> </li> <li>写真：3枚（電圧計をつないだ回路，電圧計の端子と目盛り，デジタル電圧計）</li> </ul> </li> </ul> |
| 大日本 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・直列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。（回路図，イラスト）</li> <li>②各点の電流の大きさをはかる。（3カ所。回路図4及びイラスト2）</li> </ul> </li> <li>・並列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。（回路図及びイラスト）</li> <li>②各点の電流の大きさをはかる。（4カ所。電流計をつないだ回路図とイラスト）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 器具の扱い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電流計の使い方                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>説明文：つなぎ方（3ステップ），コツ，注意</li> <li>写真：7枚（電流計，デジタル表示の電流計，デジタルテスター，電流計の目盛り，端子）</li> <li>図：6枚（電流計のつなぎ方，悪い例，端子の選択）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・直列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。（回路図，イラスト）</li> <li>②回路の各部分に加わる電圧の大きさをはかる。（4カ所。回路図4及びイラスト2）</li> </ul> </li> <li>・並列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。</li> <li>②回路の各部分に加わる電圧の大きさをはかる。（4カ所）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 器具の扱い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電圧計の使い方                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>説明：つなぎ方（3ステップ），コツ，注意</li> <li>写真：7枚（電圧計，デジタル表示の電圧計，デジタルテスター電流計の目盛り，端子）</li> <li>図：6枚（電圧計のつなぎ方，悪い例，端子の選択）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>   |
| 学図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・直列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。（回路図及び写真）</li> <li>②電流の大きさをはかる（3か所。回路の写真2）</li> </ul> </li> <li>・並列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。（回路図及び写真）</li> <li>②電流の大きさをはかる（4か所。回路の写真2）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 器具の扱い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電流計の使い方                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>説明：つなぎ方，導線のつなぎ方，目盛りの読み方，注意2点，デジタル電流計，デジタルテスター。</li> <li>写真：6点（電流計，バナナプラグ，クリップ，デジタル電流計，デジタル電圧計，デジタルテスター）</li> <li>図：9枚（回路，悪い例，導線のつなぎ方，端子の選び方，目盛りの読み方）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・直列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。（回路図及び写真）</li> <li>②回路の各区間の電圧の大きさをはかる（6か所。写真2）</li> </ul> </li> <li>・並列回路                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①回路をつくる。（回路図及び写真）</li> <li>②回路の各区間の電圧の大きさをはかる（5か所。写真）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 器具の扱い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電圧計の使い方                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>説明：つなぎ方，一端子の選び方，目盛りの読み方，注意2点</li> <li>写真：1点（電圧計）</li> <li>図：7点（つなぎ方，回路図，一端子の選び方，目盛りの読み方）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>  |



|     |  |  |
|-----|--|--|
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やってみよう<br/>直列回路の電流や電圧の大きさを調べてみよう<br/>①30Ωの抵抗2個の直列回路をつくり，電源装置の電圧を6Vに設定して電流を流す。</li> <li>②ア，イ，ウの各点を流れる電流の大きさを測定する。(3か所。回路のイラスト1)</li> </ul> </li> <li>・ やってみよう<br/>並列回路の電圧や電圧の大きさを調べよう<br/>①30Ωの抵抗2個の並列回路をつくり，電源装置の電圧を6Vに設定して電流を流す。</li> <li>②ア～カの各点を流れる電流の大きさを測定する。(6か所。回路のイラスト1)</li> <li>● 器具の扱い方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電流計の使い方<br/>説明：つなぎ方，禁止事項1点，注意事項1点，電流計の各部の説明，端子のつなぎ方。<br/>写真：1点(電流計)<br/>図：5点(悪い例，つなぎ方，指針の示す値に応じた一端子の選び方)</li> <li>・ デジタルテスターの使い方(電流の測定)<br/>説明：スイッチの切り替え，導線のつなぎ方<br/>写真：2点(測定している写真，目盛り拡大)</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やってみよう<br/>直列回路の電流や電圧の大きさを調べてみよう<br/>③アイ，イウ，アウの各間の電圧の大きさを測定する。(3か所。回路のイラスト1)</li> </ul> </li> <li>・ やってみよう<br/>並列回路の電圧や電圧の大きさを調べよう<br/>③イエ，ウオ，アカの各間の電圧の大きさを測定する。(3か所。回路のイラスト1)</li> <li>● 器具の扱い方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電圧計の使い方<br/>説明：つなぎ方，禁止事項1点，注意事項1点，電流計の各部の説明，端子のつなぎ方。<br/>写真：1点(電流計)<br/>図：4点(つなぎ方，指針の示す値に応じた一端子の選び方)</li> <li>・ デジタルテスターの使い方(電圧の大きさの測定)<br/>説明：スイッチの切り替え，導線のつなぎ方<br/>写真：2点(測定している写真，目盛り拡大)</li> </ul> </li> </ul> |
| 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステップ1 豆電球2個の直列回路について調べる<br/>①2個の豆電球を直列につないで図のような回路をつくり，明るいほうの豆電球をア，暗いほうの豆電球をイとし，目印をつける。(回路図)</li> <li>②回路の点A～点Cの電流をはかる。(3か所。点Aをはかる場合のイラスト)</li> </ul> </li> <li>・ ステップ2 豆電球2個の並列回路について調べる<br/>③2個の豆電球(ア，イ)を並列につないで図のような回路をつくり，どちらの豆電球のほうが明るい調べる。(回路図)</li> <li>④回路の点D～点Iの電流をはかる。(6か所。点Dをはかる場合のイラスト)</li> <li>● 器具の扱い方 <ul style="list-style-type: none"> <li>電流計の使い方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明：つなぎ方，目盛りの読み方，禁止事項1点，調節ねじ，デジタル電流計の使い方</li> <li>・ 写真：3点(電流計，回路，一端子の選択，デジタル電流計)</li> <li>・ 図：2点(つなぎ方，目盛りの例)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステップ1 直列回路について調べる<br/>①2種類の豆電球を用いて直列回路をつくる。(回路のイラスト1)</li> <li>②回路の次の区間の電圧をはかる。【AB間，BC間，AC間，DE間，DE間，AE間，CD間】(6か所。回路のイラスト1)</li> </ul> </li> <li>・ ステップ2 並列回路について調べる<br/>③2種類の豆電球を用いて並列回路をつくる。(回路のイラスト)</li> <li>④回路の次の区間の電圧をはかる。【FG間，HI間，JK間】(3か所。回路のイラスト)</li> <li>● 器具の扱い方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電圧計の使い方<br/>【文章・写真・イラスト・QRコード：動画・読み取り練習】</li> <li>・ デジタル電流計の使い方<br/>【文章・写真】</li> </ul> </li> </ul>                                    |

【理科】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ● 校内や学校周辺では学習できない内容がある。                             |
| 対象・方法 | 全学年における屋外での活動が必要な学習活動及び第 1 学年における屋外での活動が必要な学習活動の代表例 |

|             | 屋外での学習が必要な学習活動   | 屋外での学習活動の代表例  |
|-------------|--|---|
| 東<br>書      | <p><b>第1学年</b> (3活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元1 いろいろな生物とその共通点               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察 身近な生物の観察</li> </ul> </li> <li>● 単元4 大地の変化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 身近な地形や地層, 岩石の観察</li> <li>・<b>観察4 身近な地層で調べる大地の歴史</b></li> </ul> </li> </ul> <p><b>第2学年</b> (1活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元3 天気とその変化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 校内の気象観測</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第3学年</b> (4活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元4 地球と宇宙               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 太陽の黒点の観察</li> <li>・観察2 太陽の1日の動き</li> <li>・観察3 星の1日の動き方</li> </ul> </li> <li>● 単元5 地球と私たちの未来のために               <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査1 身近な自然環境の調査</li> <li>例1 水生生物を指標にした川の水のよごれの調査</li> <li>例2 土壌生物を指標にした自然環境の状態の調査</li> <li>例3 コドラートを用いた植生調査</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>観察4 身近な地層で調べる大地の歴史</b><br/>               &lt;観察の方法&gt;<br/> <b>ステップ1</b> 地層の様子をスケッチする。<br/>               ①地層の厚さ, 色, 境目などをスケッチする。<br/> <b>ステップ2</b> 地層の特徴を調べる。<br/>               ②地層をつくっているれきや砂などの粒の大きさ, 色, 形, 重なり方を調べて, 1. のスケッチに書き込む。<br/>               ③観察記録をもとにして柱状図をつくる。<br/> <b>ステップ3</b> 大地の過去のようすを考える<br/>               ④ひとつひとつの地層のようすから, その地層がどのようにしてできたかを考える。<br/>               ⑤化石が見つかったら, その化石をもとに, その地層が堆積したときの環境を推測する。<br/>               ⑥地層全体を見て, わかったことを並べて, 大地の歴史を組み立てる。             </li> </ul> |
| 大<br>日<br>本 | <p><b>第1学年</b> (2活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元1 生物の世界               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 校庭周辺の生物の観察</li> </ul> </li> <li>● 単元4 大地の変化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>観察4 地層の観察</b></li> </ul> </li> </ul> <p><b>第2学年</b> (1活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元4 気象のしくみと天気の変化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観測 気象観測</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第3学年</b> (8活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元3 自然界のつながり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみよう 土の中の小動物を観察してみよう</li> <li>・実験1 微生物のはたらき</li> </ul> </li> <li>● 単元5 地球と宇宙               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 太陽の1日の動き</li> <li>・やってみよう 夜空に見える星の動きを調べてみよう</li> <li>・観察2 月の形と位置の観察</li> <li>・やってみよう 金星の位置と見え方を観察しよう</li> <li>・観察3 太陽の表面の観察</li> </ul> </li> <li>● 単元6 地球の明るい未来のために               <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然環境の調査</li> <li>調査例1 川の水を調べよう</li> <li>調査例2 野鳥を観察しよう</li> <li>調査例3 マツの葉の気孔のようすを調べよう</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>観察4 地層の観察</b><br/>               &lt;方法&gt;<br/>               ①地層全体のようすを観察する。地層の広がり, 重なり, 傾きなどを調べる。<br/>               ②それぞれの層の特徴を観察する。層の厚さ, 色, 粒の並び方や大きさなどを調べ, 層の重なり方をスケッチする。化石があるか, 火山灰や軽石の層があるかも調べる。<br/>               ③層と層の境目のようすを観察する。層の境目の上と下で, 粒の大きさや色などの特徴のちがいを調べる。             </li> </ul>   |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p style="text-align: center;">学<br/>図</p>       | <p><b>第1学年</b> (3活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1-1 動植物の分類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察 生物の観察</li> </ul> </li> <li>● 1-4 大地の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察 地層や地形の観察</li> </ul> </li> <li>● <b>探究4 地域の過去を読み取る</b></li> </ul> <p><b>第2学年</b> (1活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2-4 天気とその変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究1 気象要素の関係</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第3学年</b> (5活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3-4 地球と宇宙 <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究1 太陽の表面のようすを調べる</li> <li>・探究2 月の位置と形の変化を観測する</li> <li>・探究3 太陽の動きと観測者の関係</li> <li>・探究4 1日の星の動きと観測者の関係</li> </ul> </li> <li>● 3-5 自然・科学技術と人間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究 身のまわりの自然環境の調査</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>探究4 地域の過去を読み取る</b></li> </ul> <p>&lt;方法&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観察地点を確認する<br/>地形図上の露頭の場所に印と日付などを書く。</li> <li>②遠くから地層を観察する。<br/>地層のようすを大まかにスケッチする。スケッチするときは、必要なことだけをはっきりした線でかく。気づいたことはスケッチにかき加える。断層やしゅう曲があれば、そのようすをスケッチする。カメラで撮影してもよい。</li> <li>③近くから地層を観察する。<br/>柱状図を作成し、それぞれの層の厚さ、色、堆積岩の粒の大きさなどをかく。化石があれば、何がどのようにまっているかなどをかく。</li> <li>④試料を採取する。<br/>採取した物質を袋に入れ、袋に地名、日付、地層のどの位置から採集したかをかく。</li> </ol>  |
| <p style="text-align: center;">教<br/>出</p>       | <p><b>第1学年</b> (2活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元1 いろいろな生物とその共通点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 身近な生物の体の特徴とみられる場所を調べる。</li> </ul> </li> <li>● 単元3 大地の成り立ちと変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>序章 身近にある地形・地層・岩石を観察しよう</b></li> </ul> </li> </ul> <p><b>第2学年</b> (2活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元3 気象とその変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみよう 風速を調べてみよう</li> <li>・観測1 学校内で気象観測をする</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第3学年</b> (5活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元3 地球と宇宙 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観測1 太陽の1日の動きを調べる</li> <li>・観測2 星の1日の動きを調べる</li> <li>・観測3 月の位置と形の変化を調べる</li> <li>・やってみよう 太陽の表面を望遠鏡で調べてみよう</li> </ul> </li> <li>● 単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1-A 自然環境【空気】を調査する</li> <li>・観察1-B 自然環境【水】を調査する</li> <li>・観察1-C 自然環境【土壌】を調査する</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>序章 身近にある地形・地層・岩石を観察しよう</b></li> </ul> <p>&lt;地形&gt;</p> <p>身のまわりに、特徴的な地形が見られる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その地形には、どんな特徴があるのかを調べる。</li> </ul> <p>&lt;地層&gt;</p> <p>身のまわりに、地層が見られる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その地層には、どんな特徴があるのかを調べる。</li> </ul> <p>&lt;岩石&gt;</p> <p>身のまわりに、岩石のできている土地が見られる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩石には、どんな特徴があるのかを調べる。</li> </ul> <p>&lt;ボーリング試料や標本の活用&gt;</p> <p>近くに地層や岩石が見られないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館などに地層の標本がないか問い合わせる。ボーリング試料や岩石標本なども役に立つ。</li> </ul> |
| <p style="text-align: center;">啓<br/>林<br/>館</p> | <p><b>第1学年</b> (3活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然の中にあふれる生命 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 身のまわりの生物の観察</li> </ul> </li> <li>● 活きている地球 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ためしてみよう 地域の大地の観察</li> <li>・<b>観察3 地層の観察</b></li> </ul> </li> </ul> <p><b>第2学年</b> (1活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球の大気と天気の変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観測1 気象要素の観測</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第3学年</b> (6活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 宇宙を観る <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察1 太陽の表面の観察</li> <li>・観測1 太陽の1日の動き</li> <li>・観測2 星の1日の動き</li> <li>・ためしてみよう 月の形と位置の変化を調べる観測</li> </ul> </li> <li>● 自然と人間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験1 微生物による有機物の分解</li> <li>・調査 身近な自然環境の調査 <ol style="list-style-type: none"> <li>A 空気のごれを調べ、身近な自然環境に与えている影響を調べる。</li> <li>B カイツカイブキの葉から、身近な自然環境に与えている影響を調べる。</li> <li>C 川の生物から、身近な自然環境に与えている影響を調べる。</li> </ol> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>観察3 地層の観察</b></li> </ul> <p>&lt;方法&gt;</p> <p><b>ステップ1</b> 地層全体を観察する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観察する場所のまわりの地形には、どのような特徴があるか見わたす。</li> <li>②地層全体をおおまかにスケッチする。断層やしゅう曲などが見られる場合は、ずれや曲がったようすなどを記録しておく。</li> </ol> <p><b>ステップ2</b> 各層をくわしく観察する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>③それぞれの層の色、厚さ、傾き、粒の大きさや形、さわったようすなどを記録する。</li> <li>④化石が見られる場合には、地層の中にどのようにふくまれているか記録する。</li> <li>⑤地層の重なり方にどのような特徴があるか調べる。</li> </ol>   |

# 音楽（一般）

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称 | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数    | 図・表等<br>の掲載数 |
|----------|---|----------------|--------------|
| 17<br>教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚などの特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>  | A 4<br>・<br>92 | 96           |
| 27<br>教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家から助言を得て、学習活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。</li> <li>色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい生徒の色覚特性にも配慮した配色にしました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないようにしました。</li> </ul> | A 4<br>・<br>98 | 94           |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【音楽（一般）】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 鑑賞教材における曲想や音楽の構造，表現の特徴について図，写真やイラストとともに説明された内容がある。                           |
| 対象・方法 | 第1学年「春第1楽章」，「箏曲六段の調」，第2・3学年「交響曲第5番ハ短調」において，鑑賞におけるポイントの説明が図，写真やイラストを用いて為されている事例 |

|    | 「春 第1楽章」  | 「箏曲 六段の調」   | 「交響曲第5番ハ短調」  |
|----|---|---|--|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演奏の編成 (写真)</li> <li>○ 作曲者の肖像画 (イラスト)</li> <li>○ 楽曲の構成の説明 (表)</li> <li>○ 鑑賞後，自分が感じたことをまとめるメモの掲載1 / 3ページ分 (記録表)</li> <li>○ 作曲者の生きた時代 (簡易な年表)</li> <li>○ 楽譜を提示し，特徴的な部分に色付け (楽譜に色付け)</li> <li>○ 春も含め，「四季」の他の曲の特徴を紹介 (イラスト)</li> <li>○ 「四季」の中から秋について楽譜を抜粋して紹介。気付いたことなど記録する表を掲載 (楽譜と表)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 箏の各部位の紹介 (写真と文字)</li> <li>○ 箏曲を演奏している姿勢 (写真)</li> <li>○ 爪の紹介 (写真)</li> <li>○ 作曲者の生きた時代 (簡易な年表)</li> <li>○ 箏曲の楽譜 (縦書きと横書き) の紹介 (図)</li> <li>○ 箏の奏法の説明 (イラスト2枚)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽譜の掲載 (特徴的な部分に色付けし，演奏する楽器を文字で説明)</li> <li>○ ソナタ形式の流れを掲載 (図)</li> <li>○ 作曲者の肖像画 (イラスト)</li> <li>○ 第2楽章～第4楽章について，一部のみ楽譜を掲載。(楽譜)</li> <li>○ 鑑賞後のメモ欄</li> <li>○ 作曲者の生きた時代 (簡易な年表)</li> <li>○ オーケストラの編成及び配置例 (写真1枚，イラスト1枚)</li> </ul>  |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「思考力・判断力・表現力」「知識」との関連 (表)</li> <li>○ 音楽を形づくっている要素 (イラストと文字)</li> <li>○ 演奏の編成 (写真と写真上に説明の文字)</li> <li>○ 楽譜に色付けして提示するとともに，特徴的な部分の楽譜を掲載 (楽譜の色付けに加え，部分を掲載)</li> <li>○ 作曲者の肖像画 (イラスト)</li> <li>○ 作曲者の出身国と日本の比較 (地図と説明文)</li> <li>○ 「四季」の他の曲の特徴を紹介 (表)</li> <li>○ 作曲者の生きた時代と日本の歴史の関連 (年表)</li> <li>○ 鑑賞後，聴き取ったことなどを自分でまとめる表の掲載1ページ分 (記録表)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「思考力・判断力・表現力」「知識」との関連 (表)</li> <li>○ 音楽を形づくっている要素 (イラストと文字)</li> <li>○ 箏の奏法の説明 (写真2枚と文字による説明)</li> <li>○ 箏曲を演奏している姿勢 (写真)</li> <li>○ 箏曲の楽譜 (縦書きと横書き) の紹介 (図)</li> <li>○ 日本音楽に関する言葉の説明 (イラスト)</li> <li>○ 作曲者の生きた時代と日本の歴史の関連 (年表)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「思考力・判断力・表現力」「知識」との関連 (表)</li> <li>○ 音楽を形づくっている要素 (イラストと文字)</li> <li>○ 楽譜の掲載 (特徴的な部分に色付けし，楽器ごとの楽譜の掲載)</li> <li>○ ソナタ形式の流れを掲載 (図)</li> <li>○ 第2楽章～第4楽章について，形式及び主題ごとの一部楽譜を掲載。(複数の楽譜)</li> <li>○ 作曲者の肖像画 (イラスト)</li> <li>○ 作曲者の生きた時代と日本の歴史の関連 (年表)</li> <li>○ オーケストラの編成及び主な楽器 (写真15枚)</li> </ul> |

【音楽（一般）】 聴覚障害

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 観点    | ○ 言葉の理解を補う情報がある。        |
| 対象・方法 | 共通歌唱教材における語句の補足説明の数と具体例 |

|    | 「赤とんぼ」                        | 「浜辺の歌」                              | 「花」   | 「花の街」 |
|----|-------------------------------|-------------------------------------|---|-------|
| 教出 | ○ 歌詞の補足説明<br>・負われて            | ○ 歌詞の補足説明<br>・あした<br>・ゆうべ<br>・もとおれば | ○ 歌詞の補足説明<br>・うらら<br>・櫂<br>・たとうべき<br>・見ずや<br>・あけぼの<br>・のべて<br>・錦おりなす<br>・くるれば<br>・おぼろ月<br>・げに<br>・一刻も千金 | 該当なし  |
| 教芸 | ○ 歌詞の補足説明<br>・負われて<br>・お里のたより | ○ 歌詞の補足説明<br>・あした<br>・ゆうべ<br>・もとおれば | ○ 歌詞の補足説明<br>・うらら<br>・櫂<br>・たとうべき<br>・見ずや<br>・あけぼの<br>・錦おりなす<br>・長堤<br>・くるれば<br>・げに<br>・一刻も千金の          | 該当なし  |

【音楽（一般）】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に係る内容がある。   |
| 対象・方法 | 表現及び鑑賞領域における，情報機器を活用した音楽の紹介がある題材及び題材ごとの学習教材（QRコードで閲覧できるウェブサイトに掲載されている学習に役立つコンテンツ） |

|    | 情報機器を活用した音楽の紹介がある題材の具体例  | 情報機器を活用した題材ごとの学習教材（学習支援のウェブサイトのコンテンツ）の具体例（1年のみ）   |
|----|--|---|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ わたしたちのくらしと音楽（2・3年上）               <ul style="list-style-type: none"> <li>①知的財産権には，音楽などの著作物を保護する著作権についての説明，著作物とそうでないものの分類</li> <li>②MP3の技術についての紹介</li> </ul> </li> <li>○ 日本と西洋の音楽の歩み（2・3年下）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代に入り，コンピューター・ミュージックが盛んになったことが示されている。</li> </ul> </li> <li>○ コンピュータと音楽（2・3年下）               <ul style="list-style-type: none"> <li>①つくる学習：楽譜制作ソフト及び音楽データを管理・再生するソフトなどを活用した音楽データの再生，創作についての紹介</li> <li>②歌ったり演奏したりする学習：音楽データを管理・再生するソフトを活用した歌や楽器の伴奏，レコーディングソフトを活用したCDの作成などの紹介</li> <li>③鑑賞する学習：インターネットを活用した音楽データの視聴や，インターネットを利用した調べ学習等</li> <li>④ダウンロードの際の留意事項，著作権の説明</li> </ul> </li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「夏の思い出」 範唱，歌詞及び音声</li> <li>○ 「赤とんぼ」 範唱，歌詞及び音声</li> <li>○ 「青空へのぼろう」 範唱，ワークシート</li> <li>○ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「青い空には白い雲」 朗読音声</li> <li>・マリンバ範奏，ワークシート</li> </ul> </li> <li>○ 「春」第1楽章 通奏及びAからEの演奏               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声，ワークシート</li> </ul> </li> <li>○ 日本とアジアをつなぐ音               <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器紹介（グージョン，カヤグム）</li> <li>・動画「漁舟唱晩」の演奏</li> <li>・「サンジョ」の演奏動画</li> </ul> </li> </ul>   |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活や社会の中の音楽（1年）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在では，スマートフォンなどで，音楽をいつでもどこでも聴くことができる環境があると説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ 受け継ごう！郷土の祭りや芸能（2・3年）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土に伝わる祭りや芸能を他の地域の人に紹介するための方法として，インターネットの活用が挙げられている。</li> </ul> </li> <li>○ ポピュラー音楽（2・3年下）               <ul style="list-style-type: none"> <li>①20世紀後半以降，情報伝達手段等の発達により，異なる地域の音楽家が互いに影響を受け，そこから新しい音楽が生まれたと説明がある。</li> <li>②音楽メディアの変遷において，MP3を活用した音楽や動画の配信やストリーミングについて説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ ルールを守って音楽を楽しもう！（2・3年下）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権及び音楽を利用する際に留意すること，音楽が生み出される仕組みに係る説明がある。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Edelweiss」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者・作曲者についての説明，英語詞と朗読音声</li> <li>・映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」作曲者についての説明</li> </ul> </li> <li>○ 指揮をしてみよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮者 山田和樹氏のプロフィール</li> </ul> </li> <li>○ ヴィヴァルディ作曲「春」第1楽章               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソネット全文（原語と訳詞）</li> <li>・バッハ・コレギウム・ジャパン及びチェンバロ奏者 鈴木優人氏のホームページの紹介</li> </ul> </li> <li>○ 雅楽「平調 越天楽」一管弦一               <ul style="list-style-type: none"> <li>・雅楽と宮内庁式部職楽部について（宮内庁のホームページ）</li> </ul> </li> <li>○ 北海道民謡「ソーラン節」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・民謡歌手 伊藤多喜雄氏のホームページ紹介</li> <li>・日本音楽に関する言葉</li> <li>・日本の音階の楽譜及び音声</li> <li>・音楽の約束 三和音の楽譜及び音声（ハ長調，イ短調，長調及び短調の和音の説明音声）</li> </ul> </li> </ul> |

【音楽（一般）】 肢体不自由・病弱

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 観点    | ● 上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。    |
| 対象・方法 | 表現領域における，上肢や下肢の複雑な動きを必要とする題材 |

|    | 上肢の複雑な動きを必要とする<br>内容がある題材  | 上肢と下肢の複雑な動きを必要とする<br>内容がある題材   |
|----|--|--|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 箏（こと）を弾いてみよう（1年）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・角爪の場合の親指の基本的な奏法を学習する内容がある。</li> </ul> </li> <li>● 沖縄県民謡「谷茶前」（1年）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・三板による伴奏（トレモロ）</li> </ul> </li> <li>● 平調子の特徴を生かして音楽をつくろう（2・3年上）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平調子で使われる音を用いて，提示された4つのリズムパターンを組み合わせ，短い旋律をつくる課題で，リコーダーや箏で表現して確かめる指示がある。</li> </ul> </li> <li>● 能の音楽を体験しよう（2・3年上）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本的な音の動きや間を感じながら，打楽器のリズムを手や身近な楽器で打つ課題がある。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指揮をしてみよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 1年：小林真人作詞・作曲「明日を信じて」4分の4拍子<br/>強弱に応じた指揮の図形を大きくしたり小さくしたりすることを取り上げている。</li> <li>② 2・3年上：うらん作詞，西澤健治作曲「そよ風の中で」4分の4拍子<br/>ピアノ前奏及び間奏部分の指揮，歌の始まる前の合図の出し方，強弱の示し方，楽曲の終わり方（rit.）の示し方</li> </ul> </li> <li>● リズムパターンをつくろう（2・3年上）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・8分音符で構成するリズムを用いて作ったリズムパターンを体（膝打ち，手拍子），楽器（シンバル（ハイハット），トライアングル等）を用いて演奏する課題がある。</li> </ul> </li> <li>● 唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう（2・3年上）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音源を聞きながら唱歌で合わせる活動において，膝を打ち，拍を取るよう指示がある。</li> </ul> </li> </ul> |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● リズムゲーム，リズムアンサンブル，リズムチャレンジ（1年，2・3年上）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・4分音符（休符），8分音符（休符），16分音符（2・3年上），付点のリズム（2・3年上）等を組み合わせた複雑なリズムを手拍子で表現する課題がある。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指揮をしてみよう（1年，2・3年上，2・3年下）               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 1年：ビゼー作曲 オペラ「カルメン」前奏曲4分の2拍子</li> <li>② 2・3年上：ベートーヴェン作曲「交響曲第5番」</li> <li>③ 2・3年下：「大地讃頌」                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮のポイント：拍子を明確に示す，強弱の変化に合った振り方，曲想に応じた振り方の工夫，曲想や下肢の雰囲気全体を体全体で伝えること，左手の効果的な使用（2・3年下）等が示されている。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● Let`s Create!（2・3年下）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・4分の4拍子，8小節のリズムアンサンブルをつくり，ボディーパーカッション（手拍子，足踏み，手拍子と足踏み）で演奏する際に，音の出し方を工夫する課題がある。</li> </ul> </li> </ul>  |



【音楽（一般）】 病弱

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 観点    | ○ 健康・医療・病気に関わる内容がある。              |
| 対象・方法 | 鑑賞領域における、健康・病気・医療・教育及び福祉に関わる内容の説明 |

|    | 健康・病気に関わる内容   | 医療・教育及び福祉に関わる内容   |
|----|---|---|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シューベルト作曲「魔王」（1年）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲者の紹介で、31歳という短い生涯であったが、リート、交響曲、室内楽曲など多くの作品を残したと説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ モーツァルト作曲「きらきら星変奏曲」（1年）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲者の紹介で、35年の短い生涯に器楽曲、交響曲、オペラなど幅広い分野の曲を残したと説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ ベートーヴェン作曲「交響曲第5番」（2・3年上）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲者の紹介で、聴力を失う人生最大の危機のも負けず立ち上がり、作品を続々と生み出したと説明がある。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私たちの暮らしと音楽（2・3年下）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①アウトリーチ                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>教育や福祉の場に出前演奏を提供する活動の紹介がある。</li> <li>東日本大震災後、岩手県大槌町の小学校で行われたワークショップ等の紹介がある。</li> </ul> </li> <li>②音楽を通じた教育活動                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの頃の音楽に関わる経験の効果について説明がある。</li> </ul> </li> <li>③音楽療法                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽療法の内容及び効果についての説明がある。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シューベルト作曲「魔王」（1年）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲者の紹介で、31歳で亡くなるまでの間に、管弦楽曲や室内楽曲、ピアノ曲、リート、宗教音楽など多くの作品を残したと説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ 八橋検校作曲 箏曲「六段の調」（1年）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲者の紹介で、25歳頃には、目の不自由な音楽家などで作られた組織の最高位である検校になったと説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ 滝廉太郎作曲「荒城の月」（2・3年上）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気になり、23歳の若さで世を去る、短い生涯であったが、優れた作品を残したと説明がある。</li> </ul> </li> <li>○ ベートーヴェン作曲「交響曲第5番」（2・3年上）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴力を失い、一時は病に苦しんだが、それを乗り越えて、56歳で亡くなるまで作品を書き続けたと説明がある。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活や社会の中の音楽（2・3年上）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ：ふだん生演奏を聴く機会の少ない人々のところへ出向き、芸術を味わう場を提供する活動に係る紹介。</li> <li>①福島県郡山市で行われたワークショップの紹介がある。</li> <li>②東京都港区の中学校で行った、和楽器奏者による演奏の紹介がある。</li> <li>③学校や地域を訪れて歌やダンスのショーをつくり上げる体験型の活動の紹介がある。</li> </ul> </li> <li>○ 生活や社会の中の音楽（2・3年下）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①お年寄りのための施設における音楽の力を活用したレクリエーションの写真</li> <li>②音楽教育とSDGs：日本から「青年海外協力隊」や支援団体のスタッフとして海外に渡り、教育に貢献している人の紹介。音楽教育の役割について説明がある。</li> </ul> </li> </ul>                      |

# 音楽（器楽合奏）

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称 | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|----------|---|-----------------|--------------|
| 17<br>教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚などの特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> </ul>  | A 4<br>・<br>106 | 233          |
| 27<br>教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家から助言を得て、学習活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。</li> <li>色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい生徒の色覚特性にも配慮した配色にしました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないようにしました。</li> </ul> | A 4<br>・<br>106 | 302          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（巻頭・巻末資料を除く）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【音楽（器楽合奏）】聴覚障害

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 楽器を演奏する際の導入となる、姿勢や構え方などについて、図、写真やイラストとともに説明された内容がある。                  |
| 対象・方法 | 掲載されている楽器の中からリコーダー、長胴太鼓、箏及び三味線を取り上げ、演奏する際の留意事項の説明が図、写真やイラストを用いて為されている事例 |

|    | アルトリコーダー   | 長胴太鼓  | 箏   | 三味線   |
|----|--|---|---|---|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部の名称（イラストと文字）</li> <li>○ 音域の説明（楽譜によるソプラノリコーダーとの比較と運指）</li> <li>○ 姿勢と構え方（写真1枚に加え、比較のためソプラノリコーダーの写真1枚）</li> <li>○ ホール番号と指番号及びチューニング（イラスト3枚）</li> <li>○ タンギングの説明（舌の動きのイラスト2枚と発音表）</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太鼓の種類（写真4種類）</li> <li>○ ばちの持ち方（写真5枚）</li> <li>○ 構え方と打ち方（写真7枚）</li> <li>○ 正対構えの立ち方（写真1枚）</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部の名称（写真2枚と8の名称説明）</li> <li>○ 柱の立て方と爪（写真7枚）</li> <li>○ 姿勢と構え方（写真4枚）</li> <li>○ 基本的な奏法（写真4枚）</li> <li>○ 奏法&lt;押し手&gt;（写真2枚）</li> <li>○ その他の奏法（写真5枚）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢と構え方（写真2枚）</li> <li>○ 各部の名称（写真3枚と12の名称説明）</li> <li>○ 左手の構え方（写真2枚）</li> <li>○ ばちの持ち方（写真4枚）</li> <li>○ 椅子で演奏する際の姿勢（写真1枚）</li> <li>○ 糸と駒の説明（写真6枚）</li> <li>○ 基本的な奏法（写真3枚）</li> <li>○ 特徴（サワリ）の説明（写真と説明文）</li> <li>○ 左手の押さえ方と目安（写真3枚）</li> <li>○ いろいろな奏法（写真3枚）</li> </ul> |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部の名称（写真と文字）</li> <li>○ ホール番号と指番号及びチューニング（イラスト3枚）</li> <li>○ 音域の説明（楽譜によるソプラノリコーダーとの比較）</li> <li>○ 姿勢と構え方（正面及び横向きの写真2枚に加え、イラスト1枚）</li> <li>○ 演奏する際の留意事項（イラスト3枚）</li> <li>○ タンギングの説明（舌の動きのイラスト3枚と発音の表）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太鼓の種類（写真4種類）</li> <li>○ 姿勢と構え方（写真1枚）</li> <li>○ ばちの持ち方（写真4枚）</li> <li>○ 打ち方（写真3枚）</li> <li>○ 打ち方の工夫（イラスト）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 箏曲の演奏形態（写真2枚）</li> <li>○ 箏と琴について（写真と説明文）</li> <li>○ 各部の名称（写真3枚と10の名称説明）</li> <li>○ 柱の立て方と爪（写真7枚）</li> <li>○ 姿勢と構え方（写真6枚）</li> <li>○ 基本的な奏法（写真4枚）</li> <li>○ 響きの違い（写真1枚と説明文）</li> <li>○ 演奏のポイント（写真2枚）</li> <li>○ いろいろな奏法（写真8枚）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三味線の演奏形態（写真6枚）</li> <li>○ 各部の名称（写真3枚と13の名称説明）</li> <li>○ 三味線と三線（写真と説明文）</li> <li>○ ばちの扱い方（写真6枚）</li> <li>○ 姿勢と構え方（写真2枚とイラスト）</li> <li>○ 左手の構え方（写真2枚）</li> <li>○ 基本的な奏法（写真7枚）</li> <li>○ 左手の押さえ方と目安（写真とイラスト）</li> <li>○ 特徴（サワリ）の説明（写真と説明文）</li> </ul>                   |

**【音楽（器楽合奏）】 聴覚障害**

|              |                        |
|--------------|------------------------|
| <b>観点</b>    | ● 学習のめあてが長文で示された内容がある。 |
| <b>対象・方法</b> | 共通器楽教材におけるめあての文節数及び文字数 |

|           |   |
|-----------|---|
| <b>教出</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● リコーダー「喜びの歌」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「曲想と音楽の構造との関わりを理解したり，他のパートと合わせて演奏する技能を身につけたりしながら，表現を工夫しよう。」（13 文節 57 文字）</li> <li>・「左手の運指を身につけて表現しよう。」（4 文節 17 文字）</li> </ul> </li> <li>● リコーダー「オーラリー」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「曲想と音楽の構造との関わりを理解したり，他のパートと合わせて演奏する技能を身につけたりしながら，表現を工夫しよう。」（13 文節 57 文字）</li> <li>・「曲想を感じ取って表現しよう。」（3 文節 14 文字）</li> </ul> </li> <li>● リコーダー「きらきら星」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「曲想と音楽の構造との関わりを理解したり，表現に必要な奏法を身につけたりしながら，曲にふさわしい表現を工夫しよう。」（13 文節 56 文字）</li> <li>・「全体の響きを感じ取って合わせて演奏しよう。」（5 文節 21 文字）</li> </ul> </li> <li>● 箏「さくらさくら」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「曲想と音楽の構造との関わりを理解したり，右手の使い方や縦譜の読み方などの基本的な奏法を身につけたりしながら，表現を工夫しよう。」（15 文節 63 文字）</li> <li>・「曲想を感じ取り，基本的な奏法を身につけながら表現しよう。」（7 文節 28 文字）</li> </ul> </li> <li>● 篠笛「たこたこあがれ」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「篠笛の音色（おんしょく）と奏法との関わりを理解したり，基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう。」（10 文節 50 文字）</li> <li>・「音色を聴き取りながら演奏しよう。」（3 文節 16 文字）</li> </ul> </li> </ul> |
| <b>教芸</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● リコーダー「喜びの歌」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「左手の運指やアーティキュレーションに気を付けながら，吹き方を工夫しましょう。」（6 文節 38 文字）</li> </ul> </li> <li>● リコーダー「オーラリー」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「両手の運指に気を付けながら，吹き方を工夫しましょう。」（5 文節 26 文字）</li> </ul> </li> <li>● リコーダー「きらきら星」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「両手の運指やサミングに気を付けながら，吹き方を工夫しましょう。」（6 文節 31 文字）</li> </ul> </li> <li>● 箏「さくらさくら」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽曲を弾いたり歌ったりしながら，曲にふさわしい表現を工夫しましょう。」（7 文節 34 文字）</li> </ul> </li> <li>● 篠笛「たこたこあがれ」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽器を吹いたり唱歌を歌ったりしながら，音色や旋律の特徴を感じ取りましょう。」（8 文節 37 文字）</li> </ul> </li> </ul>  |

【音楽（器楽合奏）】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に係る内容がある。   |
| 対象・方法 | 器楽分野における，情報機器を活用した題材ごとの学習教材（QRコードで閲覧できるウェブサイトに掲載されている学習に役立つコンテンツ） |

|    | 吹奏楽器及び打楽器の学習教材   | 弦楽器の学習教材  |
|----|--|---|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範奏動画（5），奏法動画（2），奏法音声（4）</li> </ul> </li> <li>○ 篠笛                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 篠笛の作り方の資料，姿勢とかまえ方及び音の出し方の動画，範奏動画（2曲）</li> </ul> </li> <li>○ 尺八                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音の出し方の動画</li> </ul> </li> <li>○ 何が同じで，何が違う？PART-1                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発展課題：リコーダーのタンギングに着目して楽器の背景にある伝統や文化について考える課題プリント</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ギター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ギターの種類（形状，音色等）に係る説明資料，右手の使い方の動画，ギター右手の弾き方（pの動き/i，m，aの動き）の動画（2）</li> </ul> </li> <li>○ 箏                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調弦法（平調子）の音声（2），親指による基本的な奏法（角爪）の動画，親指による基本的な奏法（丸爪の動画）</li> </ul> </li> <li>○ 三味線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調弦法（本調子，二上り，三下り）の音声，基本的な奏法の動画，範奏動画</li> </ul> </li> <li>○ 発展 弾く楽器の仲間たち                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の弦楽器の紹介と楽器と形の関係について考える課題プリント</li> </ul> </li> <li>○ 太鼓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長胴太鼓のかまえ方と打ち方の動画（3）</li> <li>・ 締太鼓のかまえ方と打ち方の動画（2）</li> </ul> </li> <li>○ 楽器と唱歌によるパッチワーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成と演奏の例の動画（2）</li> </ul> </li> <li>○ 打楽器                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大太鼓，小太鼓，ボンゴ，コンガ，カホンのかまえ方</li> <li>・ たたき方に係る説明資料</li> </ul> </li> </ul> |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リコーダー奏者の川端りさ氏の経歴の説明，演奏動画</li> </ul> </li> <li>○ 太鼓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太鼓奏者のヒダノ修一氏のホームページ</li> </ul> </li> <li>○ 篠笛                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 篠笛奏者である新保有生氏の経歴の説明</li> </ul> </li> <li>○ 尺八                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤原道山氏の経歴の説明</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ギター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ギター奏者の大萩康司氏の経歴</li> </ul> </li> <li>○ 箏                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箏奏者の遠藤千晶氏のホームページ</li> </ul> </li> <li>○ 三味線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長唄三味線方の杵屋栄八郎氏の経歴の説明</li> </ul> </li> </ul>  |

【音楽（器楽合奏）】 肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● 上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。              |
| 対象・方法 | 器楽の活動における、上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある題材の具体例 |

|    | 上肢の複雑な動きを必要とする<br>内容がある題材   | 上肢と下肢の複雑な動きを必要とする<br>内容がある題材  |
|----|---|---|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● リコーダー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・サミングの奏法で演奏する楽曲、「サムのひとつりごと」他9曲掲載されている。</li> <li>・J. S. バッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲第2番から第2楽章」<br/>tr（トリル）の奏法</li> </ul> </li> <li>● ギター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・アポヤンド奏法，アル・アイレ奏法，ストローク奏法で演奏する内容</li> </ul> </li> <li>● 箏                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・親指による基本的な奏法，押し手の奏法</li> <li>・八橋検校作曲の箏曲「六段の調」から三段の冒頭8拍分を題材に，サーラリン（裏連），シャン（かき手）の奏法</li> </ul> </li> <li>● 三味線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・勘所の押さえ方，スクイ，ハジキ，打ち指の奏法を練習する課題やこれらの奏法を含む長唄「勸進帳」から寄せの合方を演奏する題材</li> </ul> </li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ギター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏の際の姿勢及びかまえ方についての説明<br/>「姿勢：肩には力を入れず，背筋を伸ばす。」<br/>「かまえ方：左足の太もも，右足の付け根付近，胸，右肘の内側（少し手首より）にギターが触れる，これらの部分でバランスよく支える。」</li> </ul> </li> <li>● 三味線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏する際の姿勢とかまえ方についての説明<br/>「姿勢：両膝を握りこぶし一つ分くらい開けて，状態を少し前に倒し，腰を伸ばして座る。」<br/>「かまえ方：膝ゴムを右太ももに置き，その上に三味線の胴を乗せる。」</li> </ul> </li> </ul>  |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● リコーダー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・サミングの奏法で演奏する楽曲，スコットランド民謡「アニーローリー」，H. アーレン作曲「虹の彼方に」等，8曲掲載されている。</li> </ul> </li> <li>● ギター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク奏法で弾く課題及び楽曲</li> <li>・アポヤンド奏法，アル・アイレ奏法で弾く課題及び楽曲</li> </ul> </li> <li>● 箏                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・親指，中指・人さし指の基本的な奏法で演奏する課題，楽曲2曲</li> <li>・八橋検校作曲の箏曲「六段の調」の四段で用いられる奏法を中心とした6つの奏法（かき爪，割り爪，押し手，押放，引き色，合爪）の説明があり，演奏する内容が取り上げられている（他，3曲掲載）。</li> </ul> </li> <li>● 三味線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な奏法，勘所の押さえ方の説明があり，富山民謡「こきりこ」を演奏する内容を取り上げている。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ギター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏の際の姿勢及びかまえ方についての説明<br/>「背筋を伸ばし，肩の力を抜く。ヘッドは目の高さにし，肩より下がらないように。正しい姿勢で演奏できるように足台を用いるとよい。」</li> </ul> </li> <li>● 三味線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏の際の姿勢とかまえ方についての説明<br/>「姿勢：両膝の感覚を握り拳一つ分ぐらい開き，状態をやや前に倒し。腰を伸ばして正座する。」<br/>「かまえ方：膝ゴムを右足の付け根と膝頭の中案に置き，その中心に三味線の胴をのせる。」<br/>「右腕の手首から6～7センチの辺りが，胴かけの中心よりやや根緒寄りに当たるようにしてかまえる。」</li> </ul> </li> <li>● ドラムセット                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・体全体を使って腕の向きや高さを変えて，それぞれの楽器を打つこと，BDとHHの足ペダルの操作の説明がある。</li> </ul> </li> </ul> |

【音楽（器楽合奏）】 肢体不自由・病弱

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 観点    | ● 器楽の活動における，体育的活動や身体表現を含む内容がある。    |
| 対象・方法 | 器楽の活動における，体育的表現や身体表現を含む内容がある題材の具体例 |

|    | 体育的活動を含む内容がある題材の具体例  | 身体表現を含む内容がある題材の具体例  |
|----|--|---|
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 太鼓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・かまえ方と打ち方<br/>長胴太鼓，締め太鼓，桶胴太鼓を取り上げている。</li> <li>・正対がまえ：長胴太鼓をやぐら台に置いた場合，伏せ台に置いた場合，締め太鼓を立奏台に置いた場合，座総台に置いた場合，桶胴太鼓を立奏台に置いた場合の打ち方を説明している。</li> <li>・横対がまえ，右方がまえ，斜体がまえ，田楽がまえの打ち方を説明している。</li> <li>・基本のリズムを打つ課題が取り上げられている。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 合わせて演奏しよう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝口亮介作曲<br/>「ジョイフルコンビネーション1」「ジョイフルコンビネーション2」</li> <li>ボディーパーカッションの楽曲（手拍子，膝打ち，足踏みで構成されている。）</li> </ul> </li> </ul>                           |
| 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 太鼓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢とかまえ方と打ち方について<br/>桶胴太鼓，締め太鼓，長胴太鼓を取り上げている。</li> <li>・締め太鼓をあぐら，正座している場合の打ち方，長胴太鼓を檣代に置いた場合や桶胴太鼓を担いだ場合の打ち方についても説明している。</li> <li>・地打ち，表打ちの課題及び楽曲が取り上げられている。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンサンブル                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝口亮介作曲「One Week」<br/>ボディーパーカッションの楽曲（言葉，手拍子，もも打ち，足踏みで構成されている。）</li> <li>・長谷部匡俊作曲「クラッピングラブソデイ」<br/>手拍子1と2のパートで構成するアンサンブル</li> </ul> </li> </ul> |

# 美術

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数    | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|--|----------------|--------------|
| 9<br>開隆堂  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の機会均等を念頭に、特別支援教育及びインクルーシブ教育やカラーユニバーサルデザインなどにも対応するとともに、カリキュラムマネジメントを視野に入れ、ウェブサイトによる多様な映像情報等の提示などを工夫しました。</li> <li>・特別支援教育-専門家による監修のもと、文章の折り返しを読みやすくするとともに、全ページに誰にでも読み取りやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。</li> <li>・カラーユニバーサルデザイン-専門家の監修のもと、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいよう配慮しました。</li> <li>・WEB との連携-QR コードやURL によって、WEB サービスで学習の参考となる動画などが見られるようにしました。</li> <li>・ICT の活用-デザイン分野の題材などにおいてコンピュータ等のICTを活用する題材を設定しました。</li> </ul> | A 4<br>・<br>66 | 492          |
| 38<br>光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書のユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザイン（色覚特性）と、学習上支援が必要な生徒のために、特に以下の点に配慮しました。</li> <li>・教科書の全てのページについて、専門家の校閲を受けました。</li> <li>・図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたりして、境界を明確に区別できるようにしました。</li> <li>・全学年を通して、文字がやや小さくなる場合は、読みやすさを強調してつくられたUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しました。</li> </ul>  | A 4<br>・<br>80 | 665          |
| 116<br>日文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての生徒が等しく学べるように、UDフォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、国立特別支援教育総合研究所の大内進先生にカラーユニバーサルデザインの観点から編修を行うなど、特別支援教育の観点に配慮しています。</li> <li>・活動する分野や、領域について、見やすい色で判別できるインデックス表示をしました。</li> <li>・題材名は見やすく、何を取り組むのかを明確に読み取れるようにしました。</li> <li>・主文（本文）や、図版解説などの文字については分りやすく、読みやすいよう配慮しました。</li> <li>・掲載図版のサイズでは大小バランスを考慮して、分りやすいようレイアウトしました。</li> </ul>  | A 4<br>・<br>74 | 493          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。



## 【美術】 視覚障害

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 触覚を活用した学習内容がある。                         |
| 対象・方法 | 「絵や彫刻など」領域の立体表現に関する題材における、触覚を活用した制作方法や作品例 |

|     | 具体例  |
|-----|--|
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術1「刷毛や布で人体をとらえる」において、布の配置を確認している生徒の活動写真と、「柔らかい布を重ねることで、体の曲線や量感をとらえる。」という記述がある。</li> <li>○ 美術1「よみがえる材料」の題材名下の活動のきっかけとなる文章において、「材料そのものの形や色彩、質感などの特徴を生かして…」という記述がある。</li> <li>○ 美術1「生命力を感じて」の題材名下の活動のきっかけとなる文章において、「直接触れて形を確かめたりして生き物がもつ立体感、重量感、質感や動きなどがつくり出す…」という記述がある。その文章の下に、目を閉じて野菜を触っている生徒写真と、「目を閉じた状態で触ってものの特徴をとらえる。」という説明文がある</li> <li>○ 美術2・3「形を研ぎ澄ませて」の題材名下の活動のきっかけとなる文章において、「彫刻には、量感や動勢、質感といった要素と同時に…」という記述がある。</li> </ul>  |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術1「自然の形や色を見つめて」の題材において、題材名下の活動のきっかけとなる文章に、「じっくり観察し、実際に触ってみて、大きさや重さ、触り心地を感じてみよう。質感や量感を捉えるヒントが…」という記述がある。</li> <li>○ 美術1「自然の形や色を見つめて」の題材において、表現・発想、構想「身近にある石を、粘土を使ってあらわそう」の欄では、「目と手で感じ取る」という項目の中で目を閉じて石を確認する生徒写真と、「石を手にとって、大きさや重さ、触り心地を確認しよう。目をつぶると、より触覚に集中しやすくなる。」という説明文がある。その下には、「石は思ったよりも冷たくて、表面はざらざらとしている。同じ手触りをあらわせるかな。」という問いかける文章がある。同欄において、両手に石と粘土を握っている写真と、「両手に石と粘土をそれぞれ握って量感を確認してみよう」という説明文がある。その下には、「石は思ったよりもずっしりと重く感じるよ。どうやったら、ずっしりとした石の量感あらわせるだろう。」という文章がある。</li> </ul>  |
| 日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術1「じっくり見ると見えてくる」の題材名下の活動のきっかけとなる文章において、「表面のツヤや質感、形など…」という記述がある。そのページ下の靴の作品と、制作中の写真横に「形や色彩、質感をどう表現すれば、くつらしく見えるだろう。」という記述がある。</li> <li>○ 美術1「材料に命を吹き込む」の題材名下の活動のきっかけとなる文章において、「木の枝や石、廃材などの形や色彩、質感をじっくり観察してみると…。～あなたが見つけた材料の形や質感を生かしながら…。」という記述がある。</li> <li>○ 美術2・3上「動き出しそうな動物たち」において、「目かくしをしてつくった愛犬」という参考資料で「愛犬を手で触った時の感触を再現するため、目かくしをしてつくった粘土彫刻です。…視覚に頼ってつくったものよりも、作者が愛犬に触れた時の感情を忠実に表現…」という記述がある。目かくしをして制作している作者の制作風景と、完成作品の写真を掲載している。作者の言葉で「眼に見えていることは、真実のほんの一部だとわかった。」という記述がある。</li> <li>○ 美術2・3下「イメージを追い求めて」の題材名の下部の活動のきっかけとなる文章において、「材料が持つ重さや手触りなどの特徴を生かしながら、豊かに表現しましょう。」という記述がある。右ページの生徒作品「理想の自分」と生徒作品「人生」において、磨かれた球体や表面の凹凸の例として作品写真と作者の言葉を掲載している。生徒作品下には、生徒が粘土を触っている写真を掲載するとともに、「材料を触りながら、どんな形がイメージを表すのにふさわしいか構想を練り、…」という記述がある。</li> </ul> |

【美術】 視覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● 文字の色や大きさ，コントラスト等により，視覚障害への配慮を要する内容がある。                                   |
| 対象・方法 | 美術1の教科書末ページの資料にある「絵の具」，「さまざまな技法，描き方」における，使用文字の色，文字の最大ポイント数，最小ポイント数，コントラスト等 |

|     | 具体例   |
|-----|---|
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大見出し 黒色 26ポイント</li> <li>● 技法名 浅緑色 10ポイント</li> <li>● 技法説明文 黒色 7ポイント</li> <li>● コントラスト等 各技法の間に区切る線が無い。技法写真の掲載で，写真のふちの白と周囲の余白と同化する部分がある。<br/>技法写真「フロッタージュ」こすり出しで描いた色鉛筆の色が薄い。</li> </ul> |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大見出し 黒色 38ポイント</li> <li>● 技法名 黒色 10,5ポイント</li> <li>● 技法説明文 黒色 9ポイント 写真下の補足説明文や問いかけ文は8ポイント</li> <li>● コントラスト等 注意点は点線囲みの枠の中に，黄色の下地に黒の文字で記述。</li> </ul>                                 |
| 日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大見出し 黒色 30ポイント</li> <li>● 技法名 濃い緑色 13ポイント</li> <li>● 技法説明文 黒色 8ポイント</li> <li>● コントラスト等 技法写真の掲載で，写真のふちの白と周囲の余白と同化する部分がある。<br/>技法写真「フロッタージュ」こすり出しで描いた色鉛筆の色が薄い。</li> </ul>              |

【美術】 聴覚障害

|              |   |
|--------------|---|
| <b>観点</b>    | ○ 作品や制作などの手順及び道具の扱い方が写真やイラストともに説明された内容が記載されている。   |
| <b>対象・方法</b> | 第1学年「木を使った工芸」と「版画制作」において素材の特性および加工の仕方、道具の扱い方の説明事例 |

|                      | 第1学年「木を使った工芸」   | 「版画制作」  |
|----------------------|---|---|
| <b>開<br/>隆<br/>堂</b> | <p>木を暮らしに生かす<br/>木の特徴や生活を楽しむ作品紹介<br/>p 48～49</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品の紹介の仕方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・作家と生徒作品で区分</li> <li>・作家作品 写真1か所</li> </ul> </li> <li>○ QRコード               <ul style="list-style-type: none"> <li>・電動糸のこぎりの使い方（動画）</li> <li>・生徒作品紹介</li> <li>・生徒作品・言葉の紹介 写真9</li> </ul> </li> <li>○ 予備知識の紹介               <ul style="list-style-type: none"> <li>・木取りについて 写真4</li> </ul> </li> </ul>   | <p>【第2・3学年】版画表現の可能性<br/>技法と効果を紹介し、版画の魅力を紹介<br/>p 26～p 27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品の紹介の仕方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・作家作品・言葉：写真3</li> </ul> </li> <li>○ QRコード：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒作品紹介，ドライポイントの使い方（動画）</li> <li>・生徒作品：写真3</li> </ul> </li> <li>○ 予備知識の紹介               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライポイントの技法手順 写真4</li> </ul> </li> </ul> |
|                      | <p>○参考資料の頁の表記・内容 p 5 8～5 9<br/>【道具の使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カッターナイフの使い方<br/>写真2 イラスト8</li> <li>・小刀の使い方<br/>写真2 イラスト2</li> <li>・のこぎりの使い方<br/>写真2 イラスト5</li> <li>・彫刻刀の使い方<br/>写真5 イラスト15</li> <li>・電動糸のこぎりの使い方<br/>写真5 イラスト2</li> <li>・やすりの使い方<br/>写真8 イラスト2</li> <li>・木の種類<br/>写真5ヶ所</li> <li>○ QRコード（動画）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・カッターナイフの使い方</li> <li>・小刀の使い方</li> <li>・のこぎりの使い方</li> <li>・彫刻刀の使い方</li> <li>・電動糸のこぎりの使い方1</li> <li>・電動糸のこぎりの使い方2</li> </ul> </li> </ul> | <p>○参考資料の頁の表記・内容 p 1 0 7<br/>【版画の種類・手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凹版方法と作品紹介<br/>写真1 イラスト1</li> <li>・凸版方法と作品紹介<br/>写真1 イラスト1</li> <li>・平版方法と作品紹介<br/>写真1 イラスト1</li> <li>・孔版方法と作品紹介<br/>写真1 イラスト1</li> <li>○ QRコード：紹介作品の所蔵美術館のリンク紹介</li> </ul>  |

【美術】 聴覚障害

|    |  |   |
|----|--|---|
| 光村 | <p>木と親しむ暮らし<br/>身の回りの木で作られたもののよさや特徴を生かした道具制作の紹介 p 54～p 55</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品の紹介の仕方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞と表現で区分</li> <li>・鑑賞：作家の作品紹介 写真 7 か所</li> <li>・表現：生徒作品・言葉の紹介 写真 12</li> </ul> </li> <li>○ 予備知識の紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バターナイフの作り方手順 写真 3</li> </ul> </li> <li>○ QRコード：無</li> </ul> | <p>【第1学年】版であらわす楽しさ<br/>版画作品の紹介，版の表現のよさや美しさを紹介 p 18～19</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品の紹介の仕方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞で紹介</li> <li>・作家の作品写真 3</li> <li>・生徒の作品 写真 2 か</li> </ul> </li> <li>※内 p 19 全面に紙質を変えて紹介</li> <li>○ 予備知識の紹介：無</li> </ul>   |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参考資料の頁の表記・内容 p 7 2～7 3</li> </ul> <p>【道具の使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小刀・のこぎりの使い方 写真 4</li> <li>・電動のこぎりの使い方 写真 5</li> <li>・彫刻刀の彫り方 写真 6</li> <li>・やすりの使い方 写真 5</li> <li>○ QRコード：用具の使い方（動画）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参考資料の頁の表記・内容 p 64～65</li> </ul> <p>【版画の種類・手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凸版の紹介 写真 6</li> <li>・凹版の紹介 写真 3</li> <li>・孔版の紹介 写真 1</li> <li>○ QRコード：彫刻刀の使い方（動画） <ul style="list-style-type: none"> <li>・彫刻刀の種類・彫り方 写真 9</li> <li>・一版多色木版画の手順 写真 8</li> <li>・単色木版画の手順 写真 8</li> </ul> </li> </ul> |
| 日文 | <p>暮らしの中の木の工芸<br/>暮らしの中で使う木の道具のよさや特徴を紹介 p 50～p 51</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品の紹介の仕方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作家と生徒作品で区分</li> <li>・作家作品紹介 写真 3</li> <li>・生徒作品・言葉の紹介 写真 8</li> </ul> </li> <li>○ 予備知識の紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上げの違いについて 写真 4</li> </ul> </li> <li>○ QRコード：無</li> </ul>                    | <p>【第1学年】刷って出会う楽しさ<br/>版画の特徴を生かした作品や種類の紹介 p 24～p 25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品の紹介の仕方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作家と生徒作品で区分</li> <li>・作家作品・言葉の紹介：写真 1</li> <li>・生徒作品・言葉の紹介：写真 5</li> </ul> </li> <li>○ 予備知識の紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・版の種類について</li> <li>・凹版・凸版・孔版・平版 イラスト 4</li> </ul> </li> </ul>  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参考資料の頁の表記・内容 p 66</li> </ul> <p>【道具の使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切る<br/>のこぎり 写真 4<br/>電動のこぎりの使い方 写真 5</li> <li>・削る<br/>やすり 写真 8<br/>小刀の使い方 写真 3</li> <li>・彫る<br/>彫刻刀の使い方 写真 3</li> <li>QRコード：内容未定</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参考資料の頁の表記・内容 p 64</li> </ul> <p>【版画の種類・手順】<br/>(木版画・コラグラフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木版画<br/>用具 写真 14<br/>彫刻刀の種類 イラスト 10<br/>彫刻刀の持ち方 写真 2<br/>木版作品 写真 1</li> <li>・コラグラフ<br/>手順 写真 4</li> <li>QRコード：内容未定</li> </ul>   |

【美術】 聴覚障害

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 観点    | ● 音や感情を形にするような活動内容が記載されている。       |
| 対象・方法 | 音や感情を形にするような表現活動，鑑賞活動が取り上げられている事例 |

|     | 第1学年  | 第2・3学年  |
|-----|---|---|
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 私にとってつくること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のよさや美しさを感じ取り，作者の意図や表現の工夫にいて考える。</li> </ul> </li> <li>● 形と色彩のメッセージ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や条件などをもとに，伝える相手や内容に合った作品を考える。</li> </ul> </li> <li>● ロゴマークで印象づける                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝える目的や機能をもとにロゴタイプやシンボルマークを考える。</li> </ul> </li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分と向き合う                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身と向き合うことから表現の構想を練る。</li> </ul> </li> <li>● 想像の世界を表す                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・想像を広げ，思いついた世界を表現する作品の構想を練る。</li> </ul> </li> <li>● 形の色彩が織りなすイメージ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の中を深く見つめ，感じ取ったり考えたりしたことから表現の構想を練る。</li> </ul> </li> <li>● 形を研ぎ澄ませて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩を単純化，抽象化しながら表現の構想を練る。</li> </ul> </li> <li>● ポスターで伝える                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい内容を単純化，抽象化しながら表現する。</li> </ul> </li> </ul>   |
| 光村  | <p>【第1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 絵から物語をつむぐ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・描かれている人物や状況から，自分なりの物語を想像する。</li> </ul> </li> <li>● 見えないものをあらわす                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いたときの気持ちや言葉から受け取る印象から発想を広げ，形や色を工夫して描く。</li> </ul> </li> <li>● 気持ちを伝えるデザイン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな気持ちを伝えるかをもとに発想を広げ工夫しデザインする。</li> </ul> </li> </ul> | <p>【第2・3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風景に思いを重ねて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者がどのような思いを重ねて風景を描いたのか感じ取る。</li> </ul> </li> <li>● 形と色の挑戦                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感情や思いから発想を広げ，形と色を工夫して表現する。</li> </ul> </li> <li>● 今の自分，これからの自分                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者が描いた自画像を鑑賞し，作者の思いや表現の工夫を感じ取る。</li> </ul> </li> <li>● メッセージを伝える                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターを鑑賞しメッセージを組み取ったり，伝えたいことを絵や文字を組み合わせ工夫しデザインする。</li> </ul> </li> </ul>   |
| 日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 絵の中をよく見ると                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・描かれている人の表情から作者の意図や工夫を読み取る。</li> </ul> </li> <li>● 印象に残るシンボルマーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい内容やイメージ，伝える場面をもとにわかりやすさと形や色彩などの工夫を考え，構想を練る。</li> </ul> </li> </ul>  | <p>【上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 心のイメージを形に                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情やイメージをもとに，形や色彩，構成などの効果を考え構想を練ったり，鑑賞したりする。</li> </ul> </li> <li>● その1枚が人を動かす                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい情報やイメージ，伝える場面をもとに形や色彩，写真やイラストレーション，文字による伝達効果を考え，構想を練ったり鑑賞したりする。</li> </ul> </li> </ul> <p>【下】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今を生きる私へ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の内面や顔のイメージをもとに構図や表情などの効果を考え，構想を練ったり鑑賞したりする。</li> </ul> </li> <li>● イメージを追い求めて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情やイメージなどを形に表すことに関心を持つ。</li> </ul> </li> <li>● あの日を忘れない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫，社会における美術の力などについて考え感じ取る。</li> </ul> </li> </ul> |

【美術】 肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。                             |
| 対象・方法 | ○ 第1学年「絵や彫刻など」及び「デザインや工芸など」において情報機器の活用等に関わる内容の事例 |

|         | 題材名                | 事例   | QRコード |
|---------|--------------------|--|-------|
| 開隆堂     | ○ 絵や彫刻で学ぶこと        | ○ 美術館等所蔵先へのリンク、アーティスト紹介を掲載している。                | ○     |
|         | ○ 見ることからの発見        | ○ 教科書掲載以外の作品例、動画、美術館等所蔵先へのリンク、アーティスト紹介を掲載している。 | ○     |
|         | ○ 心ひかれる風景          | ○ 教科書掲載以外の作品例、動画、美術館等所蔵先へのリンク、アーティスト紹介を掲載している。 | ○     |
|         | ○ 写し取る形            | ○ 教科書掲載以外の作品例、動画を掲載している。                       | ○     |
|         | ○ 人の姿・動き           | ○ 教科書掲載以外の作品例、美術館等所蔵先へのリンク、アーティスト紹介を掲載している。    | ○     |
|         | ○ 人の姿・動き           | ○ カメラで作品を撮影する活動を掲載している。                        | ○     |
|         | ○ よみがえる材料          | ○ 教科書掲載以外の作品例、動画、アーティスト紹介を掲載している。              | ○     |
|         | ○ 生命力を感じて          | ○ 教科書掲載以外の作品例、アーティスト紹介を掲載している。                 | ○     |
|         | ○ 伊藤若冲の世界          | ○ 美術館等所蔵先へのリンク、アーティスト紹介を掲載している。                | ○     |
|         | ○ 私にとってつくること       | ○ 美術館等所蔵先へのリンク、アーティスト紹介を掲載している。                | ○     |
|         | ○ 形と色彩のメッセージ       | ○ 教科書掲載以外の作品例を掲載している。                          | ○     |
|         | ○ 形と色彩のメッセージ       | ○ 着彩したものをスキャナで読み込み、パソコンで加工する活動を掲載している。         | ○     |
|         | ○ 模様のデザイン          | ○ 教科書掲載以外の作品例、アーティスト紹介を掲載している。                 | ○     |
|         | ○ ロゴマークで印象づける      | ○ 教科書掲載以外の作品例、美術館等所蔵先へのリンクを掲載している。             | ○     |
|         | ○ 機能と美しさの調和        | ○ 美術館等所蔵先へのリンクを掲載している。                         | ○     |
|         | ○ 紙でつくる            | ○ 教科書掲載以外の作品例、美術館等所蔵先へのリンクを掲載している。             | ○     |
|         | ○ 焼き物をつくる          | ○ 教科書掲載以外の作品例、動画、美術館等所蔵先へのリンク、アーティスト紹介を掲載している。 | ○     |
|         | ○ 木を暮らしに生かす        | ○ 教科書掲載以外の作品例、動画を掲載している。                       | ○     |
| ○ 祭りの造形 | ○ アーティスト紹介を掲載している。 | ○  |       |

【美術】 肢体不自由・病弱

|    |                                       |  |                       |
|----|---------------------------------------|--|-----------------------|
| 光村 | <input type="radio"/> 見つめ、感じ取り、描く     | <input type="radio"/> 教科書掲載作品を掲載している。                          | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 見つめ、感じ取り、描く     | <input type="radio"/> 動画を掲載している。                               | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 自然の形や色を見つめて     | <input type="radio"/> 動画を掲載している。                               | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 自然の形や色を見つめて     | <input type="radio"/> 教科書掲載作品と教科書掲載作品以外を掲載している。P12のQRコードに含まれる。 | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 心ひかれるこの風景       | <input type="radio"/> タブレット等で気になった風景を撮影する活動が掲載されている。           |                       |
|    | <input type="radio"/> 心ひかれるこの風景       | <input type="radio"/> 動画を掲載している。                               | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 心ひかれるこの風景       | <input type="radio"/> 教科書掲載作品と教科書掲載作品以外を掲載している。                | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 風神雷神—受け継がれる日本の美 | <input type="radio"/> 音声ガイドを掲載している。                            | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 生活をいろどる文様       | <input type="radio"/> デジタルカメラ等で身の回りの美しいものを記録する活動を掲載している。       |                       |
|    | <input type="radio"/> 生活をいろどる文様       | <input type="radio"/> 教科書掲載作品と教科書掲載作品以外を掲載している。                | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 文字で楽しく伝える       | <input type="radio"/> 教科書掲載作品を掲載している。                          | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 印象に残るシンボルマーク    | <input type="radio"/> 教科書掲載作品を掲載している。P44のQRコードに含まれる。           | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 気持ちを伝えるデザイン     | <input type="radio"/> 教科書掲載作品を掲載している。P44のQRコードに含まれる。           | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 生活の中の焼き物        | <input type="radio"/> 教科書掲載作品を掲載している。                          | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 木と親しむ暮らし        | <input type="radio"/> 教科書掲載作品と教科書掲載作品以外を掲載している。                | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 世界の仮面と出会う       | <input type="radio"/> 教科書掲載作品と教科書掲載作品以外を掲載している。                | <input type="radio"/> |
| 日文 | <input type="radio"/> じっくり見ると見えてくる    | <input type="radio"/> 教科書掲載作品を掲載している。                          | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> じっくり見ると見えてくる    | <input type="radio"/> 教科書掲載作品を掲載している。                          | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> なぜか気になる情景       | <input type="radio"/> デジタルカメラを使って校内や通学路等を撮影する活動が掲載されている。       |                       |
|    | <input type="radio"/> 見方や感じ方を広げよう     | <input type="radio"/> デジタルカメラで身の回りの様子を撮影する活動が掲載されている。          |                       |
|    | <input type="radio"/> 見方や感じ方を広げよう     | <input type="radio"/> タブレット端末を使って意見を交流する活動が掲載されている。            |                       |
|    | <input type="radio"/> 屏風、美のしかけ        | <input type="radio"/> 動画を掲載している。                               | <input type="radio"/> |
|    | <input type="radio"/> 屏風、美のしかけ        | <input type="radio"/> 動画を掲載している。                               | <input type="radio"/> |

【美術】 肢体不自由・病弱

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ● 身体表現及び屋外での活動を含む内容がある。                       |
| 対象・方法 | 第1学年「絵や彫刻など」及び「デザインや工芸など」において身体表現及び移動が必要な活動事例 |

|     | 題材名   | 事例  |
|-----|---|---|
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 心ひかれる風景</li> <li>● 人の姿・動き</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校や通学路の身近な風景, 道ばたの木々や草花等を観察する活動を掲載している。</li> <li>● 友だちにポーズをとってもらい, 体全体の骨格や量感をとらえる活動を掲載している。</li> </ul>   |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人のしぐさを捉える</li> <li>● 心ひかれるこの風景</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 友だちにポーズをとってもらい, 人物クロッキーをする活動を掲載している。</li> <li>● 校内や屋外で木々や植物等の気になった風景を撮影したりスケッチしたりする活動を掲載している。</li> </ul>   |
| 日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● なぜか気になる情景</li> <li>● 人間っておもしろい</li> <li>● 見方や感じ方を広げよう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 校内や通学路等で見つけたものをカメラで記録したりスケッチしたりする活動を掲載している。</li> <li>● 家族のまねを友だちに頼んで, 様々なしぐさや表情をしてもらい, 人体の動きをとらえる活動を掲載している。</li> <li>● 屋外で自然の風景等を観察する活動を掲載している。</li> </ul> |



【美術】 病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● アレルギー等病気に対する配慮が必要な内容がある。                             |
| 対象・方法 | 第1学年「絵や彫刻など」及び「デザインや工芸など」において、手で直接材料等に触れる活動や、屋外で活動する事例 |

|     | 題材名   | 事例  |
|-----|---|---|
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 心ひかれる風景</li> <li>● 写し取る形</li> <li>● 人の姿・動き</li> <li>● よみがえる材料</li> <li>● 生命力を感じて</li> <li>● 焼き物をつくる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校や通学路の身近な風景，道ばたの木々や草花等を観察する活動を掲載している。</li> <li>● 色々な材料を接着剤で貼り付ける，コログラフの技法を掲載している。</li> <li>● 針金で人体を作り骨格や動きを理解する活動を掲載している。</li> <li>● 金属等を組み合わせた表現を掲載している。</li> <li>● 紙粘土や木材等を使った表現を掲載している。</li> <li>● 陶土を使った表現を掲載している。</li> </ul>               |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然の形や色を見つめて</li> <li>● 人のしぐさを捉える</li> <li>● 心ひかれるこの風景</li> <li>● 材料に命を吹き込む</li> <li>● 生活の中の焼き物</li> <li>● 木と親しむ暮らし</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 樹脂粘土等を使った表現を掲載している。</li> <li>● 粘土を使った表現を掲載している。</li> <li>● 校内や屋外で木々や植物等の気になった風景を撮影したりスケッチしたりする活動を掲載している。</li> <li>● 木材や金属等を使った表現を掲載している。</li> <li>● 陶土を使った表現を掲載している。</li> <li>● 木材等を使った表現を掲載している。</li> </ul>                                     |
| 日文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● じっくり見ると見えてくる</li> <li>● なぜか気になる情景</li> <li>● 材料に命を吹き込む</li> <li>● 見方や感じ方を広げよう</li> <li>● 人の暮らしを豊かに</li> <li>● 暮らしの中の木の工芸</li> <li>● 暮らしに息づく土の造形</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 加工粘土等を使った表現を掲載している。</li> <li>● 校内や通学路等で見つけたものをカメラで記録したりスケッチしたりする活動を掲載している。</li> <li>● 加工粘土や金属等を使った表現を掲載している。</li> <li>● 屋外で自然の風景等を観察する活動を掲載している。</li> <li>● 陶土を使った表現を掲載している。</li> <li>● 木材等を使った表現を掲載している。</li> <li>● 陶土を使った表現を掲載している。</li> </ul> |

# 保健体育

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|---|-----------------|--------------|
| 2<br>東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生徒の学びを保障するため、教育漢字以外の常用漢字には、全てふり仮名を付しました。</li> <li>配色及びデザインについては、色覚問題の研究者に校閲を依頼し、ユニバーサルデザインの観点から全ページの検証を行いました。</li> <li>学習の流れが一目でわかるレイアウトを心がけ、学習の見通しをもてるようにしました。</li> <li>「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」の趣旨に則り、教科書に代えて使用できる拡大教科書を発行します。</li> </ul> | A B<br>・<br>206 | 449          |
| 4<br>大日本  | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚のちがいによって学習に支障が出ることがないようにカラーユニバーサルデザインをふまえた色遣いを工夫し、誰にでもわかりやすい紙面にしました。</li> <li>専門家の監修のもと、レイアウトや文章の改行位置を工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、できるだけ読みやすくなるようにしました。</li> </ul>   | B 5<br>・<br>196 | 496          |
| 50<br>大修館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>見やすさ、読みやすさを高めるために、ユニバーサルデザインフォントを使用しました。</li> <li>専門家に編集協力を依頼し、特別支援教育に配慮した紙面にしました。</li> <li>教科書に代えて使用できる拡大教科書を発行します。</li> </ul>  | A B<br>・<br>198 | 503          |
| 224<br>学研 | <ul style="list-style-type: none"> <li>書体や色、表現・レイアウトについて、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮しています。</li> <li>「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律（通称：教科書バリアフリー法）」の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行します。</li> <li>学校教育法等の改正に沿い、デジタル教科書を発行します。</li> </ul>   | A B<br>・<br>206 | 547          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【保健体育】 聴覚障害

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。                |
| 対象・方法 | 「健康な生活と疾病の予防」において、情報機器の活用等が為されている事例 |

|     | 第1学年<br>「健康な生活と<br>疾病の予防」  | 第2学年<br>「健康な生活と疾病の予防」   | 第3学年<br>「健康な生活と疾病の予防」   |
|-----|--|---|---|
| 東書  | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する動画や他教科の教科書紙面（リンク）、シミュレーションができる教材を使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の成り立ち【動画】</li> <li>・食生活と栄養（家庭）【他教科リンク】</li> <li>・消費カロリーシミュレーション【シミュレーション】</li> <li>・睡眠と健康【動画】</li> </ul> | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する【動画】や【他教科の教科書紙面（リンク）】、【シミュレーションができる教材】を使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物依存症治療 医師インタビュー【動画】</li> <li>・薬物乱用体験者インタビュー【動画】</li> </ul> | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する（動画）や（他教科の教科書紙面（リンク））、【シミュレーションができる教材】を使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病原体の感染と発病【動画】</li> <li>・感染症の予防【動画】</li> <li>・食品の保存と食中毒の防止（家庭）【他教科リンク】</li> <li>・性感染症の予防【動画】</li> <li>・医薬品の利用【動画】</li> <li>・保健・医療機関の利用【動画】</li> <li>・社会保障の仕組み（社会 公民）【他教科リンク】</li> <li>・手洗いの方法【動画】</li> </ul> |
| 大日本 | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する動画やまとめの問題、ウェブサイトを使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスのよい食事（農林水産省 子どもの食育）【ウェブサイト】</li> <li>・健康な生活と病気の予防【まとめの問題】</li> </ul>   | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する動画やまとめの問題、ウェブサイトを使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と病気の予防【まとめの問題】</li> </ul>  | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する動画やまとめの問題、ウェブサイトを使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OTC医薬品の有効利用（日本OTC医薬品協会 上手なセルフメディケーション）【ウェブサイト】</li> <li>・健康な生活と病気の予防【まとめの問題】</li> </ul>   |

【保健体育】 聴覚障害

|            |   |   |  |
|------------|---|---|--|
| <p>大修館</p> | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連するウェブサイト内の動画や、ウェブサイトを使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中の身体活動（厚生労働省 e-ヘルスネット）【動画（字幕・文字情報あり）】</li> </ul>   | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連するウェブサイト内の動画やウェブサイトを使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命をのぼそう！（スマート・ライフ・プロジェクト）【ウェブサイト】</li> <li>・がん予防等（国立がん研究センターがん情報サービス）【ウェブサイト】</li> <li>・たばこの基礎知識等（厚生労働省 e-ヘルスネット）【ウェブサイト】</li> <li>・アルコールによる健康障害等（厚生労働省 e-ヘルスネット）【ウェブサイト】</li> <li>・薬物乱用防止の基礎知識Q&amp;A等（麻薬・覚せい剤乱用防止センター薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」ホームページ）【ウェブサイト】</li> </ul>  | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連するウェブサイト内の動画やウェブサイトを使用して学習することができる。（URLあり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症情報等（国立感染症研究所感染症疫学センター）【ウェブサイト】</li> <li>・性の健康等（性の健康医学財団）【ウェブサイト】</li> <li>・エイズの知識Q&amp;A等（エイズ予防情報ネット）【ウェブサイト】</li> <li>・小・中学生のためのくすり情報（日本製薬工業協会）【ウェブサイト（教材等あり）】</li> </ul>   |
| <p>学研</p>  | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する【動画】や【ウェブサイト】を使用して学習することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化について（農林水産省 食文化）【ウェブサイト】</li> <li>・アレルギーについて（日本アレルギー学会 アレルギーポータル）【ウェブサイト】</li> <li>・臓器提供について（日本臓器移植ネットワーク）【ウェブサイト】</li> </ul> | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する【動画】や【ウェブサイト】を使用して学習することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病を知ろう！（スマート・ライフ・プロジェクト）【ウェブサイト】</li> <li>・口の病気、ケア等について（日本歯科医師会 歯とお口のことなら何でもわかる テーマパーク8020）【ウェブサイト】</li> <li>・がん予防等について（国立がん研究センターがん情報サービス）【ウェブサイト】</li> <li>・たばこのリスク（厚生労働省 最新たばこ情報）【ウェブサイト】</li> <li>・20歳未満の飲酒の危険性等（ビール酒造組合 STOP! 20歳未満飲酒）【ウェブサイト】</li> <li>・薬物乱用防止の基礎知識Q&amp;A等（麻薬・覚せい剤乱用防止センター薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」ホームページ）【ウェブサイト】</li> <li>・喫煙や飲酒をすすめられたとき【動画】</li> <li>・アンチ・ドーピング等について（日本アンチ・ドーピング機構）【ウェブサイト】</li> </ul> | <p>○ 教科書紙面にある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、学習内容に関連する【動画】や【ウェブサイト】を使用して学習することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ等について（厚生労働省 インフルエンザ 総合ページ）【ウェブサイト】</li> <li>・結核等について（厚生労働省 結核BCGワクチン）【ウェブサイト】</li> <li>・食中毒等について（厚生労働省 食中毒）【ウェブサイト】</li> <li>・HIV感染症・エイズ等について（エイズ予防財団）【ウェブサイト】</li> <li>・エイズの知識Q&amp;A等（エイズ予防情報ネット）【ウェブサイト】</li> <li>・健康寿命をのぼそう！（スマート・ライフ・プロジェクト）【ウェブサイト】</li> <li>・医療機能情報提供制度（医療情報ネット）について（厚生労働省 医療機能情報提供制度 医療情報ネット）【ウェブサイト】</li> <li>・感染症情報等（国立感染症研究所感染症疫学センター）【ウェブサイト】</li> <li>・国際協力等について（国際協力機構 JICA）【ウェブサイト】</li> </ul> |

【保健体育】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ○ 実習の方法等が写真やイラスト，情報機器を活用した動画とともに説明された内容がある。  |
| 対象・方法 | 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」の「ストレスへの対処（リラクゼーションの方法）」及び第2学年「傷害の防止」の「心肺蘇生法」の実習の方法等が写真やイラスト，情報機器を活用した動画を用いて為されている事例（巻頭・巻末資料は含まない）。 |

|     | 第1学年<br>心身の機能の発達と心の健康<br>「ストレスへの対処<br>(リラクゼーションの方法)」  | 第2学年傷害の防止「心肺蘇生法」  |
|-----|---|---|
| 東書  | <p>【イラスト3 動画3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ストレッチの様子【イラスト】</li> <li>○ 腹式呼吸の方法【イラスト】</li> <li>○ 脱力の様子【イラスト】</li> <li>○ ストレッチの方法【動画】</li> <li>○ 腹式呼吸の方法【動画】</li> <li>○ 脱力の方法【動画】</li> </ul> | <p>【イラスト4 写真6 動画2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 回復体位【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫する場所【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の手の置き方【写真】【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫の仕方【写真】</li> <li>○ 気道の確保の様子【写真】</li> <li>○ 気道の確保の際，意識を失っているときと顎を引き上げたときの様子【イラスト】</li> <li>○ 人工呼吸の様子【写真】</li> <li>○ 人工呼吸補助具【写真】</li> <li>○ AED及びAED使用の様子【写真】</li> <li>○ 心肺蘇生法の手順（流れ），方法及びAEDの使い方【動画（ポイント等の文字情報あり）】</li> <li>○ 回復体位の方法【動画（ポイント等の文字情報あり）】</li> </ul>   |
| 大日本 | <p>【イラスト2 動画1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 腹式呼吸の方法【イラスト】</li> <li>○ 漸進的筋弛緩法（拳，腕，背中，肩，足）【イラスト】</li> <li>○ 腹式呼吸の方法【動画（字幕・文字情報あり，音声なし）】</li> </ul>  | <p>【イラスト9 写真11 動画1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 回復体位【イラスト】</li> <li>○ 傷病者を発見した様子【写真】</li> <li>○ 周囲の安全確認の様子【写真】</li> <li>○ 反応の確認の様子【写真】</li> <li>○ 協力者を求める様子【写真】</li> <li>○ 呼吸を観察する様子【写真】</li> <li>○ 胸骨圧迫の様子【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫位置【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の手の当て方【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の手の組み方と力を加える部位【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫と圧迫解除【イラスト】</li> <li>○ 気道確保の様子【写真】</li> <li>○ 気道がふさがれている状態と気道が開いた状態【イラスト】</li> <li>○ 人工呼吸の様子【写真】</li> <li>○ 感染防止器具【写真】</li> <li>○ AED及びAEDを活用する様子【写真】</li> <li>○ AEDの使い方【写真】</li> <li>○ 電極パッドの貼り方【イラスト】</li> <li>○ 救急隊に引き継ぐまで続ける様子【写真】</li> <li>○ 医療機関【イラスト】</li> <li>○ 心肺蘇生法の手順（流れ），方法及びAEDの使い方【動画（字幕・文字情報あり，音声なし）】</li> </ul> |

【保健体育】 聴覚障害

|            |  |  |
|------------|--|--|
| <p>大修館</p> | <p>【イラスト4 動画1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 腹式呼吸の方法【イラスト】</li> <li>○ 背骨ほぐしの運動（胸まる運動、猫の背運動）【イラスト】</li> <li>○ によるぶら体操（寝による、腕ぶら）【イラスト】</li> <li>○ 筋肉をリラックスさせる方法（脚、腕、顔、全身）【イラスト】</li> <li>○ ストレッチや呼吸法の方法等（厚生労働省 ポジシェア 疲れやストレスと前向きにつきあうコツ）【動画】</li> </ul> | <p>【イラスト4 写真5 動画1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 回復体位【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫する場所【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の手の置き方【写真】【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫の仕方【写真】</li> <li>○ 気道の確保の様子【写真】</li> <li>○ 意識がなく気道がふさがっている状態と気道を確保した状態【イラスト】</li> <li>○ 人工呼吸の様子【写真】</li> <li>○ AED及びAEDの操作の様子【写真】</li> <li>○ 心肺蘇生法の手順（流れ）、方法及びAEDの使い方（日本赤十字社 動画で見る一次救命処置）【動画（字幕・文字情報あり）】</li> </ul>  |
| <p>学研</p>  | <p>【イラスト2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 腹式呼吸の方法【イラスト】</li> <li>○ 筋肉を意識したリラクゼーション（漸進的筋弛緩法）の方法（両手、腕、背中、肩、首、顔、腹部、足）【イラスト】</li> </ul>  | <p>【イラスト5 写真9 動画1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 回復体位【イラスト】</li> <li>○ 反応の確認の様子【写真】</li> <li>○ 助けを求め、119番通報とAEDを依頼する様子【写真】</li> <li>○ 呼吸の観察の様子【写真】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫姿勢【写真】</li> <li>○ 胸骨圧迫の圧迫位置【イラスト】</li> <li>○ 胸骨圧迫の手の置き方【写真】【イラスト】</li> <li>○ 気道確保の様子【写真】【イラスト】</li> <li>○ 人工呼吸の様子【写真】</li> <li>○ 感染防止器具【写真】</li> <li>○ 胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせる場合の様子【イラスト】</li> <li>○ AED及びAEDを用いた手当の様子【写真】</li> <li>○ 心肺蘇生法の手順（流れ）、方法及びAEDの使い方【動画（一部文字情報あり）】</li> </ul> |

【保健体育】 肢体不自由・病弱

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関する内容がある。 |
| 対象・方法 | 情報機器の活用について掲載している事例  |

|     | 保健編 1章 2章 3章   | 保健編 4章 5章 6章  |
|-----|--|---|
| 東書  | <p>第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 健康の成り立ちと疾病の発生要因               <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物欄において、歩数計について、現在では、携帯電話やスマートフォン、腕時計において、歩数だけでなく、エネルギー消費量や心拍数など、健康に関する様々な情報が計測されること</li> </ul> </li> <li>○ 4 休養・睡眠と健康               <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料5において、情報機器などの使用が健康に及ぼす影響</li> </ul> </li> </ul> <p>第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4 異性の尊重と性情報への対処               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「活用する」において、スマートフォン等のコミュニティサイトの活用における問題点</li> </ul> </li> <li>○ 章末資料 5 インターネットによるコミュニケーションとトラブル               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット活用における特性と、諸問題が生じる可能性</li> </ul> </li> </ul> <p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6 自然災害による傷害の防止               <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時において、正しい情報を入手するための情報機器の適切な活用</li> </ul> </li> <li>○ 章末資料 4 さまざまな自然災害の危険と安全な避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報の入手方法としての情報機器</li> </ul> </li> <li>○ 章末資料 5 地域安全マップの作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全マップの作成におけるデジタルカメラの活用</li> </ul> </li> </ul> | <p>第4章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章末資料 3 インターネットと依存症               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの活用において、依存症になる危険があること</li> <li>・使用時間や方法について見直すこと</li> </ul> </li> </ul> <p>第5章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 環境への適応能力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症、低体温症等を回避するための気象情報（環境省熱中症予防情報サイト）の適切な利用の有効性</li> </ul> </li> <li>○ 章末資料 2 海外旅行と感染症               <ul style="list-style-type: none"> <li>・空港や港において、感染症の国内流入予防のためのサーモグラフの活用</li> </ul> </li> </ul>  |
| 大日本 | <p>第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4 休養・睡眠と健康               <ul style="list-style-type: none"> <li>資料3で、コンピュータなどの使用による健康への影響及び対策</li> </ul> </li> <li>○ 章末資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠と情報機器との関係</li> </ul> </li> <li>○ 学習のまとめ</li> </ul> <p>第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4 思春期の心の変化への対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>資料4において、インターネットを利用して犯罪被害にあう事例と防止策についての記載がある。</li> </ul> </li> <li>○ 学習のまとめ</li> </ul> <p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のまとめ</li> </ul>  | <p>第4章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3 犯罪被害の防止               <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS使用における注意喚起</li> <li>・SNSでの被害の実例</li> </ul> </li> <li>○ 4 自然災害による障害の防止               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる正しい災害情報の入手</li> </ul> </li> <li>○ 学習のまとめ</li> </ul> <p>第5章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章末資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットによるOTC医薬品の購入</li> </ul> </li> <li>○ 学習のまとめ</li> </ul> <p>第6章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 環境への適応能力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症指標計</li> <li>・インターネット、メールによる気象情報の確認</li> </ul> </li> <li>○ 章末資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策としての気象情報・ハザードマップの確認</li> </ul> </li> <li>○ 学習のまとめ</li> </ul> |

【保健体育】 肢体不自由・病弱

|            |   |   |
|------------|---|---|
| <p>大修館</p> | <p>第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4 休養・睡眠と健康             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの長時間使用による体への影響</li> </ul> </li> </ul> <p>第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5 性への関心と行動             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットにおける性情報とその危険性</li> <li>・SNSでの自撮り被害について</li> </ul> </li> <li>○ クローズアップ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話やネットでの相談</li> </ul> </li> </ul> <p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処             <ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこや酒の宣伝媒体としてのインターネット</li> </ul> </li> <li>○ 特集資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンの使用について</li> </ul> </li> </ul>   | <p>第4章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 交通事故の実態と原因             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ながらスマホ」による事故の事例</li> </ul> </li> <li>○ クローズアップ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上での犯罪の特徴と、危険を回避するための知識を身に付ける必要性</li> </ul> </li> <li>○ 4 自然災害によるけがの防止             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットなどによる自然災害に関する正確な情報の把握</li> </ul> </li> <li>○ 特集資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震災害から命を守る行動</li> <li>・SNSを利用した家族との連絡</li> <li>・気象災害から命を守る行動</li> <li>・ハザードマップによる自然災害の被害の範囲や程度、避難の道筋、避難場所の確認</li> </ul> </li> </ul> <p>第5章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6 保健機関とその利用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる保健サービスの閲覧</li> </ul> </li> </ul> <p>第6章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 気象情報の適切な利用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯情報端末やインターネットサイトによる気象情報の入手</li> </ul> </li> <li>○ 3 快適で能率のよい環境             <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンやスマートフォンの画面から出るブルーライトによる健康への影響</li> </ul> </li> <li>○ 7 災害と環境             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時のテレビ・ラジオ・携帯電話(SNS)などによる情報を入手</li> </ul> </li> </ul>     |
| <p>学研</p>  | <p>第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康な生活と病気の予防①             <ul style="list-style-type: none"> <li>・体重などを管理するアプリと消費エネルギーを測定する機器</li> </ul> </li> <li>○ 4 休養・睡眠と健康             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータやスマートフォンの作業による身体への影響、ドライアイ等の予防法について</li> </ul> </li> </ul> <p>第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心身の発達と心の健康             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールやSNSで悩みなどを相談できるサイト</li> </ul> </li> </ul> <p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康な生活と病気の予防②             <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん情報についての正しい知識を得るための国立がん研究センターのウェブサイト</li> </ul> </li> <li>○ 6 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物販売におけるインターネットを用いた密売に関する注意喚起</li> </ul> </li> <li>○ 健康な生活と病気の予防③             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの過度の使用による健康問題</li> </ul> </li> </ul> | <p>第4章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 傷害の防止             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の被害を抑えるためのハザードマップや気象レーダーの活用</li> </ul> </li> <li>○ 4 犯罪被害の防止             <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県警の防犯情報</li> </ul> </li> <li>○ 5 自然災害に備えて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる災害情報の把握</li> </ul> </li> <li>○ 自然災害から身を守るために             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップによる連絡場所や避難場所、危険場所の確認</li> </ul> </li> <li>○ 探求しようよ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを通じた犯罪被害防止</li> </ul> </li> </ul> <p>第5章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康な生活と病気の予防③             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所のウェブサイトの紹介</li> </ul> </li> <li>○ 4 医療機関の利用と医薬品の使用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・お薬手帳のアプリ化</li> </ul> </li> </ul> <p>第6章 健康と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境省大気汚染物質広域監視システムのウェブサイト</li> <li>○ 1 環境の変化と適応能力             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンの天気予報、熱中症予防情報サイト(環境省)</li> </ul> </li> <li>○ 2 活動に適した環境             <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンを使用するときの注意点について</li> </ul> </li> </ul> |



【保健体育】 肢体不自由・病弱

|              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| <b>観点</b>    | ○ 肢体不自由があってもスポーツに親しめる内容がある。      |
| <b>対象・方法</b> | 体育理論全般及び特集等における「見る、知るスポーツ」に関する内容 |

|            | 体育編 1章 特集(口絵)等  | 体育編 2章 3章  |
|------------|---|--|
| <b>東書</b>  | <p>第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 運動やスポーツへの多様な関わり方<br/>運動やスポーツは、「すること」のほかに、「見ること」「支えること」「知ること」という関わり方があることの記述がある。</li> <li>○ 章末資料<br/>スポーツ観戦</li> </ul>   | <p>第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 運動やスポーツの学び方<br/>・バレーボールでのデータの活用</li> </ul> <p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 国際的なスポーツ大会の役割<br/>・ソーシャルメディアを通じたスポーツ情報の発信や交流</li> <li>○ 2 人々を結び付けるスポーツ<br/>・障がいの有無を超えて試合を行う様子</li> <li>○ 章末資料<br/>・パラリンピックの経緯</li> </ul>        |
| <b>大日本</b> | <p>第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 運動やスポーツへの多様な関わり方<br/>・「運動やスポーツを見る」と「運動やスポーツを知る」の項目においてそれぞれの記述がある。資料1において、写真の記載がある。</li> <li>○ 章末資料<br/>・運動やスポーツへの関わり方</li> </ul>  | <p>第2章<br/>記載なし。</p> <p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際的なスポーツ大会の文化的な役割<br/>・メディアの発達により、スポーツの魅力が世界中に広がっているという記載がある。</li> <li>○ 人々を結び付けるスポーツ<br/>・スポーツの文化的なはたらき<br/>・スポーツの観戦、車いすダンス大会</li> </ul>   |
| <b>大修館</b> | <p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育理論① 運動やスポーツの多様性<br/>・レース用に改良された車いす</li> <li>○ 2 運動やスポーツへのかかわり方<br/>・スタジアムでの観戦<br/>・タブレットで試合中継をみる)と知る(試合のデータを調べる)こと</li> <li>○ 特集資料<br/>①イモムシラグビー<br/>②車椅子ボールシューティング</li> </ul>   | <p>2年<br/>記載なし。</p> <p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 国際的なスポーツ大会の意義と役割<br/>・メディアの発達による「見るスポーツ」の充実</li> <li>○ 3 人びとを結ぶスポーツ<br/>・ボッチャ</li> </ul>  |
| <b>学研</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 口絵1<br/>・ウィルチェアーラグビー</li> <li>○ 口絵4<br/>・サイバスロン(パワード車椅子レース)</li> <li>○ 口絵6<br/>・札幌オリンピックミュージアム<br/>・オリンピックやパラリンピックの歴史と感動をシミュレーションで体感</li> </ul> <p>第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「保健体育と情報」<br/>・スポーツとデータの関係の深さ、インターネットで結果や記録を調べられること</li> <li>②スポーツを見ること</li> <li>④スポーツを知ること</li> <li>⑤多様な関わり方</li> <li>○ 探求1<br/>・スポーツ観戦</li> <li>○ 探求3<br/>・マラソンシューズ</li> </ul> | <p>第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2 スポーツの学び方<br/>・情報機器を活用した学び方の例</li> </ul> <p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツの魅力を伝える映像とスポーツを見ながら SNS での感動の共有</li> <li>○ 1 スポーツの文化的意義<br/>・スポーツ推進計画の検索</li> <li>○ 2 国際的なスポーツ大会とその役割<br/>・メディアの発達によりスポーツの魅力が広がっていること</li> </ul> |

## 技術・家庭（技術分野）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称 | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について   | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|----------|---|-----------------|--------------|
| 2<br>東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり仮名は、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いています。</li> <li>・基本ページでは、「目標」「始めの活動」「まとめの活動」などを全見開きの同じ位置に配置しています。</li> <li>・キャラクターのせりふは全て文節改行にし、読みやすさに配慮しています。</li> <li>・特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討するとともに、専門家による校閲を受けています。</li> <li>・書体は全てUD フォント（ユニバーサルデザイン書体）を使用し、可読性を高めています。</li> <li>・カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の校閲を受けています。</li> </ul> | A B<br>・<br>306 | 949          |
| 6<br>教図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンスに特別支援学校での実習の事例を掲載しています。</li> </ul>   | A4<br>・<br>302  | 763          |
| 9<br>開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする生徒への配慮として改行のしかたなどに気を配り、言葉の判別がしやすくなるようにしています。</li> </ul>  | A B<br>・<br>302 | 790          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【技術・家庭（技術分野）】 聴覚障害

|              |   |
|--------------|---|
| <b>観点</b>    | ○ 作業の手順及び用具の扱い方が写真やイラストとともに説明された内容がある（巻末資料は含まない）。           |
| <b>対象・方法</b> | 「材料と加工の技術」（木材の加工）及び「生物育成の技術」（作物の栽培）における、作業の手順及び用具の扱い方に関する資料 |

|                | 「材料と加工の技術」 木材の加工  | 「生物育成の技術」 作物の栽培   |
|----------------|---|---|
| <b>東<br/>書</b> | <p>P52, 53 【けがき】 工具・機器 1<br/>           図・写真・・・9 図に説明あり<br/>           QRコード・・・なし<br/>           手順・・・さしがね①～⑤<br/>           項目 作業ポイント・・・1<br/>           項目 安全・・・0</p>                           | <p>P114 【種まき】<br/>           図・写真・・・6 図に説明あり<br/>           QRコード・・・0<br/>           手順・・・なし<br/>           項目 作業ポイント・・・1<br/>           項目 安全・・・0</p>    |
|                | <p>P54, 55, 56 【切断】 工具・機器 2<br/>           図・写真・・・18 図に説明あり<br/>           QRコード・・・なし<br/>           手順・・・のこぎり①～⑥<br/>           項目 作業ポイント・・・1<br/>           項目 安全・・・1</p>                       | <p>P117 【肥料の与え方】<br/>           図・写真・・・2 図に説明あり<br/>           QRコード・・・0<br/>           手順・・・なし<br/>           項目 作業ポイント・・・0<br/>           項目 安全・・・0</p> |
|                | <p>P58, 59 【切削】 工具・機器 3<br/>           図・写真・・・15 図に説明あり<br/>           QRコード・・・なし<br/>           手順・・・なし<br/>           項目 作業ポイント・・・2<br/>           項目 安全・・・2</p>                                | <p>P117 【収穫】<br/>           図・写真・・・3 図に説明あり<br/>           QRコード・・・0<br/>           手順・・・なし<br/>           作業ポイント・・・1<br/>           安全・・・0</p>           |
|                | <p>P60 【穴あけ】 工具・機器 2<br/>           図・写真・・・7 図に説明あり<br/>           QRコード・・・なし<br/>           手順・・・卓上ボール盤①～④<br/>           項目 作業ポイント・・・1<br/>           項目 安全・・・1</p>                             |   |
|                | <p>P62, 63, 64, 65 【組み立て】 工具・機器 1<br/>           図・写真・・・17 図に説明あり<br/>           QRコード・・・なし<br/>           手順・・・なし<br/>           項目 作業ポイント・・・1<br/>           項目 安全・・・2</p>                      |   |
|                | <p>P66 【仕上げ】<br/>           図・写真・・・8 図に説明あり<br/>           QRコード・・・なし<br/>           手順・・・やすり①～③<br/>                             塗装①～③<br/>           項目 作業ポイント・・・1<br/>           項目 安全・・・0</p> |   |

【技術・家庭（技術分野）】 聴覚障害

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 教<br>図 | <p>技術ハンドブック<br/>P2, 3 【けがき】 工具・機器 1<br/>図・写真・・・7 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・さしがね①～③<br/>項目 作業ポイント・・・2<br/>項目 安全・・・0</p>      | <p>技術ハンドブック<br/>P22 【種まき】<br/>図・写真・・・3 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・なし<br/>項目 作業ポイント・・・0<br/>項目 安全・・・0</p> |
|        | <p>P4, 5 【切断】 工具・機器 2<br/>図・写真・・・12 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・のこぎり①～④<br/>項目 作業ポイント・・・1<br/>項目 安全・・・2</p>                   | <p>P20 【肥料の与え方】<br/>図・写真・・・4 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・なし<br/>項目 作業ポイント・・・0<br/>項目 安全・・・0</p>           |
|        | <p>P6, 7 【切削】 工具・機器 5<br/>図・写真・・・18 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・なし<br/>作業ポイント・・・0<br/>安全・・・3</p>                              | <p>P23 【収穫】<br/>図・写真・・・2 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・なし<br/>作業ポイント・・・0<br/>安全・・・1</p>                     |
|        | <p>P8, 9 【穴あけ】 工具・機器 3<br/>図・写真・・・11 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・卓上ボール盤①～③<br/>きり①～③<br/>ドリル①～②<br/>作業ポイント・・・0<br/>安全・・・2</p> |   |
|        | <p>P10, 11 【組み立て】 工具・機器 3<br/>図・写真・・・9 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・ねじまわし①～②<br/>作業ポイント・・・2<br/>安全・・・0</p>                     |   |
|        | <p>P12, 13 【仕上げ】<br/>図・写真・・・7 図に説明あり<br/>QRコード・・・1<br/>手順・・・紙やすり①～②<br/>作業ポイント・・・1<br/>安全・・・0</p>                               |   |

【技術・家庭（技術分野）】 聴覚障害

|             |   |   |
|-------------|---|---|
| 開<br>隆<br>堂 | <p>P68, 69 【けがき】 工具・機器 1<br/>         図・写真・・・11 図に説明あり<br/>         QRコード・・・4 動画あり<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         項目 作業ポイント・・・1<br/>         項目 安全・・・・・・・・0</p> | <p>P104 【種まき】<br/>         図・写真・・・3 図に説明あり<br/>         QRコード・・・0<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         項目 作業ポイント・・・0<br/>         項目 安全・・・・・・・・0</p>    |
|             | <p>P70, 71 【切断】 工具・機器 2<br/>         図・写真・・・11 図に説明あり<br/>         QRコード・・・6 動画あり<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         項目 作業ポイント・・・1<br/>         項目 安全・・・・・・・・1</p>  | <p>P105 【肥料の与え方】<br/>         図・写真・・・3 図に説明あり<br/>         QRコード・・・0<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         項目 作業ポイント・・・0<br/>         項目 安全・・・・・・・・0</p> |
|             | <p>P72, 73, 74 【切削】 工具・機器 5<br/>         図・写真・・・16 図に説明あり<br/>         QRコード・・・11 動画あり<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         作業ポイント・・・2<br/>         安全・・・・・・・・2</p>   | <p>P106 【収穫】<br/>         図・写真・・・1 図に説明あり<br/>         QRコード・・・0<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         作業ポイント・・・0<br/>         安全・・・・・・・・0</p>           |
|             | <p>P75, 77 【穴あけ】 工具・機器 2<br/>         図・写真・・・3 図に説明あり<br/>         QRコード・・・2 動画あり<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         作業ポイント・・・2<br/>         安全・・・・・・・・1</p>        |   |
|             | <p>P77, 78 【組み立て】 工具・機器 2<br/>         図・写真・・・10 枚 図に説明あり<br/>         QRコード・・・4 動画あり<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         作業ポイント・・・3<br/>         安全・・・・・・・・0</p>    |   |
|             | <p>P79 【仕上げ】<br/>         図・写真・・・3 枚 図に説明あり<br/>         QRコード・・・4 動画あり<br/>         手順・・・・・・・・なし<br/>         作業ポイント・・・2<br/>         安全・・・・・・・・0</p>                  |   |

【技術・家庭（技術分野）】 聴覚障害

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 観点    | ● 学習のめあてが長文（10文節以上）で示されている。 |
| 対象・方法 | 「材料と加工の技術」の単元のめあてとその文節数     |

| 「材料と加工の技術」単元のめあて・目標 |  |
|---------------------|--|
| 東<br>書              | 【10文節以上のめあて 1/19】  |
|                     | 1章1 ・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工法について理解す（9文節）<br>・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術を調べ、まとめることができる。（9文節） |
|                     | 1章2 ・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解する。（8文節）<br>・木材、金属、プラスチックなどの特性を調べ、まとめることができる。（7文節）     |
|                     | 1章3 ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。（6文節）<br>・工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品を製作することができる。（8文節）                   |
|                     | 1章4 ・構造と部材を丈夫にする方法について理解する。（5文節）<br>・身の回りの製品を丈夫にするための方法を調べ、まとめることができる。（7文節）                    |
|                     | 1章5 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気付く。（7文節）<br>・材料と加工の技術に込められた工夫点について考えることができる。（7文節）         |
|                     | 2章1 ・身近な生活から問題を発見し、課題を設定することができる。（7文節）   |
|                     | 2章2 ・製作に必要な図の描き方を理解し、図に表すことができる。（8文節）<br>・材料の選択や成形の方法などを構想して設計を具体化することができる。（8文節）               |
|                     | 2章3 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる。（6文節）   |
|                     | 2章4 ・安全・適切な製作や検査・修正ができる。（6文節）<br>・製作の過程について考えることができる。（4文節）                                     |
|                     | 2章5 ・製作の過程や問題解決や結果を評価し、改善及び修正する方法を考えることができる。（11文節）   |
|                     | 3章1 ・材料と加工の技術の最適化について考えることができる。（6文節）   |
|                     | 3章2 ・これからの材料と加工の技術について考えることができる。（6文節）  |

|             |  |
|-------------|--|
| 教<br>図      | <p>【10 文節以上のめあて 2/17】</p> <p>1 章 1 ・生活や社会で、材料が利用されている例を見つける。(6 文節)<br/>         ・加工法や道具の例を見つける。(4 文節)</p> <p>1 章 2 ・材料の特性や、加工法の特性を知る。(5 文節)<br/>         ・材料の特性に合わせて加工する技術を選ぶことを知る。(7 文節)</p> <p>1 章 3 ・目的や条件などに合わせて、材料や加工法がどのように工夫されてきたのか見つけ、考<br/>         える。(10 文節)</p> <p>1 章 4 ・安全に実習するために必要なことを知る。</p> <p>1 章 5 ・材料の特性に合わせた加工法と手順を知る。(6 文節)<br/>         ・材料の特性や加工の目的に合わせて、正確に加工できる。(7 文節)</p> <p>1 章 6 ・1 章の学習をふり返り、学んだことをまとめる。(5 文節)</p> <p>2 章 1 ・設計の流れに沿って、問題を解決する手順を知る。(7 文節)<br/>         ・使用目的や使用条件に合う、製作品が設計できる。(5 文節)</p> <p>2 章 2 ・図法の約束ごとを知り、製作に必要な図をかくことができる。(8 文節)</p> <p>2 章 3 ・使用目的や条件に合う基本型を選び、自分の製作品を設計できる。(8 文節)<br/>         ・設計に沿って、安全で正確に製作できる。(5 文節)<br/>         ・使用目的や条件に合う製作品を完成できる。(5 文節)</p> <p>2 章 4 ・2 章の学習をふり返り、学んだことをまとめる。(5 文節)</p> <p>3 章 ・学習をふり返り、材料と加工の技術の、これからの未来における役割や影響、誠実な生<br/>         かし方を考える。(12 文節)</p>  |
| 開<br>隆<br>堂 | <p>【10 文節以上のめあて 0/25】</p> <p>1-1 ① ・材料と加工の技術が生活や社会で果たしている役割に気づく。(8 文節)</p> <p>1-1 ② ・材料と加工の技術に関する製品に込められた工夫やしぐみを調べる。(8 文節)</p> <p>1-2 ① ・身の回りの製品に利用されている材料の種類と加工方法を知る。(7 文節)</p> <p>1-2 ② ・木材の性質を利用した、材料と加工の技術を知る。(7 文節)</p> <p>1-2 ③ ・金属の性質を利用した材料と加工の技術を知る。(7 文節)</p> <p>1-2 ④ ・プラスチックの性質を利用した材料と加工の技術を知る。(7 文節)</p> <p>1-2 ⑤ ・製品をじょうぶにするための形状や構造を知る。(5 文節)</p> <p>1-2 ⑥ ・製作品を図に表す方法を知る。(5 文節)<br/>         ・構想図や製作図を正しくかき表すことができる。(6 文節)</p> <p>2-1 ① ・材料と加工の技術による問題解決の手順を知る。(6 文節)<br/>         ・材料と加工の技術に関する製品にある問題解決の視点について考える。(8 文節)</p> <p>2-1 ② ・身近な生活における問題を発見する。(4 文節)<br/>         ・発見した問題を解決するための課題を設定する。(5 文節)</p> <p>2-1 ③ ・設計の流れと必要な要素を知る。(5 文節)<br/>         ・設計した課題に向けた設計を行う。(5 文節)</p> <p>2-2 ① ・けがきの役割と、木材へのけがきの方法を知る。(6 文節)<br/>         ・正確にけがきができる。(3 文節)</p> <p>2-2 ② ・木材の組立てと仕上げをする工具や機器の使い方を知る。(7 文節)<br/>         ・正確に組立てと仕上げができる。(4 文節)</p> <p>2-3 ① ・材料に適したけがきの方法を理解する。(5 文節)<br/>         ・正確にけがきができる。(3 文節)</p> <p>2-3 ② ・材料に適した組立てと仕上げの方法を知る。(6 文節)<br/>         ・正確に組立てと仕上げができる。(4 文節)</p> <p>3 ① ・材料と加工の技術での学習をふり返り、技術の見方、考え方について確認する (9 文<br/>         節)</p> <p>3 ② ・材料と加工の技術を評価し、技術の適切な活用について考える。(8 文節)</p> |

【技術・家庭（技術分野）】 肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。</li> <li>○ 情報機器の活用に関わる内容がある。</li> </ul> |
| 対象・方法 | <p>A編：材料と加工の技術における，設計に関わる内容の説明</p> <p>D編：情報の技術における，プログラミングに関わる内容の説明</p>                                  |

|    | 設計に関わる製図の作成  | プログラミングの制作  |
|----|--|---|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 製図の描き方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①等角図                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・等角図の完成図となる立体模型を1つ表記している。</li> <li>・専用の方眼紙で4枚使って等角図の描き方を説明している。</li> <li>・下書きの線を記入させ、最後に線を消している。</li> <li>・頂点（すべて直角）に関して120°の表記をしている。</li> <li>・等角図で描きやすいようにシンプルな立体を描かせている。</li> </ul> </li> <li>②第三角法による正投影図                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルとなる立体を2～3色を使って視点となる図を表記している。</li> </ul> </li> <li>③キャビネット図                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャビネット図の完成図となる立体模型を1つ表記していない。</li> <li>・方眼紙1枚を使ってキャビネット図の描き方を説明している。</li> <li>・下書きの線を記入させていない。</li> <li>・モデルとなる図が表記されていない。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プログラミングの基本の具体例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①順次，反復，分岐について                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・表記が写真と一緒にプログラムの具体例やフローチャートを挙げて説明している。</li> </ul> </li> <li>②プログラミングの活用例について                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真と説明やプログラムの例と説明をしている。</li> </ul> </li> <li>③身近な電子製品のプログラムについて。                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・信号機（3パターン）のプログラムを写真とフローチャートで説明している。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |
| 教図 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 製図の描き方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①等角図                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・等角図の完成図となる立体模型が資料4の中に入っていない。</li> <li>・専用の方眼紙を4枚使って等角図の描き方を説明している。</li> <li>・下書きの線は記入せず、等角図を作成している。</li> <li>・頂点（すべて直角）に関して120°の表記がある。</li> <li>・実際の作品に似た立体を描かせている。</li> </ul> </li> <li>②第三角法による正投影図                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルとなる立体において、色を使わず視点となる図を表記している。</li> </ul> </li> <li>③キャビネット図                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャビネット図の完成図となる立体模型を表記していない。</li> <li>・方眼紙4枚を使ってキャビネット図の描き方を説明している。</li> <li>・下書きの線を記入させて、最後に線を消している。</li> <li>・モデルとなる図が表記されていない。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プログラミングの基本の具体例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①順次，反復，分岐について                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・表記がフローチャートを挙げて説明している。</li> </ul> </li> <li>②プログラミングの活用例について                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・色を多数利用して表記しており、いろいろな活用例が表記されている。</li> </ul> </li> <li>③身近な電子製品のプログラムについて。                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除ロボットとフライトシミュレーター，人工知能について写真で説明している。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>     |



## ● 製図の描き方

## ① 等角図

- ・ 等角図の完成図となる立体模型を1つ表記している。
- ・ 専用の方眼紙で4枚使って等角図の描き方を説明している。
- ・ 下書きの線を記入させ、最後に線を消さしている。
- ・ 頂点（すべて直角）に関して  $120^\circ$  の表記がない。
- ・ 等角図で描きやすいようにシンプルな立体を描かせている。

## ② 第三角法による正投影図

- ・ モデルとなる立体を様々な色を使って視点となる図を表記している。

## ③ キャビネット図

- ・ キャビネット図の完成図となる立体模型を1つ表記している。
- ・ 方眼紙4枚を使ってキャビネット図の描き方を説明している。
- ・ 下書きの線を記入させ、最後に線を消さしている。
- ・ モデルとなる図が表記されている。

## ○ プログラミングの基本の具体例

## ① 順次, 反復, 分岐について

- ・ 表記が色を使い分けてフローチャートを挙げて説明している。

## ② プログラミングの活用例について

- ・ 写真と説明やプログラムの例と説明をしている。

## ③ 身近な電子製品のプログラムについて。

- ・ 自動ドアとロボット掃除機の二つについて写真とフローチャートで説明している。
- ・ 課題としてエアコンのプログラムについて考えさせる問題を提示している。

【技術・家庭（技術分野）】 病弱

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 観点    | ○ 健康・医療・病気に関わる内容がある。         |
| 対象・方法 | B編生物育成の技術における，作物の栽培に関わる内容の説明 |

| 作物の栽培技術 |   |
|---------|---|
| 東書      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 栽培の意義                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が普段食べている食料のことについて考えさせるような表記がある。</li> <li>・生物育成の技術の目的として写真等で表記されている。</li> <li>・生物の育成計画の例の立て方として，図1に生産者や消費者のニーズに合った作物の品種を選択すると表記している。</li> </ul> </li> <li>○ 農薬や肥料について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬の種類と使用上の注意として，農薬を散布するときの服装を図で表記されている。</li> <li>・病虫害対策として写真で病気の例を表記している。</li> <li>・追肥による成長の違いについて表記している。また，図とコメントで追肥のメリットを表記している。</li> </ul> </li> </ul> |
| 教図      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 栽培の意義                             <p>野菜や草花の育成計画の立て方の例として，健康的でおいしい野菜をたべるにはどうしたらよいかと考えさせるような表記がある。</p> </li> <li>○ 農薬や肥料について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・図や文章で農薬を撒くときの時の服装が表記されている。</li> <li>・害虫防除について写真や文章で表記されている。</li> <li>・小松菜の鉢植え栽培で防虫・追肥について写真や文章で表記されている。</li> <li>・病虫害の見つけ方と対応で薬品を使いたくないときや薬品を使うときなどを写真や文章で表記されている。</li> </ul> </li> </ul>   |
| 開隆堂     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 栽培の意義                             <p>消費者の安全安心を確保するためのことが表記されている。</p> </li> <li>○ 農薬や肥料について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気・害虫などとその対策を写真で特徴や対処法を表記している。</li> <li>・肥料の与え方について図を使い表記している。</li> <li>・ミニトマトの病気・害虫を写真や対処法で表記している。</li> </ul> </li> </ul>  |

## 技術・家庭（家庭分野）

### 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称 | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|----------|--|-----------------|--------------|
| 2<br>東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり仮名は、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いています。</li> <li>・基本ページでは、「目標」「始めの活動」「まとめの活動」などを全見開きの同じ位置に配置しています。</li> <li>・実習の手順などを横の流れで統一し、見やすく理解しやすいようにしています。</li> <li>・生徒の巧緻性に配慮し、作業する手や姿勢の写真などを豊富に掲載するとともに、包丁や手縫いの内容では、左利きの例も取り上げています(p. 58, 129)。</li> <li>・キャラクターのせりふは全て文節改行にし、読みやすさに配慮しています。</li> <li>・特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討し、専門家による校閲を受けています。</li> <li>・書体はUD フォント（ユニバーサルデザイン書体）を使用し、可読性を高めています。</li> <li>・カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の校閲を受けています。</li> </ul> | A B<br>・<br>306 | 891          |
| 6<br>教図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援の観点から、ユニバーサルデザインに配慮した教科書を作成しました。</li> <li>・本文の内容を精選して文章は簡潔に、文字量も抑えました。</li> <li>・UD フォントを使用し、ルビも大きく読みやすくしました。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しました。</li> </ul>   | A 4<br>・<br>308 | 599          |
| 9<br>開隆堂 | （記載なし）   | A B<br>・<br>302 | 512          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書(100ページ分)から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【技術・家庭（家庭分野）】 聴覚障害

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ○ 実習の手順及び用具の扱い方が、写真やイラスト等とともに説明された内容がある。  |
| 対象・方法 | 「日常食の調理（しょうが焼きの調理）」及び「布を用いた製作（巾着袋）」における、手順及び用具の扱い方の説明の中から、写真、イラスト、デジタルコンテンツ等で説明している事例 |

|    | 日常食の調理（しょうが焼きの調理）   | 布を用いた製作（巾着袋の製作）  |
|----|---|--|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と分量（1人分）</li> <li>・材料2人分の写真</li> </ul> </li> <li>○ 調理の手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・6工程、横並び、各工程の写真⑥                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1 しょうがをすりおろす<br/>ポイント「しょうがの皮のむき方」</li> <li>2 調味料Aを混ぜる</li> <li>3 つけ汁につけ込む<br/>ポイント「筋切り」</li> <li>4 豚肉を広げて焼く<br/>ポイント「重ならないように焼く」</li> <li>5 肉を裏返して焼く<br/>ポイント「肉を動かし過ぎない」</li> <li>6 たれをからめる</li> </ol> </li> <li>・調理のポイント④ 見出し着色，囲み無し</li> <li>・調理時間の表示②</li> <li>・火加減の表示③</li> </ul> </li> <li>○ QRコード（別ページ）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理の手順の動画</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と分量</li> <li>・印付けのイラスト</li> </ul> </li> <li>○ 製作の手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・4工程、横並び2段、各工程のイラスト⑧                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1 両脇を縫う</li> <li>2 袋口を縫う</li> <li>3 肩ひもを付ける</li> <li>4 丸ひもを通す</li> </ol> </li> </ul> </li> </ul>  |
| 教図 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と分量（1人分）</li> <li>・材料1人分の写真</li> <li>・調理用具</li> <li>・調理用具の写真（別ページ）</li> </ul> </li> <li>○ 調理の手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・3工程。縦並び、各工程の写真④                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計量・下準備<br/>ポイント「つけ汁をからめる」</li> <li>2 焼く<br/>ポイント「火加減と時間に注意」</li> <li>3 仕上げ</li> </ol> </li> <li>・調理のポイント② 見出し着色，囲み有り</li> <li>・火加減の表示②</li> </ul> </li> <li>○ 衛生「食中毒の予防」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出し着色，囲み無し</li> </ul> </li> <li>○ QRコード（詳細は不明）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と分量</li> <li>・用布見積もり用イラスト</li> <li>・印付けのイラスト</li> </ul> </li> <li>○ 製作の手順                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・6工程、縦並び、各工程のイラスト⑥                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1 印付け，裁断</li> <li>2 縫い代の始末</li> <li>3 中表で縫う<br/>ポイント「返し縫い，しつけ縫い」</li> <li>4 袋の口を縫う</li> <li>5 まちを縫う</li> <li>6 ひもを通す</li> </ol> </li> <li>・製作のポイント① 見出し着色，囲み有り</li> </ul> </li> <li>○ 参考「模様入りの布の場合」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出し着色，囲み有り，イラスト②</li> </ul> </li> </ul> |

【技術・家庭（家庭分野）】 聴覚障害

|     |  |  |
|-----|--|--|
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と分量（1人分）</li> <li>・材料1人分の写真</li> <li>・調理用具</li> </ul> </li> <li>○ 調理の手順           <ul style="list-style-type: none"> <li>・5工程，横並び，各工程の写真⑤               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 しょうが汁を作る<br/>ポイント「しょうがの働き」</li> <li>2 つける</li> <li>3 焼く<br/>ポイント「油の効果」</li> <li>4 裏返して焼く<br/>ポイント「短時間加熱」</li> <li>5 盛り付ける</li> </ol> </li> <li>・調理のポイント③ 見出し着，。囲み無し</li> <li>・調理時間の表示③</li> <li>・火加減表示②</li> </ul> </li> <li>○ 安全「包丁，火の取り扱い」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出し着色，囲み無し</li> </ul> </li> <li>○ 衛生「食中毒の予防」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出し着色，囲み無し</li> </ul> </li> <li>○ QRコード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出し着色</li> <li>・調理の手順の動画（字幕有り）</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と分量</li> <li>・布の大きさと縫い代のイラスト</li> </ul> </li> <li>○ 製作の手順           <ul style="list-style-type: none"> <li>・6工程，横並び2段，各工程のイラスト⑦               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 縫い代の始末</li> <li>2 両脇と底を縫う</li> <li>3 ひも通し口を縫う</li> <li>4 袋口の三つ折り縫い</li> <li>5 ひもを通す</li> <li>6 付属品を付ける</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○ QRコード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出し着色</li> <li>・製作の手順の動画（字幕有り）</li> </ul> </li> </ul> |
|-----|--|--|

【技術・家庭（家庭分野）】 聴覚障害

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● 語句の説明が、長文で説明された内容がある。                                  |
| 対象・方法 | 「消費生活（消費者被害とその対応）」及び「住生活（家族の安全を考えた住空間）」における、語句の説明文とその文節数 |

|     | 消費生活（消費者被害とその対応）   | 住生活（家族の安全を考えた住空間）   |
|-----|--|---|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 悪質商法（9文節）<br/>「消費者をだましたり脅したりして物を売りつけるなど悪質な販売をする」</li> <li>● キャッチセールス（13文節）<br/>「街頭で消費者を呼び止め、その場で勧誘したり、喫茶店や店舗、営業所に連れ込んだりして、商品などを購入させる」</li> <li>● アポイントメントセールス（10文節）<br/>「電話などで『抽選に当たった』などと言って喫茶店や店舗、営業所に呼び出し、商品などを購入させる」</li> <li>● 製造物責任法（PL法）（17文節）<br/>「製造物の欠陥によって被害を受けた場合、消費者は、製造者の過失の有無にかかわらず、製造者の損害賠償の責任を問うことができる」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● バリアフリー（10文節）<br/>「高齢者や障がいのある人などが安心して暮らせるように、生活するうえでの障壁をなくすこと」</li> <li>● ユニバーサルデザイン（12文節）<br/>「年齢や障がいの有無、文化の相違などにかかわらず、だれもが安全で快適に暮らせるように考えられたデザイン」</li> </ul>    |
| 教図  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 悪質商法（11文節）<br/>「意図的に消費者の勘違いを利用したり、考える時間を与えずに強引に契約をさせたりする」</li> <li>● キャッチセールス（9文節）<br/>「街頭で消費者を呼び止め、店舗や事務所などに連れ込んで強引に契約をさせる」</li> <li>● アポイントメントセールス（10文節）<br/>「電話などで『抽選に当たりました』などと言って店舗や事務所などに呼び出し、強引に契約をさせる」</li> <li>● 製造物責任法（PL法）（16文節）<br/>「製品の欠陥により、人や財産に被害を受けた場合、製造業者などに損害賠償を求めることができることを定めた法律」</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● バリアフリー（3文節）<br/>「生活上の支障（バリア）を取り除く」</li> <li>● ユニバーサルデザイン（13文節）<br/>「年齢や性別、能力、民族などにかかわらず、だれにとっても使いやすいように製品や建物、空間などを設計する」</li> </ul>                               |
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 悪質商法（15文節）<br/>「消費者に十分に考える時間を与えなかったり、プレッシャーを心理的に与えたり、冷静な判断ができないようにして契約させる悪質な売り方」</li> <li>● キャッチセールス（10文節）<br/>「販売の意図を隠して接近し、店舗や営業所に招き入れ、突然勧誘を開始する」</li> <li>● アポイントメントセールス（10文節）<br/>「メールや電話、郵便などで約束を取りつけて店舗や営業所等に招き入れ、高額商品を売りつける」</li> <li>● 製造物責任法（PL法）（12文節）<br/>「製品の欠陥により、命や体などに被害が生じた場合の、製造業者などの責任を定めた法律」</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● バリアフリー（11文節）<br/>「障がいのある人や高齢な人などが社会参加するうえで支障となるバリア（障壁）を取り除く」</li> <li>● ユニバーサルデザイン（13文節）<br/>「障がいの有無や文化、言語、国籍、性別、年齢等にかかわらず、誰もが使いやすいように、設計の段階からデザインする」</li> </ul> |

【技術・家庭（家庭分野）肢体不自由・病弱

|       |  |
|-------|--|
| 観点    | ● 上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。                                    |
| 対象・方法 | 「日常食の調理」及び「生活を豊かにするための布を用いた製作」における、上肢や下肢の複雑な動きを必要とする学習課題の具体例 |

|    | 「日常食の調理」   | 「生活を豊かにするための布を用いた製作」  |
|----|--|---|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計量スプーンと計量カップの操作</li> <li>● 野菜の切り方：皮むき、せん切り、いちょう切り、半月切り、小口切り、くし形切り、ささがき、みじん切り</li> <li>● 魚の下ごしらえ：いわしの手開き、あじ1尾の調理</li> <li>● 調理操作に、上肢の左右異なる複雑な動きを同時に行う操作（ハンバーグの整形等。但し計量は除く）や食材のミリ単位の切断幅指定（せん切り・みじん切り含む）が含まれるもの 26/44（該当数/全調理数）</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手縫いの技術例示：玉結び、玉止め、ボタン付け、並縫い、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫い、まつり縫い、スナップ付け、鍵ホック付け</li> <li>● ミシン縫いの技術例示：フットコントローラ操作、下糸巻き、下糸装着、上糸かけ、下糸引き出し、縫い始め操作、直線縫い、角縫い、曲線縫い、返し縫い、二度縫い、縫い終わり始末、上糸下糸結び、ジグザグミシン、ロックミシン</li> <li>● 製作に関わる技術例示：アイロンかけ、しるし付け、裁断、まち針打ち、ピンキング、二つ折り縫い、三つ折り縫い、伏せ縫い、袋縫い、ポケット付け、まち作り、ひも通し、ファスナー付け、バイアステープ付け、縫い目ほどき、綿入れ</li> <li>● 製作操作に、何らかの手縫いの技術、角縫い又は曲線縫いのミシン縫いの技術、しるし付け・裁断・アイロンかけ・二つか三つ折り縫い以外の製作に関わる技術（ひも通し等）のどれかの技術が含まれるもの 17/22（該当数/全製作数）</li> </ul> |
| 教図 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計量スプーンの操作</li> <li>● 野菜の切り方例示：皮むき、たんざく切り、拍子木切り、せん切り、さいの目切り、いちょう切り、半月切り、小口切り、斜め切り、くし形切り、ささがき、みじん切り、すりおろし</li> <li>● 魚の下ごしらえ例示：いわしの手開き、三枚おろし</li> <li>● 調理操作に、上肢の左右異なる複雑な動きを同時にする操作（ハンバーグの整形等。但し計量は除く）や、食材のミリ単位の切断幅指定（せん切り・みじん切り含む）が含まれるもの 22/47（調理数/全調理数）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手縫いの技術例示：糸通し、玉結び、玉止め、ボタン付け、並縫い、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫い、まつり縫い、スナップ付け</li> <li>● ミシン縫いの技術例示：フットコントローラ操作、下糸巻き、下糸装着、上糸かけ、下糸引き出し、縫い始め操作、直線縫い、角縫い、曲線縫い、返し縫い、二度縫い、縫い終わり始末、ジグザグミシン、ロックミシン</li> </ul>   |

【技術・家庭（家庭分野）肢体不自由・病弱】

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| 開<br>隆<br>堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計量スプーンの操作が掲載</li> <li>● 野菜の切り方例示：皮むき，拍子木切り，せん切り，さいの目切り，いちょう切り，半月切り，小口切り，斜め薄切り，くし形切り，ささがき，みじん切り</li> <li>● 魚の下ごしらえ例示：いわしの手開き，あじ1尾の調理</li> <li>● 調理操作に，上肢の左右異なる複雑な動きの同時操作（ハンバーグの整形等。但し計量は除く）や食材のミリ単位の切断幅指定（せん切り・みじん切り含む）が含まれるもの<br/>13／40（該当数／全調理数）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 製作に関わる技術例示：アイロンかけ，しるし付け，裁断，まち針打ち，ピンキング，三つ折り縫い，袋縫い，ポケット付け，まち作り，ひも通し</li> <li>● 製作操作に，何らかの手縫いの技術，角縫い又は曲線縫いのミシン縫いの技術，しるし付け・裁断・アイロンかけ・三つ折り縫い以外の製作に関わる技術（ひも通し等）のどれかの技術が含まれるもの<br/>6／7（該当数／全製作数）</li> <li>● 手縫いの技術例示：玉結び，玉止め，ボタン付け，並縫い，本返し縫い，半返し縫い，かがり縫い，まつり縫い，スナップ付け，鍵ホック付け</li> <li>● ミシン縫いの技術例示：フットコントローラ操作，下糸巻き，下糸装着，上糸かけ，下糸引き出し，縫い始め操作，直線縫い，角縫い，曲線縫い，返し縫い，二度縫い，縫い終わり始末，上糸下糸結び，ジグザグミシン，ロックミシン</li> <li>● 製作に関わる技術例示：アイロンかけ，しるし付け，裁断，まち針打ち，ピンキング，二つ折り縫い，三つ折り縫い，ポケット付け，まち作り，ひも通し，面ファスナー付け，綿入れ</li> <li>● 製作操作に，何らかの手縫いの技術，角縫い又は曲線縫いのミシン縫いの技術，しるし付け・裁断・アイロンかけ・二つか三つ折り縫い以外の製作に関わる技術（ひも通し等）のどれかの技術が含まれるもの<br/>9／9（該当数／全製作数）</li> </ul> |
|-------------|---|--|



【技術・家庭（家庭分野）】肢体不自由・病弱

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 観点    | ○情報機器の活用等に関わる内容がある。               |
| 対象・方法 | 情報機器の活用等により、障害による学習上の困難さが軽減される具体例 |

|     | 具体例  |
|-----|--|
| 東書  | <p>○ 「生活の課題と実践」のまとめと発表の仕方、コンピュータでプレゼンテーションソフトウェアを活用して、まとめや発表をする説明がある。</p> <p>&lt;Dマークコンテンツ&gt;</p> <p>○ Dマークは学習 内容の代表箇所又は該当箇所に示されている。</p> <p>○ コンテンツ数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭生活（動画1）、幼児の生活（動画1、資料3）、食生活（動画6・資料6）、衣生活（動画7・資料2）、住生活（資料7）、消費生活・環境（動画2・資料6）、選択・巻末付録（資料3）</li> </ul> <p>○ 各コンテンツには、1～10の動画又は資料が含まれている。動画又は資料の総数は102。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画内容：観察（幼児の生活、野菜の性質、洗剤の働き）、調理技術、調理実習、和服の扱い、縫い方（手・ミシン）、布製品づくり、事例動画（悪質商法、高齢者）、インタビュー</li> <li>・資料内容：図表及び文章、他教科書内容、Web教科書、Web案内、シミュレーション（クイズ等）</li> <li>・教科書の内容を拡充するコンテンツ数は10。</li> <li>・参考動画数：野菜の切り方9、調理実習5、手縫いの仕方5、ミシン操作1（内容5）、布製品づくり5</li> </ul>   |
| 教図  | <p>○ 家庭分野の課題解決学習の進め方に、課題の解決方法の例としてインターネットを利用した調べ学習やまとめる方法の例としてコンピュータを使用したデジタル作品が掲載されている。</p> <p>○ コミュニケーションツールの例として、ICT端末が掲載されている。</p> <p>○ 住生活の課題解決学習の進め方に、コンピュータを活用した調べ学習の説明がある。</p> <p>○ 消費生活の課題解決学習の進め方にインターネットで情報を集める説明がある。</p> <p>&lt;QRコードによる閲覧資料&gt;</p> <p>○ 閲覧資料のある学習内容について、QRコードが掲載されている。</p> <p>○ QRコードは学習内容掲載の該当見開きページ右上に示されている。</p> <p>○ 閲覧資料数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭生活（資料6）、幼児の生活（動画7・資料1）、食生活（動画16・資料4）、衣生活（動画6・資料1）、住生活（動画2・資料6）、消費生活・環境（資料4）、巻頭・巻末資料（動画1・資料1）</li> </ul> <p>○各閲覧資料には、1～14の動画又は資料が含まれている。動画又は資料の総数は116。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画内容：観察（幼児の生活、幼児とのふれ合い、洗剤の働き）、調理準備・配膳・片付け、調理技術、調理実習、和服の扱い、裁縫道具・アイロン・ミシンの扱い、縫い方（手・ミシン）、布製品づくり、事例動画（結露、災害への備え）</li> <li>・資料内容：図表及び文章、スライド、Web案内</li> <li>・教科書の内容を拡充する閲覧資料数は9。</li> <li>・参考動画数：野菜の切り方14、調理実習13、手縫いの仕方11、ミシン操作6、布製品づくり0</li> </ul> |
| 開隆堂 | <p>○ 「生活の課題と実践」のまとめ方の例で、パソコンでプレゼンテーションソフトウェアを使用し、発表内容をまとめる説明がある。</p> <p>&lt;QRマークコンテンツ&gt;</p> <p>○ QRコードが学習内容掲載の該当見開きページ右下に示されるとともに、QRマークが学習内容の該当箇所に示されている。</p> <p>○ コンテンツ数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭生活（動画1・資料2）、幼児の生活（動画7）、食生活（動画18・資料6）、衣生活（動画12・資料1）、住生活（動画2・資料6）、消費生活・環境（動画2・資料6）</li> </ul> <p>○ 各コンテンツには、1～20の動画又は資料が含まれている。動画又は資料の総数は228。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画内容：観察（幼児の生活、幼児とのふれ合い、肉・魚・野菜の性質）、実験（栄養素、しみ抜き）、調理準備・片付け、調理技術、調理実習、和服の扱い、衣服の手入れ、裁縫道具・アイロン・ミシンの扱い、縫い方（手・ミシン）、布製品づくり、事例動画（家族関係ロールプレイング、ミシンの縫い目、通信販売、クレジットカード）、インタビュー</li> <li>・資料内容：図表及び文章</li> <li>・教科書の内容を拡充するコンテンツ数は2。</li> <li>・参考動画数：野菜の切り方20、調理実習13、手縫いの仕方17、ミシン操作8、布製品づくり7</li> </ul>  |

## 【技術・家庭（家庭分野）病弱】

|              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| <b>観点</b>    | ○健康・医療・病気に関わる内容がある。            |
| <b>対象・方法</b> | 「食生活」及び「幼児の生活」における、医療・病気に関わる内容 |

| 医療・病気に関わる内容 |   |
|-------------|---|
| <b>東書</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ メタボリックシンドローム</li> <li>○ 欠食や過食，偏食，早食い，間食や夜食の取り過ぎなどの継続による生活習慣病のなりやすさ</li> <li>○ 生命維持のための水分摂取の大切さ</li> <li>○ ヘモグロビンと貧血状態の関係</li> <li>○ カルシウム不足と骨折しやすさの関係</li> <li>○ 食物アレルギーに関わる加工食品の表示の説明，食物アレルギーの説明</li> <li>○ 食中毒，食中毒予防の三原則，食中毒発生件数と気温，食中毒発生件数と病因別物質</li> <li>○ 手洗いの重要性</li> <li>○ 殺菌のための十分な加熱調理</li> <li>○ 食中毒予防に向けたソラニン処理</li> <li>○ 魚の脂質が心筋梗塞，脳梗塞を防ぐ効果，DHAやEPAが，血中コレステロール値を下げて血液をさらさらにする効果</li> </ul>  |
| <b>教図</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活習慣病，食物繊維の生活習慣病を予防する働き</li> <li>○ 水分が生命維持に不可欠なこと</li> <li>○ 熱中症や脱水症の予防のための水分摂取</li> <li>○ アレルゲン，アレルゲンに関わる加工食品の表示の例，アレルゲンの表示の説明</li> <li>○ 食中毒，食中毒事件の原因物質，主なウイルス・細菌と食中毒の対策，食中毒予防の三原則</li> <li>○ 調理準備での食物アレルギーへの配慮</li> <li>○ 食中毒の予防のための包丁の扱い方</li> <li>○ ホットケーキの調理における食物アレルギーへの配慮</li> <li>○ 食中毒予防のための肉類の十分な加熱</li> <li>○ 食中毒予防。食物アレルギーに対応した調理事例</li> <li>○ 間食作りにおける食物アレルギーへの配慮</li> <li>○ うま味を上手に使った食事の肥満予防等への効果</li> </ul>   |
| <b>開隆堂</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物アレルギーのある友人との食事への配慮</li> <li>○ 生活習慣病の説明，間食の適度な摂取による栄養の補いや疲労回復の効果</li> <li>○ 成長ホルモンが疲労回復に重要な役割を果たすこと，運動による骨への刺激の必要性</li> <li>○ 骨折予防と牛乳の摂取に関わる意見</li> <li>○ 水分補給と熱中症や脱水症の関連，食物繊維の体の調子を整える働き</li> <li>○ 食物アレルギー，アナフィラキシーショックの説明</li> <li>○ アレルギー物質を含む食品名，加工食品の表示，食物アレルギーの発症の説明</li> <li>○ 食中毒，水俣病，調製粉乳のひ素等の混入による中毒被害の説明</li> <li>○ 食品汚染による健康被害，食品のリスクの説明，米ぬか油の有毒物質の混入による中毒被害</li> <li>○ 調理計画での食物アレルギー有無の確認</li> <li>○ 食中毒の説明，食中毒予防の三原則，食物アレルギーについてアレルゲンの代替食材</li> <li>○ 肉による食中毒とその例</li> <li>○ 調理事例に応じてアレルギー物質（27品目）を含む食材例33例（内容重複有）</li> <li>○ 魚の脂質のDHAやEPAが，動脈硬化や脳卒中，心臓病などの病気の予防</li> <li>○ 魚による食中毒の説明</li> <li>○ 野菜の色と老化や生活習慣病の防止の関連</li> <li>○ 野菜の摂取量と生活習慣病の予防の関連</li> <li>○ 加工食品に含まれるアレルギー物質への注意</li> <li>○ 冬至のかぼちゃ摂取について動脈硬化や風邪防止の祈願の関連</li> </ul> |

# 英語

## 表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 観点<br>略称  | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|-----------|--|-----------------|--------------|
| 2<br>東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で使用している視認性や書きやすさに配慮された書体を、1年のほぼ全体を通して使用しています。また、1学期は回答欄に4線を使用しており、その幅は、文章全体の9割を占める小文字が書きやすいように、2線と3線の間をやや広くしています。</li> <li>・本文やNew Words, Key Sentenceなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、学習の流れを見通すことができ、安心して学習に取り組むことができます。</li> <li>・二次元コードをページごとに配し、音声学習に取り組みやすくしています。音声は、p. 3に示すURLからもアクセスできます。</li> <li>・Unit⇒技能領域別のLet'sシリーズ⇒Stage Activityの3つのメイン単元で構成されています。UnitとLet'sシリーズを積み重ねることで、学期末のStage Activityへと到達できます。このように構成を規則的にし、学習のユニバーサルデザイン化を図っています。</li> </ul> | A 4<br>・<br>174 | 374          |
| 9<br>開隆堂  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザイン、特別支援の観点でも十分な配慮をしました。識別しづらい色遣いは避ける、文字を極力大きくする、手書き文字に近いフォントを2種類開発するなど、すべての生徒が無理なく学びやすい紙面づくりを目指しました。</li> </ul>   | A 4<br>・<br>172 | 210          |
| 15<br>三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な生徒への配慮と対応をしています。</li> </ul>   | A 4<br>・<br>186 | 525          |
| 17<br>教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> <li>・特別支援が必要な学習者への配慮として、全体をとおしての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけました。</li> </ul>  | A 4<br>・<br>176 | 237          |
| 38<br>光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、全ページにわたって専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。</li> </ul>  | A 4<br>・<br>190 | 247          |
| 61<br>啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の専門家の監修の下、まぎらわしい記号の使い方をしないなど、すべての生徒が支障なく学習できるよう配慮しました。また、誰もが識字しやすいUD（ユニバーサルデザイン）フォントも採用しました。</li> <li>・教科書全体を温かみのあるやさしい色使いでシンプルなデザインにし、誰にでも必要な情報が伝わるよう心がけました。これにより、メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）による認証を申請しています。</li> </ul>  | A 4<br>・<br>158 | 438          |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書（100ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【英語】 聴覚障害

|              |   |
|--------------|---|
| <b>観点</b>    | ○ 文法事項の定着や会話の内容理解に係り、写真やイラストとともに説明された内容がある。                               |
| <b>対象・方法</b> | 第1学年「動詞の過去形」及び第2学年「不定詞の用法」において、文法事項の理解を促す資料や、会話内容の説明が写真やイラストを用いて為されている事例。 |

|            | 第1学年「動詞の過去形」   | 第2学年「不定詞の用法」   |
|------------|--|--|
| <b>東書</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Key Sentence                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の3カ所に掲載</li> <li>・規則動詞、不規則動詞、短縮形についてそれぞれ例文と解説を示す。例文の該当箇所は太字で示す。</li> </ul> </li> <li>○ Grammar for Communication                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページを使用。Use（使い方）、Form（形）の2構成</li> <li>・Use（使い方）では、play soccer と played basketball の違いから過去形について説明。毎日していることと、昨日だけしたことをイラストで比較</li> <li>・Form（形）では、肯定文、否定文、疑問文の過去形の変化を表に整理している。</li> <li>・例文の主語は青、動詞はピンクに着色している。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Key Sentence                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の3カ所に掲載</li> <li>・不定詞の「副詞的用法」「原因を表す副詞的用法」「形容詞的用法」の例文と解説が示されている。例文の該当箇所は太字で表示されている。</li> </ul> </li> <li>○ Grammar for Communication                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページを使用。Use（使い方）、Form（形）、Let's try（使ってみよう）の3構成になっている。</li> <li>・Use（使い方） picture と to take picture の違いから、不定詞の用法について説明</li> <li>・Form（形） 名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法の例文を表に整理</li> <li>・Let's try（使ってみよう） 英文中の（ ）の語句を並べ替える課題がある</li> </ul> </li> </ul>                |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会話内容等の説明【写真8・イラスト35・地図1】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容に即した写真、イラスト<br/>ロンドン観光、大英博物館、<br/>年始のビッグ・ベン、英博物館、国旗 等</li> <li>・課題の解答に対応した写真、イラスト<br/>朝食を食べる、歯を磨く、地下鉄<br/>フィッシュアンドチップス 等</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会話内容等の説明【写真8・イラスト12】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容に即した写真<br/>職場、老人福祉施設、職場体験<br/>レポートを書く 等</li> <li>・課題の解答に対応した写真とイラスト<br/>自動車製造、映画を見に行く、卵を買う、<br/>自動車会社に行く、あなたに会えて<br/>うれしい 等</li> </ul> </li> </ul>  |
| <b>開隆堂</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語のしくみ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最後に1ページを使用。</li> <li>・初めに規則動詞と不規則動詞の解説がある。</li> <li>・過去形について、肯定文、疑問文とその答え方、否定文の3構成になっている。</li> <li>・現在形と過去形の英文が縦に並んで示され、主語、動詞、目的語に色が付いている。</li> <li>・過去形の作り方4パターンを例示している。</li> <li>・edの発音を3つ例示している。</li> <li>・不規則動詞の過去形8例を表で示している。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真10・イラスト17・地図1・国旗1】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容に即した写真<br/>フィンランド、フィンランドの地図 等</li> <li>・課題の解答に対応したイラスト<br/>料理、読書、フィンランドの国旗<br/>オーロラ、サウナ、サルミアッキ<br/>路上のトナカイ、部屋を掃除する、<br/>英語を勉強する、本を読む<br/>図書館へ行く 等</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語のしくみ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・to不定詞の「名詞的用法」「副詞的用法」「形容詞的用法」について、意味と働きを表で示す。</li> <li>・3つの用法について、不定詞がどの語を修飾するか分かるよう着色、矢印がある。</li> <li>・動詞のing形について、例文3つと解説がある。</li> <li>・不定詞と動名詞の使い分け例がある。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真18・イラスト16・地図2】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容に即した写真<br/>ジュエリー、ニューヨークの屋台、<br/>ロブスターロール、ラーメンバーガー 等</li> <li>・本文の内容に即した地図<br/>アメリカ合衆国、オランダ</li> <li>・本文の内容に即したイラスト<br/>日本の屋台、ニューヨークの屋台、<br/>ハーリングの食べ方、なりたい職業 等</li> </ul> </li> </ul> |

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ POINT・Drill <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の2カ所に掲載。見開きページ下部の左側に POINT, 右側に Drill がある。</li> <li>・一般動詞と be 動詞の現在形と過去形の例文と過去形に直す練習ができる絵と英文が8つある。不規則動詞には ( ) で過去形が書かれている。</li> <li>・過去形の疑問文, 否定文の英語の例文と, その練習ができる絵と英文が6つ, ときを表す語が7つある。</li> </ul> </li> <li>○ 文法のまとめ⑥ <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最後にページの3分の1を使用。</li> <li>・過去形について, 肯定文, 疑問文・応答文, 否定文の例文を示す。</li> <li>・過去形動詞は太字で示され, did, did not は下線と解説がある。</li> <li>・色のついた枠に, 規則動詞の過去形の作り方3パターンの例示と解説がある。</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ POINT・Drill <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の2カ所に掲載。見開きページ下部の左側に POINT, 右側に Drill がある。</li> <li>・to 不定詞の例文が2つと, その練習ができる絵と英文が8つある。</li> <li>・to 不定詞のない英文とある英文が並んで示され, 意味の違いを考えながら比べるよう指示がある。</li> <li>・「運動する」などを表す絵と英文が8つあり, 「～するために」「～するための」の練習ができる。</li> </ul> </li> <li>○ 文法のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最後に1ページを使用。</li> <li>・to 不定詞の「名詞用法」「副詞用法」「形容詞用法」「It is…(for A) to ～」の例文がある。</li> <li>・例文の to 不定詞は太字で示している。</li> <li>・例文は, to 不定詞は太字で示し, 赤色の矢印, 青色の下線, 青色の解説がある。</li> <li>・不定詞の解説を4つ掲載している。</li> </ul> </li> </ul>   |
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会話内容等の説明【写真21】【イラスト21】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のテーマに関する写真<br/>着物, 寿司(食文化), 生け花 等</li> <li>・本文の内容に即した写真<br/>風呂敷, わんこそば, ハウステンボス 等</li> <li>・課題の解答に対応した写真<br/>平和公園, 温泉, グラバー園, 眼鏡橋<br/>夜景, ちゃんぽん, カステラ 等</li> <li>・課題の解答に対応したイラスト<br/>ピクニックを楽しむ, 掃除機を使う,<br/>寿司を食べる, 富士山を見る 等</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会話内容等の説明【写真9】【イラスト30】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のテーマに関する写真<br/>服飾関係の仕事, 運転手, 農業, 医療関係の仕事, サッカー選手 等</li> <li>・本文の内容に即したイラスト, 写真<br/>野菜の苗を育てる, 訪問者が収穫する 等</li> <li>・課題の解答に対応したイラスト<br/>留学する, 試験に合格する<br/>サッカーをする留学する, 画家, 獣医<br/>宇宙での野菜づくり 等</li> </ul> </li> </ul>  |
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Key Sentences (例文) Note (解説) <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の3カ所に掲載 (Key Sentences は2カ所)</li> <li>・例文は, 過去形の動詞を太字で示している。</li> <li>・一般動詞の過去形, be 動詞の過去形, 過去形の否定形の例文と解説がある。</li> <li>・be 動詞を使った疑問文と解説がある。</li> <li>・規則動詞と不規則動詞の解説がある。</li> </ul> </li> <li>○ Grammar <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最後に1ページを使用</li> <li>・過去形を使った会話文が4例ある。</li> <li>・肯定文, 疑問文, 否定文について, それぞれ watch と is を例に, 動詞の変化を矢印と着色で示している。</li> <li>・動詞を過去形にする4パターン, 疑問文の作り方, 否定文の作り方の解説がある。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真5・イラスト23】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のテーマに関する写真<br/>イエローストーン, 間欠泉, 夏祭り 等</li> <li>・本文の内容に即した写真2<br/>バッファロー, 間欠泉</li> <li>・課題の解答に対応した写真, イラスト<br/>ねぶた祭, 起床する, 朝食を食べる<br/>絵日記(夏祭り), アイスクリームを食べる。<br/>買い物に行く。花火をする 等</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Key Sentences (英文) Note (解説) <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の3カ所に掲載</li> <li>・「の仕方」「すべきこと」を伝える例文と解説があり, 例文の to 不定詞と目的語は太字で示す。</li> <li>・It is interesting to ～, It is easy for me to ～ の例文と解説がある。</li> <li>・人+how+to ～ の例文と解説がある。</li> </ul> </li> <li>○ Grammar <ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞を使った会話文3例を掲載。</li> <li>・「～の仕方」「すべきこと」の例文1例, 「～することはおもしろい・難しい, 不可能だ」の例文2例「だれに～の仕方, 何をすべきかなどを伝える・教える・たずねる」の例文2例を示している。</li> <li>・右側にそれぞれの用法の解説がある。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真8・イラスト25】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のテーマに関する写真<br/>ハロウィン</li> <li>・本文の内容に即した写真<br/>かぼちゃ提灯, 死者の日, 盆踊り 等</li> <li>・本文の内容に即したイラスト<br/>かぶの提灯 等</li> <li>・課題の解答に対応したイラスト, 写真<br/>ハングル文字の読み方, ピニャータ 等</li> </ul> </li> </ul> |

【英語】 聴覚障害

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本文           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の中に3カ所あり，青色の枠囲みの中に，英語の例文と解説がある。</li> <li>・ 動詞の過去形，過去形の疑問文，be 動詞の過去形について，例文と解説がある。</li> </ul> </li> <li>○ Active Grammar           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の最後に1ページを使用。</li> <li>・ 「場面と意味」 動詞の過去形を使う場面と意味について，英文を読んで考えるよう指示がある。</li> <li>・ 「文の形」 ①一般動詞の過去形②be 動詞の過去形のそれぞれについて，「肯定文」「疑問文」「否定文」が表に整理して示されている。文の主語は緑，動詞はピンクで着色されている。</li> <li>・ ページ右側には不規則動詞の過去形の6例，規則動詞の過去形と発音6例，短縮形，be 動詞の過去形，短縮形を示している。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真27・イラスト6】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元のテーマに関する写真 イラスト 凧あげ，初詣，初日の出，おせち料理習字，浅草寺 等</li> <li>・ 本文の内容に即したイラスト 浅草寺，初詣，おみくじを引く 等</li> <li>・ 課題の解答に対応した写真やイラスト 家を掃除した，テレビを見た，おみくじを引いた，おせち料理を作った 等</li> </ul> </li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本文           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の中に3カ所あり，青色の枠囲みの中に，英語の例文と解説がある。</li> <li>・ 不定詞の副詞的用法についての例文2つと解説，不定詞の副詞的用法についての例文1つと解説がある。</li> <li>・ 例文の「to 動詞」は太字で示され，目的を表す語には下線がある。</li> </ul> </li> <li>○ Active Grammar           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の最後に1ページを使用。</li> <li>・ 「比べてみよう」 4人の会話文があり，to 不定詞は太字で示されている。不定詞の意味の違いを比べよう指示がある。</li> <li>・ 「文の形」 形容詞的用法，副詞的用法について，例文を6つ示している。</li> <li>・ 形容詞的用法にはピンク，副詞的用法には緑の囲みがある。修飾する語に囲み，目的・原因を表す語には下線がある。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真4・イラスト16】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文の内容に即したイラスト 水族館</li> <li>・ 課題の解答に対応した写真，イラスト 日本語で漫画を読むため，日本語の先生になるため，人と会う，病気の犬 バスケットボールの試合後，飼育員の写真，老人介護施設の写真，レストランの写真 等</li> </ul> </li> </ul>                            |
| 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Target           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の中に3カ所あり，枠囲みの中に英文と解説がある。</li> <li>・ 英文は，動詞の過去形を太字で示している。</li> <li>・ 解説は，規則動詞の過去形が6例，不規則動詞の過去形が5例，didを使った疑問形，過去形及びその短縮形を示している。</li> </ul> </li> <li>○ Target のまとめ「一般動詞の過去形」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の最後に1ページを使用。</li> <li>・ 肯定文，否定文，疑問文が表に整理され，それぞれの解説と2～3の例文がある。</li> <li>・ 例文の動詞の過去形には黄色い網掛けがあり，edやdidは太字で示している。</li> <li>・ 規則動詞と不規則動詞の解説がある。</li> <li>・ Let's Try 過去形を使った会話文があり，ペアで練習するよう指示がある。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真9・イラスト32】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文の内容に即したイラスト 発表の様子 等</li> <li>・ 本文の内容に即した写真 金沢の旅館，金沢21世紀美術館，金沢駅，寿司，兼六園，ロックフェラーセンター，タイムズスクエア，パンケーキ 等</li> <li>○ 課題の解答に対応したイラスト 野球をする，夕食後音楽を聴く，映画を見た後昼食を食べる，学校で出会って10年後に結婚する 等</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Target           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の中に3カ所あり，枠囲みの中に英文と解説がある。</li> <li>・ 不定詞の副詞的用法，副詞的用法（感情の原因），形容詞的用法について，例文1と解説がある。</li> <li>・ 例文の to+動詞は太字になっている。</li> </ul> </li> <li>○ Target のまとめ「動名詞・不定詞」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の最後に1ページを使用。</li> <li>・ 不定詞については，①名詞の働き②福祉の働き③形容詞の働きが表になっていて，それぞれ例文と解説がある。</li> <li>・ 不定詞は黄色い枠で囲み，to+動詞は太字で示している。不定詞が修飾する語に矢印と下線がある。</li> <li>・ Let's Try 不定詞を使った会話文があり，ペアで練習するよう指示がある。</li> </ul> </li> <li>○ 会話内容等の説明【写真21・イラスト30】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元のテーマに関する写真 秋田竿灯祭り，スペイントマト祭り，春節，夏至祭 等</li> <li>・ 本文の内容に即した写真 秋田竿灯祭り，トマト祭り 等</li> <li>・ 本文の内容に即したイラスト パソコンで検索する様子 等</li> <li>・ 課題の解答に対応した写真，イラスト 体育祭，インドへ行きたい，タージマハルを見る 等</li> </ul> </li> </ul> |

【英語】 聴覚障害

|       |   |
|-------|---|
| 観点    | ● インタビュー活動等，音声のみによるコミュニケーションを扱った内容がある。                |
| 対象・方法 | 第1学年「自己紹介」及び第3学年「スピーチ等」において，音声のみの課題や学習活動が取り上げられている事例。 |

|     | 第1学年「自己紹介」   | 第3学年「スピーチ等」  |
|-----|--|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己紹介を聞いて正しいものを選択する課題</li> <li>● 聞き取った音声を文字で記入する課題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 会話を聞いて，分かったことを伝えあう課題</li> <li>● 対話を聞き，内容に合うものを選択する課題</li> <li>● 説明文を聞き取り，解答する課題</li> </ul>  |
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 話者の話を聞いてそれぞれの人物に合う内容を選択する課題</li> <li>● 名前を聞いて正しいものを選択する課題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● クイズを聞いて内容に合うものを選択する課題</li> <li>● 目撃情報を聞いて真犯人を選択する課題</li> <li>● 好きな食べ物ランキングの説明を聞いて正しい順序に直す課題</li> </ul>  |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己紹介を聞いて正しいものを選択する課題</li> <li>● イラストの意味を確認しながら音声を聞く課題</li> <li>● 絵とその絵が表す単語の初めの文字を聞き取り，線で結ぶ課題</li> <li>● それぞれが話した内容を聞いて，正しいものを選択する課題</li> <li>● イラストの意味を確認しながら音声を聞く課題</li> <li>● 聞き取った単語を選択する課題</li> <li>● 話者の話を聞いて正しいものを選択する課題</li> <li>● イラストの意味を確認しながら音声を聞く課題</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 発表を聞いてそれぞれの内容をメモする課題</li> <li>● イラストの意味を確認しながら音声を聞く課題</li> <li>● 絵本を聞いて，内容にある英語を空欄に記入する課題</li> <li>● イラストの意味を確認しながら音声を聞く課題</li> </ul>                   |
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己紹介を聞いて分かったことを伝え合う課題</li> </ul>  |  |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己紹介を聞いて正しいものを選択する課題</li> <li>● 自己紹介を聞いて，それぞれ当てはまるものを線で結ぶ課題</li> <li>● 好きなもの，好きではないものを聞いて，それぞれ正しいものを選択する課題</li> <li>● できること，できないことを聞いて，それぞれ正しいものを選択する課題</li> <li>● 自己紹介を聞いて正しいものを選択する課題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーチを聞いて，正しいものを選択したり記述したりする課題</li> <li>● 会話を聞いて正しいものを選択する課題</li> <li>● 会話を聞いて，それぞれ当てはまるものを線で結ぶ課題</li> <li>● スピーチを聞いて，正しいものを選択したり記述したりする課題</li> </ul>    |
| 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己紹介を聞いて正しいものを選択する課題</li> <li>● 会話を聞いてそれぞれの好きなスポーツを選択する課題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 会話を聞いて話題になっているキャラクターを選択する課題</li> <li>● 会話を聞いて男性の願望を表す絵を選択する課題</li> <li>● 会話を聞いて女性の願望を表す絵を選択する課題</li> <li>● 町の名所を紹介する説明を聞いて，内容に合う英語を空欄に記入する課題</li> </ul> |

【英語】 肢体不自由・病弱

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。         |
| 対象・方法 | 第1・3学年における情報機器を活用する活動や題材の具体例 |

|     | 第1学年   | 第3学年  |
|-----|--|---|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit3 Club Activities                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオで撮影した動画を海外の友達に紹介する話を通して、複数形や those の導入をしている。</li> </ul> </li> <li>○ Unit4 Friends in New Zealand                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット電話で時差、季節、文化の異なる姉妹校の生徒と会話する場面がある。</li> </ul> </li> <li>○ Unit8 A Surprise Party                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで家族の動画を撮影する場面がある。</li> </ul> </li> <li>○ QRコード                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語 文字：○ 音声：○ 和訳：×</li> <li>・本文 文字：○ 音声：○ 和訳：×</li> <li>・Preview のページでは、書かれた英文やイラストに基づいて動画を視聴できる。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit2 Haiku in English                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとのメールでのやりとりを通した内容を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Unit4 Be Prepared and Work Together                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上に掲載されたアンケートの結果から防災に関心をもつ話を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ QRコード                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年同様。</li> </ul> </li> </ul>   |
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Program7                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン室でシドニーの自然や動物について調べている話を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ QRコード                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語 文字：× 音声：× 和訳：×</li> <li>・本文 文字：× 音声：○ 和訳：×</li> <li>・教科書本文の吹き出し内が空白になったイラストが出てくる。再生ボタンを押すとそのコマの教科書の本文が再生される。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Program1 Bentos Are Interesting!                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログの記事を通して世界の昼食文化について知る内容を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Program2 Good Night. Sleep Tight.                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上の記事を通してスマートフォンが睡眠に及ぼす影響について考えさせる内容を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Program3 A Hot Sport Today                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールを通して友だちへ近況を尋ねたり自分の近況を伝えたりしている。</li> </ul> </li> <li>○ Program4 Sign Languages, Not Just Gestures!                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちから送られてきた動画をPCで見て、アメリカの手話に興味をもった話を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Program7 Is AI a Friend or an Enemy?                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットショッピングやAIロボットを取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ QRコード                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年同様。</li> </ul> </li> </ul> |



【英語】 肢体不自由・病弱

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p style="text-align: center;">三省堂</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson2 English Camp           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の Web 掲示板で、キャンプに参加していた留学生とメッセージをやりとりする場面を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson3 Our New Friend           <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の街の What' s this?クイズを作って、写真と一緒にウェブサイトに登校する活動がある。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson5 Imagine to Act           <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールの画面表示になっており、本文、あいさつ文、サイン（差出人）の書き方等メールの基本形を取り上げている。返信メールを書く活動がある。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson6 Discover Japan           <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本での思い出をブログに掲載し、過去形を用いた文章を使用している。ブログにコメントを書く活動を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson 7 Wheel Chair Basketball           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオメッセージの録画を通して自分のしたことや感じたことを相手へ伝える場面がある。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語 文字：× 音声：○ 和訳：×</li> <li>・本文 文字：× 音声：○ 和訳：×</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson6 Image to Act           <ul style="list-style-type: none"> <li>・web サイトに掲載されている卒業スピーチを取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1 学年同様</li> </ul> </li> </ul>   |
| <p style="text-align: center;">教出</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson1 Hello, New friends           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT が自己紹介するメール文を掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson4 Our Summer Stories           <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去にしたことをブログへ掲載し、それに対する他者からの感想や質問が過去形で述べられている。自分自身のコメントを書く活動がある。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson5 School Life in Two Countries           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ通話でオーストラリアとの時差を知り、自分たちがしていることについて現在進行形を用いて伝達し合う活動がある。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson6 Lunch in Chinatown           <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物がスマートフォンを用いて、写真をネットに掲載する話を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語 文字：× 音声：× 和訳：×</li> <li>・本文 文字：× 音声：○ 和訳：×</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson1 Aya Visits Canada           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームステイ先から友だちへメールを送る場面で、現在完了形を使用している。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson3 News and Ads           <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットのニュース動画で、レポーターが人やものについて詳しく伝えている場面を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Lesson4 Sports Legends           <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの記事としてスポーツ選手のインタビューを取り上げ、ものについて詳しく伝えている。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1 学年同様。</li> </ul> </li> </ul> |

【英語】 肢体不自由・病弱

|            |   |   |
|------------|---|---|
| <p>光村</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit6 Cheer up, Tina           <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの画面越しに祖父母と話をする場面を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Unit7 New Year Holidays in Japan           <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット画面上における友だち同士のチャットを取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Daily Life           <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日パーティーに関するインターネットの記事から必要な情報を読み取る活動がある。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語】文字：× 音声：× 和訳：×</li> <li>・本文 文字：× 音声：○ 和訳：×</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit1 School Life Around the World           <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の国の学校生活を紹介する Web サイトを読む話を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Unit4 AI Technology and Language           <ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳機能や AI の技術を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Unit5 Plastic Waste           <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンを使ってプレゼンテーションをしている場面がある。</li> </ul> </li> <li>○ Daily Life           <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話に録音された留守番電話の伝言を聞いて、要件を確認する活動がある。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年同様。</li> </ul> </li> </ul> |
| <p>啓林館</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit10 日本のマンガ文化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに掲載されたイベントの写真を見て会話する場面がある。画面を見ながら現在進行形を用いて会話をしている。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語 文字：○ 音声：○（一語ずつ、全体、両方有）和訳：○（表示・非表示切り替え可）</li> <li>・本文 文字：○ 音声：○ 和訳：×</li> <li>・新出単語、本文いずれも文字の大きさを小さくしたり大きくしたりすることができる。（大・標準・小の3段階）</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 1 Food Cultures           <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットでレストランについて調べる話を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>○ Unit2 Living Side by Side           <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの「シカ踏切」の記事で、現在完了進行形が使用されている。</li> </ul> </li> <li>○ QR コード           <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年同様。</li> </ul> </li> </ul>  |

【英語】 肢体不自由・病弱

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 観点    | ● 体育的活動や身体表現を含む内容がある。   |
| 対象・方法 | 第1・2学年における，身体の動きを伴う活動事例 |

|     | 第1学年  | 第2学年   |
|-----|---|--|
| 東書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Unit0 Welcome to Junior High School<br/>・教師の指示に合う動作をする活動がある。</li> <li>● Unit8 (Mini Activity)<br/>・グループでジェスチャークイズを行い，何をしているかジェスチャーで問題を出し，答える活動を取り上げている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Let' s Talk4<br/>・買い物の場面の対話のスキットを作って演じる活動がある。</li> </ul>  |
| 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Program0<br/>・教師が言う英語を聞いて動作する活動がある。</li> <li>● Program8 The Year-End Events<br/>・果物の絵をそら描きして，何の果物かを英語で答える活動がある。</li> <li>・ジェスチャークイズを行う活動がある。</li> <li>● Program10 Grandma Baba' s Warming Ideas! (Interact)<br/>・本文を読んだ後で，本文の内容で紙芝居をする活動が取り上げられている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Power-up3<br/>・レストランの店員役と客役に分かれてペアで話をする活動がある。</li> <li>● Program6 Live Life in True Harmony<br/>・じゃんけんをして，好きな人物について会話する活動がある。</li> </ul>  |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson2 English Camp<br/>・単語を言いながら音のまとまりごとに手をたたき，強く発音するところを強くたたき活動がある。</li> <li>● Lesson4 My family, My hometown<br/>・サイコロトークの活動で，サイコロを振って出た目に基づいて人物紹介をするゲームがある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson3 Every Drop Counts<br/>・サイコロを振り，出た目に沿って町の紹介をする活動がある。</li> <li>● Reading for Fun1<br/>・物語を読んだ後，グループで物語を演じる活動が取り上げられている。</li> </ul>  |
| 教出  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Springboard<br/>・小学校で使った表現を用いてサイコロを振ってすぐろくをする活動がある。</li> <li>● Lesson1 Hello, New Friends<br/>・ネームカードを作り，自己紹介とともにカード交換をする活動がある。</li> <li>● Lesson5 Think and try<br/>・グループで協力して，本文の登場人物の会話を，ジェスチャーを工夫して演じる活動がある。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Lesson3 Design in Our Life<br/>・ペットボトルを実際に手にもってデザインの工夫を説明する活動がある。</li> <li>・水汲み用の壺が重いことを，ジェスチャーをつけて会話する活動がある。</li> <li>● Lesson9 Gestures and Sign Language<br/>・日本の手話とアメリカの手話の違いを，実際に手話を使いながら説明する活動がある。</li> </ul> |
| 光村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Unit4 Our Ner Friends<br/>・教科書に示された教師のイラストを見て，そのうち1人の似顔絵を描き，どんな先生かを考えてペアで紹介し合う活動がある。</li> <li>● Unit8 Getting Ready for Party<br/>・テキストのイラストに出てくる人の誰かを演じ，誰を演じているか尋ね合い，当てる活動がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Unit6 Work Experience<br/>・教科書のせりふを選択し，そのせりふを使う会話の場面を考えてロールプレイをする活動がある。</li> </ul>  |
| 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Unit2 学校で<br/>・動物やキャラクターの絵を描いて内容について尋ね合う活動がある。</li> <li>● Unit3 海外からの転校生<br/>・自分で考えた標識を描き，内容を言う活動がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Unit1 What is a Hero?<br/>・自分の理想の部屋を絵に描き，尋ね合う活動を取り上げている。</li> </ul>   |

# 道徳

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

| 略称           | 観点 | 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について  | 判型<br>総ページ数     | 図・表等<br>の掲載数 |
|--------------|----|--|-----------------|--------------|
| 2<br>東書      |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の設問やキャラクターのせりふなどは文節で改行し、意味を捉えやすいように配慮しました。</li> <li>教材によっては扉ページで登場人物の紹介を行い、教材の中の人物関係をつかめるように工夫しました。</li> <li>教科書本文にはユニバーサルデザインフォントを使用し、視認性を高くしました。</li> <li>カラーバリアフリーに取り組む専門家のチェックを受け、全ての生徒の色覚特性に適應するように、配色やデザインを検討しました。</li> </ul>  | A B<br>・<br>196 | 87           |
| 17<br>教出     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。</li> <li>文章の改行位置を工夫することで文章構成をつかみやすくし、教材の内容理解がしやすくなるよう配慮しています。</li> </ul>  | B 5<br>・<br>218 | 87           |
| 38<br>光村     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。</li> </ul>   | B 5<br>・<br>197 | 137          |
| 116<br>日文    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての生徒が等しく学べるように、特別支援教育の視点から、カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインなど、次のような配慮をしました。</li> <li>UD フォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、文字の大きさ、罫線や囲みの使い方、配色など、レイアウトを工夫し、読みやすくしました。</li> <li>中学校で学習する漢字には、教材ごとにすべてふりがなをつけました。</li> <li>全ての生徒が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。</li> <li>拡大教科書を制作します。</li> </ul> | B 5<br>・<br>198 | 157          |
| 224<br>学研    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚情報を利用しやすいAB 判を採用しています</li> <li>生徒が抵抗なく学習に取り組める紙面構成です</li> <li>全ての教材が見開きから始まり、教材に集中して取り組むことができます</li> <li>理解しやすい表現、読みやすさに配慮しています</li> <li>中学校に配当されている漢字および常用漢字外の漢字にふりがなをつけています。</li> <li>イラスト、写真は内容、掲載点数ともに学習上の効果に十分配慮しています</li> <li>ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを採用しています。</li> </ul>                | A B<br>・<br>186 | 141          |
| 232<br>廣あかつき |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう、色の識別のみによらず、文字情報ははじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。なお、カラーユニバーサルデザインは、専門の第三者機関に検証を依頼し、CUD 認証マークの取得を申請しています。</li> </ul>  | A B<br>・<br>186 | 52           |
| 233<br>日科    |    | (記載なし)   | B 5<br>・<br>194 | 50           |

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書（100ページ分）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

**【道徳】聴覚障害**

|              |  |
|--------------|--|
| <b>観点</b>    | ○ 聴覚障害のある生徒にとって教材の文章量が適切である。                                   |
| <b>対象・方法</b> | 第1学年「よりよく生きる喜び」に関する教材の文字数（5分程度で読み切ることができる1,500字に対する各教材の文字数の割合） |

| 1,500字に対する各教材の文字数の割合 |  |
|----------------------|--|
| <b>東書</b>            | <input type="radio"/> 銀色のシャープペンシル 1.8<br><input type="radio"/> 花に寄せて 1.8<br><input type="radio"/> 平均値 1.8  |
| <b>教出</b>            | <input type="radio"/> 私に宇宙のプレゼント 1.8<br><input type="radio"/> 二度と通らない旅人 3.0<br><input type="radio"/> 平均値 2.4   |
| <b>光村</b>            | <input type="radio"/> 命の木 1.2<br><input type="radio"/> エマニエルおばさんからの「最後の贈りもの」 1.2<br><input type="radio"/> 平均値 1.2                                    |
| <b>日文</b>            | <input type="radio"/> 挫折から希望へ 1.0<br><input type="radio"/> いつわりのバイオリン 1.4<br><input type="radio"/> 平均値 1.2   |
| <b>学研</b>            | <input type="radio"/> いっぱい生きる 全盲の中学校教師 1.4<br><input type="radio"/> ネパールのルビー 1.3<br><input type="radio"/> 平均値 1.4                                    |
| <b>廣あかつき</b>         | <input type="radio"/> いつわりのバイオリン 1.9<br><input type="radio"/> 銀色のシャープペンシル 1.7<br><input type="radio"/> よみがえった良心 1.9<br><input type="radio"/> 平均値 1.8 |
| <b>日科</b>            | <input type="radio"/> ネパールのルビー 1.7<br><input type="radio"/> レーナ・マリアの挑戦 1.3<br><input type="radio"/> 平均値 1.5  |

【道徳】聴覚障害

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 観点    | ○ 教材を通して考えを深めるための、視点やヒントがある。  |
| 対象・方法 | 第1学年の教科書に示されている考えを深める視点やヒントの数 |

| 考える視点のヒントの掲載 |   |
|--------------|---|
| 東書           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えるヒントの種類と個数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えよう 27個</li> <li>・自分をみつめよう 27個</li> </ul> </li> <li>○ 教材に対するヒント数の平均 1.9個 (教材の数 28 (付録を除く))</li> </ul>                                |
| 教出           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えるヒントの種類と個数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・題の下 30個</li> <li>・学びの道しるべ 90個</li> </ul> </li> <li>○ 教材に対するヒント数の平均 4.0個 (全教材数 30 (補充教材を除く))</li> </ul>                                |
| 光村           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えるヒントの種類と個数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えてみよう 91個 (内、めあて31個)</li> <li>・見方を変えて 24個</li> <li>・つなげよう 28個</li> </ul> </li> <li>○ 教材に対するヒント数の平均 4.6個 (全教材数 31 (付録を除く))</li> </ul> |
| 日文           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えるヒントの種類と個数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えてみよう 35個</li> <li>・自分に+1 (プラスワン) 35個</li> </ul> </li> <li>○ 教材に対するヒント数の平均 2.0個 (全教材数 35 (付録を除く))</li> </ul>                         |
| 学研           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えるヒントの種類と個数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えよう 71個</li> </ul> </li> <li>○ 教材に対するヒント数の平均 2.0個 (全教材数 35)</li> </ul>   |
| 廣あかつき        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えるヒントの種類と個数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の手がかり 125個 (内、めあて35個)</li> <li>・考えを広げる・深める 37個</li> </ul> </li> <li>○ 教材に対するヒント数の平均 4.6個 (全教材数 35 (付録を除く))</li> </ul>               |
| 日科           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えるヒントの種類と個数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え、話し合ってみよう そして深めよう 82個</li> </ul> </li> <li>○ 教材に対するヒント数の平均 2.2個 (全教材数 37)</li> </ul>  |

※教材に対するヒントの数(平均値)は、小数第2位を四捨五入している。

【道徳】 肢体不自由・病弱

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 観点    | ○ 情報機器の活用等に関わる内容がある。  |
| 対象・方法 | 「情報モラル」について取り上げた教材，活動 |

|      | 第1学年  | 第2学年   | 第3学年   |
|------|---|--|--|
| 東書   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 短文投稿サイトに友だちの悪口を書くと</li> <li>・ 短文投稿サイトに友だちの悪口を書こうとしたコウタとイチロウとのやり取りを取り上げている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報モラルと友情</li> <li>・ メッセージアプリを使って，同じバスケット部の友だちの悪口を言う内容を取り上げている。</li> <li>○ 「いいね」のために？</li> <li>・ 「いいね」を獲得するために市販の漫画を SNS に登校する話を取り上げている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ある日の午後から</li> <li>・ SNS の書き込みによるいじめ問題を取り上げている。</li> <li>○ 自分の生活を見直して</li> <li>・ スマホが手放せない奈美恵が歩きスマホで事故に合う内容を取り上げている。</li> <li>・ 歩きスマホの事故事例や実態調査についての補足資料が掲載されている。</li> <li>○ 合格通知</li> <li>・ 合格通知を勝手に投稿し友人関係が悪化した話を取り上げている。</li> </ul> |
| 教出   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分で決める</li> <li>・ スマートフォンを使うことに夢中になり，部活動や生活が変化していった内容を取り上げている。</li> <li>○ ルールとマナー</li> <li>・ SNS の投稿に関するルールやマナーについて話し合う活動がある。</li> <li>○ ごめんねって言えたのに</li> <li>・ SNS に悪口を書き込んだことがないか振り返る内容がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ SNS とどうつき合う？」</li> <li>・ 見ず知らずの人と会う約束をしてしまう内容を取り上げている。</li> <li>・ SNS で投稿するときの約束に関する資料がある。</li> <li>○ 本当の友達って</li> <li>・ スマートフォンに依存する生活になり，勉強に集中できなくなり，友だちとの人間関係にも悩む話を取り上げている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歩きスマホをどうするか</li> <li>・ 歩きスマホの危険性や意識調査に関する資料を掲載している。</li> </ul>  |
| 光村図書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私の話を聞いてね</li> <li>・ 義手の少女が他者を受けいることの大切さをインターネットに投稿する話を取り上げている。</li> <li>○ 言葉の向こうに</li> <li>・ ネット社会でのコミュニケーションについて取り上げている。</li> <li>・ 携帯電話やスマートフォンのトラブルに巻き込まれないように考え，話し合う活動がある。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 許せないよね</li> <li>・ SNS に書き込まれた発言についての内容を取り上げている。</li> <li>○ 夢中になるのは悪いこと？</li> <li>・ 望ましい生活習慣についての調査結果やチェック表を記載している。</li> <li>・ ネットゲームへの依存とスマートフォンを使用する心構えについて考える資料がある。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 闇の中の炎</li> <li>・ ネット上の画集を自分の美術作品のアイデアにしてしまう内容を取り上げている。</li> <li>・ スマートフォンで情報発信する際の心構えや著作権について考える4コマ漫画を掲載している。</li> </ul>  |

【道徳】 肢体不自由・病弱

|              |   |   |   |
|--------------|---|---|---|
| <p>日文</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近くにいた友</li> <li>・失敗する姿を SNS に投稿され、友人を疑ってしまう内容を取り上げている。</li> <li>○ 使っても大丈夫？</li> <li>・著作権に関する内容を取り上げている。</li> <li>・SNS のコミュニケーションを考えるコラムを掲載している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五月の風</li> <li>・スマホのグループメッセージでの友人とのトラブルを取り上げている。</li> <li>○ ネット将棋</li> <li>・目に見えないネット上の相手と将棋をする内容を取り上げている。</li> <li>・インターネットの情報発信に関する資料がある。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめと向き合う</li> <li>・インターネットで他者を攻撃しまう理由や回避方法を取り上げている。</li> <li>○ 言葉の向こうに</li> <li>・インターネットサイトへの書き込みについて取り上げている。</li> <li>・インターネットの正しい活用方法を掲載している。</li> </ul>                                     |
| <p>学研</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ うわさで決めるの？</li> <li>・SNS で友だちのうわさを書き込む内容を取り上げている。</li> <li>・SNS での会話について考え、振り返る活動がある。</li> <li>○ ネット将棋</li> <li>・目に見えないネット上の相手と将棋をする内容を取り上げている。</li> <li>○ 日曜日の朝に</li> <li>・ネット依存になりかけている中学生の話を取り上げている。</li> <li>・ネット依存症に関する資料を掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 熊本地震被災地支援 SNS が威力</li> <li>・被災地支援に SNS が有効な反面、デマ情報があることも取り上げている。</li> <li>○ つい言い過ぎて</li> <li>・SNS でのメッセージのやり取り（言葉の使い方）について取り上げている。</li> <li>・SNS の活用の仕方をするための資料やチェックリストを掲載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アップロードダウンロード</li> <li>・SNS での肖像権、著作権について取り上げている。</li> <li>・スマホとの向き合い方について考える資料を掲載している。</li> <li>○ 便利なスマホ使い方次第で</li> <li>・歩きスマホによる交通事故を取り上げている。</li> <li>・バス車内での携帯電話の通話について考える活動がある。</li> </ul> |
| <p>廣あかつき</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ネット将棋</li> <li>・目に見えないネット上の相手と将棋をする内容を取り上げている。</li> <li>・考え、話し合う活動がある。</li> <li>○ 言葉の向こうに</li> <li>・ネット社会でのコミュニケーションについて取り上げている。</li> <li>○ 情報機器によるコミュニケーションを考える</li> <li>・情報機器を介したコミュニケーションを利用するルールに関する情報がある。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いつでもどこでも誰とでも</li> <li>・目の前の友だちとの食事より SNS でのコミュニケーションに夢中になる主人公を取り上げている。</li> <li>○ 情報機器と私たちの生活を考える</li> <li>・インターネット依存、情報機器との接し方に関する資料を掲載している。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ピヨ子</li> <li>・自分が送った写真が拡散して友人を傷つけてしまう話を取り上げている。</li> <li>○ 情報社会を生きていくために</li> <li>・インターネット上の情報の便利さと危険性を取り上げている。</li> </ul>   |
| <p>日科</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループ</li> <li>・SNS のグループメッセージでの人間関係のトラブルを取り上げている。</li> <li>・SNS で広がったボランティア活動についても掲載されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ネット将棋</li> <li>・目に見えないネット上の相手と将棋をする内容を取り上げている。</li> <li>○ 言葉の向こうに</li> <li>・インターネットサイトへの書き込みによるコミュニケーションの取り方について取り上げている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一通のメッセージから始まる物語</li> <li>・SNS でのやり取りが原因で友だちを疑ってしまう内容を取り上げている。</li> </ul>   |



【道徳】 肢体不自由・病弱

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 観点    | ● 体育的活動や身体表現を含む内容がある。            |
| 対象・方法 | 役割演技等の身体の動きを必要とする活動（セリフだけの演技は除く） |

|       | 第1学年  | 第2学年  | 第3学年   |
|-------|---|---|--|
| 東書    | ● 思いやりの日々<br>・丸く輪になって座り、ボールを渡されたら自分の考えを伝え、他の人にボールを渡す活動がある。                    | 該当なし  | 該当なし   |
| 教出    | ● 不自然な独り言<br>・バスターミナルで困った様子で周りを見回すお年寄りに声をかける場面を演じる活動がある。                      | ● 譲る気持ちはあるのに<br>・電車で大きな荷物を持っている人に席を譲る場面を演じる活動がある。 | ● 校長先生の模擬面接<br>・社会の様々なマナーやエチケットが必要な場面を演じる活動がある。                                    |
| 光村    | 該当なし  | 該当なし  | ● 礼儀正しさとは<br>・礼儀正しい行動、しぐさを思い浮かべマップに書く活動がある。  |
| 日文    | ● 「愛情貯金」をはじめませんか<br>・笑顔と怒った顔であいさつをして感じたことを伝える活動がある。<br>・顔の筋肉をほぐして、笑顔を作る活動がある。 | ● 包む<br>・筆箱をハンカチで包み、近くの人に包みをほどいて、心をこめて渡す活動がある。    | ● 出迎え三歩、見送り七歩<br>・客の出迎え方、見送り方を演じる活動がある。<br>● 一冊のノート<br>・僕と祖母が並んで草取りをする場面を演じる活動がある。 |
| 学研    | ● 金色の稲穂<br>・稲刈りをしている主人公と田中さんのやり取りを演じる活動がある。                                   | 該当なし  | 該当なし   |
| 廣あかつき | 該当なし  | 該当なし  | 該当なし   |
| 日科    | 該当なし  | 該当なし  | 該当なし   |

【道徳】 病弱

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 観点    | ○健康・医療・病気に係る内容がある。 |
| 対象・方法 | 医療，障害に関する教材とその概要   |

|    | 第2学年   | 第3学年  |
|----|--|---|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奇跡の一週間 (医)</li> <li>・病棟で童話の挿絵を描く末期がんの患者の奇跡</li> <li>○ 今度は私の番だ (障)</li> <li>・パラリンピック陸上の佐藤選手の活躍</li> <li>○ 左手でつかんだ音楽 (障)</li> <li>・病気で右手を失ったピアニストの努力</li> <li>○ 心に寄りそう (医)</li> <li>・看護師の仕事で大切なこと</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生まれてきてくれてありがとう - 助産師からのメッセージ (医)</li> <li>・出産をサポートする助産師のメッセージ。</li> <li>○ たんぼぼ作業所 (障)</li> <li>・福祉作業所で働く喜び</li> <li>○ 人間の命とは (医)</li> <li>・尊厳死</li> <li>○ たとえばくに明日はなくとも (医・障)</li> <li>・筋ジストロフィーの少年と陶芸家の出会い</li> </ul>   |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ たったひとつのたからもの (障)</li> <li>・ダウン症の秋雪くんと過ごした6年間の思い出</li> <li>○ 国境なき医師団 貫戸朋子 (医)</li> <li>・「命を大切にす」意味</li> <li>○ 風に立つライオン (医)</li> <li>・医師としての志</li> <li>○ へこたれない心 (医)</li> <li>・長嶋茂雄氏の生き方</li> <li>○ ドイツ・ヴリーツェンに眠る日本人医師 (医)</li> <li>・日本人医師の功績</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 片足のアルペンスキーヤー三澤拓 (障)</li> <li>・パラリンピック選手の挑戦</li> <li>○ あなたは顔で差別しますか (障)</li> <li>・差別や偏見をなくす</li> <li>○ 鳩が飛び立つ日 (障)</li> <li>・知的障害教育に取り組んだ先人の業績</li> <li>○ ふきのとう (医)</li> <li>・患者のために尽くす医師</li> <li>○ 家族の思いと意思表示カード (医)</li> <li>・臓器提供意思表示カード</li> <li>○ あふれる愛 (医)</li> <li>・マザー・テレサの生き方</li> </ul>  |
| 光村 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢の力 (障)</li> <li>・自分の過去を振り返り，夢や目標をもって生きる車椅子テニスの選手</li> <li>○ 松葉づえ</li> <li>・松葉づえの友達にとっての支援とは</li> <li>○ 異なり記念日 (障)</li> <li>・聴覚障害の息子への思い 聴覚障害，手話</li> <li>○ 向こう岸には</li> <li>・国境なき医師団の活躍</li> <li>○ つながる命 (医)</li> <li>・臓器提供を行った家族の手紙</li> <li>○ 夢の力</li> <li>・夢に挑戦する車椅子テニス選手</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 命の選択</li> <li>・延命措置を希望しない祖父と家族の思い</li> <li>○ 「リクエスト食」を支える</li> <li>・ホスピスの食事を支える人々</li> <li>○ 私がピンク色のキャップをかぶるわけ</li> <li>・病気で水泳をやめたライバル</li> <li>○ ソーシャル・ビュー</li> <li>・全盲の人のための絵画展</li> <li>○ 希望の義足</li> <li>・ルワンダの日本人義肢装具士</li> </ul>  |
| 日文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 命を見つめて (医)</li> <li>・骨肉腫を患いながら懸命に生きた瞳さんの生き方</li> <li>○ 自分の弱さと戦え (障)</li> <li>・車いすテニス選手の挑戦と努力</li> <li>○ おばやちゃんのくれた“おまじない” (医)</li> <li>・がん患者の洗髪をする美容師</li> <li>○ 最後のパートナー (障)</li> <li>・盲導犬を引退した犬を引き取るボランティア</li> <li>○ 人権課題への取組 (障)</li> <li>・知的障害者施設の創設者の功績</li> <li>○ 体験ナースをとおして (医)</li> <li>・看護師体験で得た感動</li> <li>○ きいちゃん (障)</li> <li>・体が不自由な女の子と家族の愛</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風に立つライオン (医)</li> <li>・医師としての志</li> <li>○ No Charity, but a chance! (障)</li> <li>・日本の障害者福祉の父</li> <li>○ 命の大切さ (医)</li> <li>・闘病生活を支えてくれた友人</li> <li>○ 自分・相手・周りの人 (障)</li> <li>・ヘルプマーク，耳マーク等</li> <li>○ 失った笑顔を取り戻す (障)</li> <li>・義肢装具士の仕事</li> <li>○ 臓器ドナー (医)</li> <li>・臓器提供，臓器ドナー</li> <li>○ iPS細胞で難病を治したい (医)</li> <li>・難病を救う iPS細胞の研究</li> <li>○ よりよい社会と私たち (医)</li> <li>・ワクチン配分の優先順位</li> </ul> |

【道徳】 病弱

|              |   |  |
|--------------|---|--|
| <p>学研</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰もがスポーツを楽しめる社会に (障)</li> <li>・デフサッカー (聴覚障害者のサッカー) を体験し学んだこと</li> <li>○ そこにいていい (医)</li> <li>・助産師が語る命の意味</li> <li>○ ヒト・iPS 細胞を求めて 山中伸弥 (医)</li> <li>・iPS 細胞の研究者山中教授の生き方</li> <li>○ ものづくり (医・障)</li> <li>・注射針, 手の不自由な人も使いやすいスプーン</li> <li>○ 絶やしてはならない 緒方洪庵 (医)</li> <li>・天然痘ワクチンを広めた洪庵の功績</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 余命ゼロ命のメッセージ (医)</li> <li>・余命宣告を受けた教師の, 生と死を考える授業</li> <li>○ 国際協力師 山本敏晴 (医)</li> <li>・発展途上国の医療システム</li> <li>○ 電車の中で (障)</li> <li>・視覚障害者への対応</li> <li>○ 優介の決意 (医)</li> <li>・臓器提供意思表示カード</li> <li>○ 五井先生と太郎 (障)</li> <li>・聴覚障害のある親に対する子供の思いと親の愛情</li> <li>○ スポーツの力 (障)</li> <li>・義足のパラリンピック選手の生き方</li> <li>○ 「血の通った義足」を作りたい (障)</li> <li>・社会復帰を支える義肢装具師</li> </ul> |
| <p>廣あかつき</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 燃え盛る炎 (医)</li> <li>・筋ジストロフィーに向き合い生き抜いた主人公の生き方を取り上げている。</li> <li>○ ガストロカメラ (医)</li> <li>・胃カメラの開発に取り組む技師</li> <li>○ 最後の年越しそば (医)</li> <li>・がんで余命わずかな父の望み</li> <li>○ 本物の将棋指し 村山聖</li> <li>・ネフローゼを患う棋士の生涯</li> <li>○ 迷惑とは何ぞ (障)</li> <li>・「迷惑」の意味を問い直す。</li> <li>○ 最も悲しむべきことは, 病めることでも貧しいことでもなく</li> <li>・マザーテレサの生涯</li> <li>○ 看取りの医者 (医)</li> <li>・延命治療, 在宅死</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰かのために (医)</li> <li>・がんで余命わずかな母の愛</li> <li>○ 優しいうそ</li> <li>・事故で全身まひになった女優と彼女を支えた人々</li> <li>○ ひまわり</li> <li>・脳の病気で気付いた命の価値</li> <li>○ 母と子のロードレース</li> <li>・生体肝移植をした自転車選手</li> <li>○ ドナー (医)</li> <li>・臓器提供, 脳死</li> <li>○ 風に立つライオン (医)</li> <li>・医師としての志</li> </ul>  |
| <p>日科</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絶望からの生還 (医) (障)</li> <li>・盲ろう者となった福島さんが, 希望を捨てず大学に進み, 同じ障害で苦しむ人が豊かに暮らせる社会を目指して取り組む姿</li> <li>○ 人口ガンを作り出せ</li> <li>・ガン研究に功績を遺した日本人</li> <li>○ こんなとき, どうしたらいいの?</li> <li>・障害者が安心して暮らせる環境</li> <li>○ コンスタンチン君命のリレー (医)</li> <li>・大やけどの子供を救う医師</li> <li>○ 二人の剣士 (障)</li> <li>・片腕で剣道に励む二人</li> <li>・車椅子アスリート</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 迷わず選ぶ (医・障)</li> <li>・病気で目が不自由になった息子がバイオリニストを目指す内容を取り上げている。</li> <li>○ ジャマナカめ</li> <li>・iPS 細胞の研究者山中伸弥</li> <li>○ ニュースで討論「支え合いは当たり前」</li> <li>・障害者差別解消法</li> <li>○ 臓器移植をめぐる命と心 (医)</li> <li>・臓器移植や脳死の問題</li> <li>○ いのちの絆 (障)</li> <li>・半身麻痺の女性が語る「命の尊さ」</li> </ul>  |